
第2次蒲郡市多文化共生推進プラン策定基礎調査 調査結果報告書

令和8年3月

- 目 次 -

I. 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要実施.....	1
3 報告書の見方.....	1
II. 結果の総括.....	2
III. 外国人アンケート調査結果.....	6
1 あなた（回答者）ご自身について.....	6
2 蒲郡市での生活について.....	16
3 日本語の理解や会話.....	27
4 生活する上での困りごとについて.....	46
5 日本人との交流や地域活動について.....	57
6 今後の蒲郡市での生活について.....	69
IV. 日本人アンケート調査結果.....	75
1 あなた（回答者）自身のことについて.....	75
2 外国人との交流について.....	76
3 地域に外国人市民が増えることについて.....	80
4 多文化共生の推進にあたって.....	85
V. 事業所調査結果.....	88
1 回答企業の属性.....	88
2 外国人従業員受け入れの実態.....	92
3 多文化共生施策について.....	95
VI. 自治会ヒアリング調査結果.....	97
1 地域の課題について.....	97
2 地域住民の交流について.....	97
3 市に求める支援について.....	97
VII. 資料編.....	98
1 使用調査票.....	98

I. 調査概要

1 調査の目的

本調査は、蒲郡市在住の外国人市民・日本人市民の意識や生活実態を調査する他、事業所での外国人従業員受け入れに関する課題や、自治会での地域交流の実態を明らかにすることで、多文化共生社会の実現と、「蒲郡市多文化共生推進プラン」見直しのための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の概要実施

区分	対象	調査数	調査方法	調査期間	回収数	回収率
外国人	18歳以上の外国人市民を無作為抽出	1,500 件	郵送配布 WEB 回答	令和 7 年 11 月 21 日 ～12 月 12 日	930 件	62.0%
日本人	インターネット モニター	150 件	WEB 調査	令和 7 年 11 月 26 日 ～12 月 5 日	150 件	100.0%
事業所	特定技能所属機関	63 件	WEB 調査	令和 8 年 1 月 23 日 ～2 月 6 日	15 件	23.8%
自治会	地区会長	8 名	ヒアリング	令和 8 年 2 月 3 日	—	—

3 報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの回収数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が 0 の場合は表示を省略しています。また、選択肢の見出しを簡略化してある場合もあります。
- ・ クロス集計では、分析軸の「その他」「無回答」、国籍別のクロス集計ではサンプル数が少ない「韓国」、在留資格別のクロス集計ではサンプル数が少ない「特別永住者」も掲載していないため、分析軸における各項目の合計値と全体の数値が合わない場合があります。

II. 結果の総括

外国人市民の属性について

- ◆ 外国人市民アンケート回答者の国籍は、フィリピン（39.6%）、ベトナム（19.7%）、ブラジル（9.9%）の順に多くなっています。
- ◆ 国籍別の特徴として、フィリピン、ブラジル、ペルーでは永住者・定住者の割合が高く、居住年数も比較的長い傾向がみられます。また、ベトナムやインドネシアでは技能実習・特定技能の在留資格を持った人の割合が多く、居住年数は比較的短くなっています。

日本語コミュニケーション能力について

日本語能力

- ◆ 外国人市民の日本語能力について、日本語の聞き取り理解や会話については一定程度のスキルを身に付けている人が多いですが、日本語の読み書きについては「全く分からない」が16.9%となっており、読み書きは特にハードルが高い分野であるといえます。
- ◆ 聞き取り理解や会話については、居住年数が長いほど一定程度のスキルを身に付けている割合が高い傾向にある一方で、居住年数が長期に及ぶ場合でも、「単語であれば理解できる/話せる」といった基礎段階にとどまる層が一定数存在しています。さらに、読み書き能力については居住年数による明確な能力向上はみられず、自然習得だけでは不十分であると考えられます。
- ◆ 国籍別にみると、フィリピンでは「単語であれば理解できる/話せる」「ひらがな・カタカナが読め、書ける」といった基礎段階の層が相対的に高い他、「全く分からない」の割合も高く、日本語能力に課題がみられました。

日本語学習支援

- ◆ 「日本語を学ぶ必要はない」は全体の約2割にとどまり、大半が日本語を学ぶことを希望していました。特に、居住年数が長期に及ぶ場合でも半数以上が日本語学習の意向を示していることから、日本語学習のニーズは継続的に存在していることが分かります。
- ◆ 日本語の学び方は、「オンラインの教材で学ぶ」のニーズが高くなっています。
- ◆ 日本語を学ぶのに都合のいい時間について、学ぶ手法に関わらず、基本的には休日の学習を希望する割合が高いです。教室学習希望者では「休日の午前中」、オンライン学習希望者では「休日の夜」を希望する割合が高くなっています。
- ◆ 国籍別にみると、全体として休日の学習を希望する割合が高く、希望時間帯にはばらつきがみられます。ベトナムでは「日曜の18時～20時」が54.2%と特に高くなっています。

日本語のコミュニケーションの実態

- ◆ 外国人市民の不安・困りごとの第1位は「日本語のコミュニケーションに関すること」です。
- ◆ 自治会ヒアリングでも、日本人市民側から「言葉がうまく伝わらないことによるトラブル」や「交流機会の不足」が指摘されています。

外国人市民の生活の困りごとについて

外国人市民の不安・困りごとの内容

- ◆ 外国人市民の不安・困りごとについて、「特にない」と回答した割合は 23.9%で、全体の 8 割弱が何らかの不安・困りごとを抱えていることが分かります。不安・困りごとの内容としては「日本語のコミュニケーションに関すること」が 34.8%と最も高く、次いで「生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること」「地震や台風など災害に関すること」が約 2 割となっています。
- ◆ 日常の様々な困りごとに直面した時の解決方法を尋ねたところ、飲食店に行くときや公共交通機関を使うときといった日常生活に関することについては「自分で解決できる」割合が高くなっています。一方で、「銀行の口座開設や不動産契約をするとき」といった手続きに関すること、「災害が起こったとき」「住民とのトラブル」などの非常時、「困りごとについて質問したいとき」については「自分で解決できる」割合が低く、支援を必要とする場面が多いことがうかがえます。

防災対策

- ◆ 不安・困りごととして比較的高い割合で挙げられた「災害」について対策状況を尋ねたところ、「特に準備していることはない」は 23.1%となり、全体の 8 割弱が何らかの備えをしていることが分かります。
- ◆ 国籍別にみると、フィリピン、ベトナムで「特に準備していることはない」が 10%台と低く、他の国籍と比較して防災意識が高い傾向がみられます。
- ◆ 具体的な備えとしては「食料・飲料などを備蓄している」が 47.1%と最も高くなっています。「ハザードマップを確認している」「母国語で災害情報を入手できるアプリを準備している」「防災訓練に参加している」は 1 割前後にとどまり、情報取得や地域防災への参加は十分とはいえない状況です。

外国人相談窓口の認知

- ◆ 多くの外国人市民が様々な不安・困りごとを抱えている一方で、蒲郡市役所にある外国人相談窓口の認知度については約 5 割にとどまっており、十分に認知されているとはいえません。
- ◆ 国籍別にみると、フィリピン、中国では約 6 割が「知っている」と回答していますが、それ以外の国籍では「知らない」が上回っており、特にインドネシアでは「知らない」が 69.8%とほかの国籍と比較して高くなっています。
- ◆ 困ったときに一番に相談する相談先としては「家族・親族」「友人・知人」といった身近な人が多く挙げられています。一方で、一人暮らしの人では「相談しない」が 11.3%となっており、相談相手がいない可能性があります。

外国人市民の地域活動参加について

- ◆ 外国人市民に日本人市民との交流意向を尋ねたところ、交流希望者は8割以上と高く、地域交流への前向きな姿勢がみられました。
- ◆ 一方で、地域の活動の参加状況については、自発的に参加しているのは4割弱にとどまっています。参加をしない理由としては、「時間がないから」が最も高くなっていますが、活動の存在自体を知らない人も一定数存在することが分かりました。また、「興味がないから」は9.9%と低く、関心はあるものの参加には至っていない状況がうかがえます。
- ◆ 参加をしない理由を居住年数別に比較すると、5年未満では「活動の存在を知らなかったから」が多く、5年以上では「時間がないから」が多くなっています。このことから、特に来日間もない外国人市民については地域活動の存在が伝わっていない可能性が高いことが分かります。
- ◆ 自治会ヒアリングでは、町内会の活動が外国人市民との交流のきっかけになるという意見がみられた一方、活動の存在を外国人市民の人に伝える手段がないという課題が挙げられました。さらに、子どもを持つ外国人の保護者については、子どもを通じて地域活動に参加するきっかけがあるものの、こうした接点を持たない外国人市民への参加促進は難しいという課題も指摘されています。

日本人市民の交流意向について

- ◆ 外国人市民からは交流への前向きな意欲が示された一方で、日本人市民アンケートにおいて外国人市民との交流希望者は約4割にとどまっており、外国人市民と日本人市民の間で交流意欲にはギャップが存在しています。
- ◆ 外国人との関わりの有無別で比較すると、外国人との関わりがある人では交流希望者が6割半ばであるのに対し、関わりがない人では3割半ばにとどまり、日常的な関わりの有無が交流意向に影響していることが分かります。

日本人市民の懸念について

- ◆ 地域に外国人市民が暮らすことでの不安として、「治安が悪くなること」「習慣・考え方の違いがあること」「ゴミ出しの出し方・ルールが守られなくなること」を不安視する声が多く挙げられ、特に生活ルールや地域マナーなど日常生活に関わる領域での懸念が大きいことがうかがえます。自治会ヒアリングでも、ゴミ出しのルールについてのトラブルが多いという意見が挙げられました。
- ◆ 一方で、外国人市民アンケートでは外国人市民の8割以上が「日本の風習や地域のルールを理解したい」と回答しており、外国人市民側には生活ルールへの理解意欲が高い現状がみられます。このことから、生活ルールをめぐる、日本人市民の不安の大きさと外国人市民の理解意欲の間にはギャップが存在しています。
- ◆ 日本人市民の回答者の7割半ばが、地域への外国人市民の増加を『好ましくない』（「やや好ましくない」＋「好ましくない」）と感じており、一定の懸念がみられました。この傾向は外国人と関わりがある人でも約7割と高く、関わりの有無による大きな差はみられません。一方で、関わりがない人では「好ましくない」の中でも強い否定的意識の割合が3割以上と高く、否定的な意識の強さには差がみられます。
- ◆ 外国人市民の増加による影響については、「労働者不足の解消につながる」「外国の言葉や文化に触れる機会が増える」というポジティブな影響への共感6割以上にのぼる一方、「治安や風紀が乱れる」「言語や文化の違いでトラブルになる」などネガティブな影響への共感8割以上とさらに高くなっています。このように、メリットへの理解がある一方で、不安がそれを上回っている状況がみられます。
- ◆ 外国人市民の増加による影響を外国人との関わりの有無別で比較すると、関わりがある人ではポジティブな影響への共感が高めるものの、ネガティブな影響に対する懸念については関わりがない人と大きな差はみられません。外国人との関わりは、ポジティブなイメージには一定の影響を与えているものの、不安の解消には十分につながっていないと考えられます。

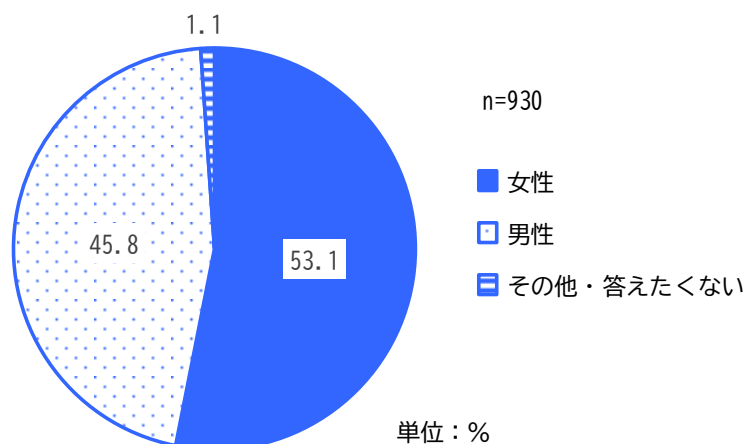
III. 外国人アンケート調査結果

1 あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたは性別は次のうちどれですか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の性別は、「女性」が53.1%、「男性」が45.8%と、「女性」の占める割合が高くなっています。

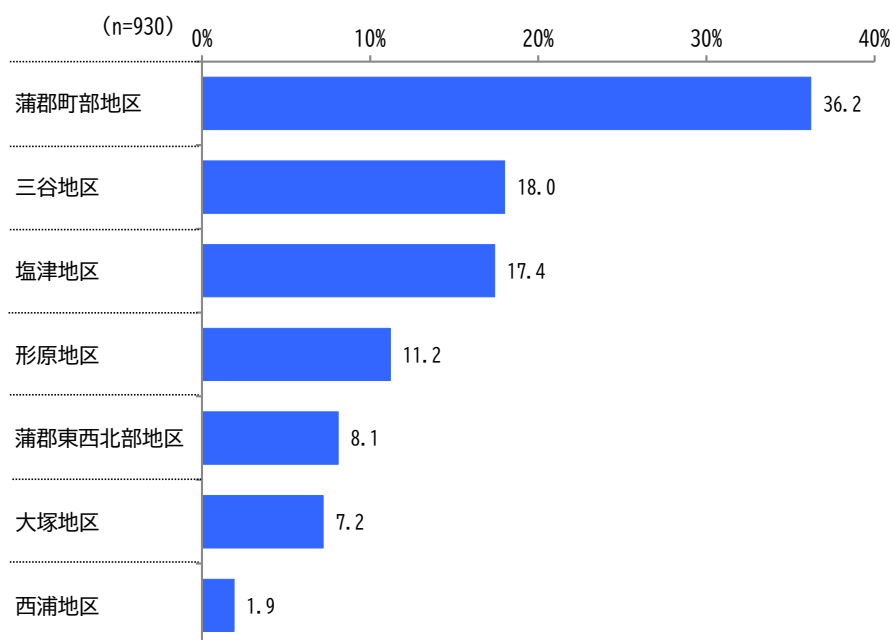
図表1 性別



問2 現在、お住まいの地区はどれですか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の住んでいる地区は、「蒲郡町部地区」が36.2%と最も高く、次いで「三谷地区」(18.0%)、「塩津地区」(17.4%)、「形原地区」(11.2%)となっています。

図表2 居住地区

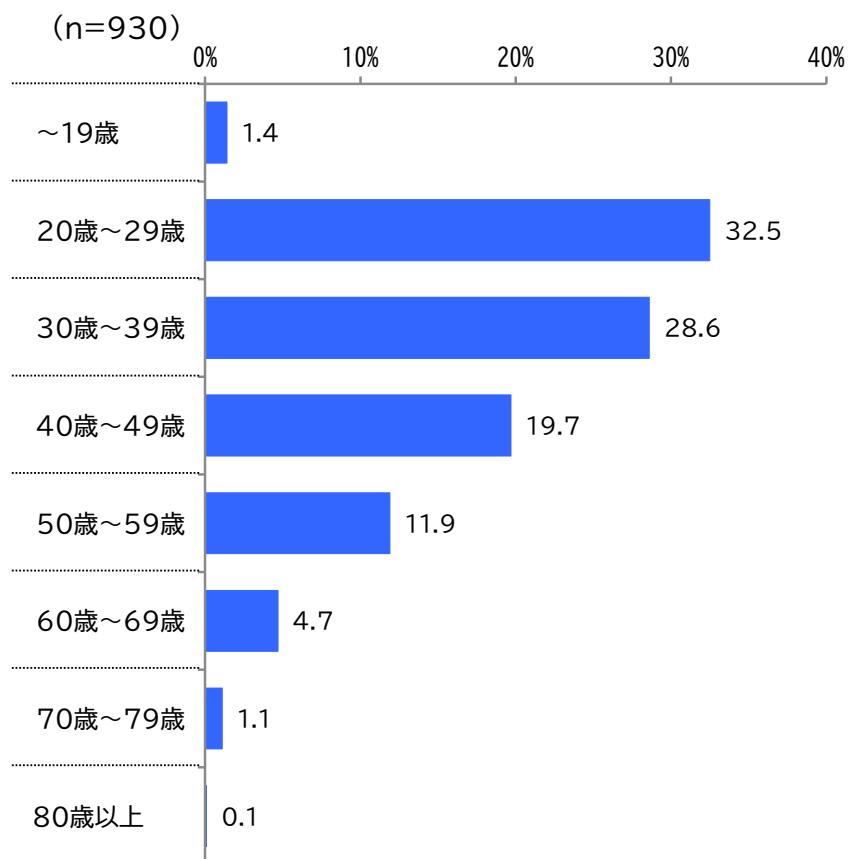


※居住地区については、正確に分からない場合の回答も含みます

問3 あなたの年齢は次のうちどれですか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の年齢は、「20～29 歳」が 32.5%と最も高く、次いで「30～39 歳」（28.6%）、「40～49 歳」（19.7%）となっています。

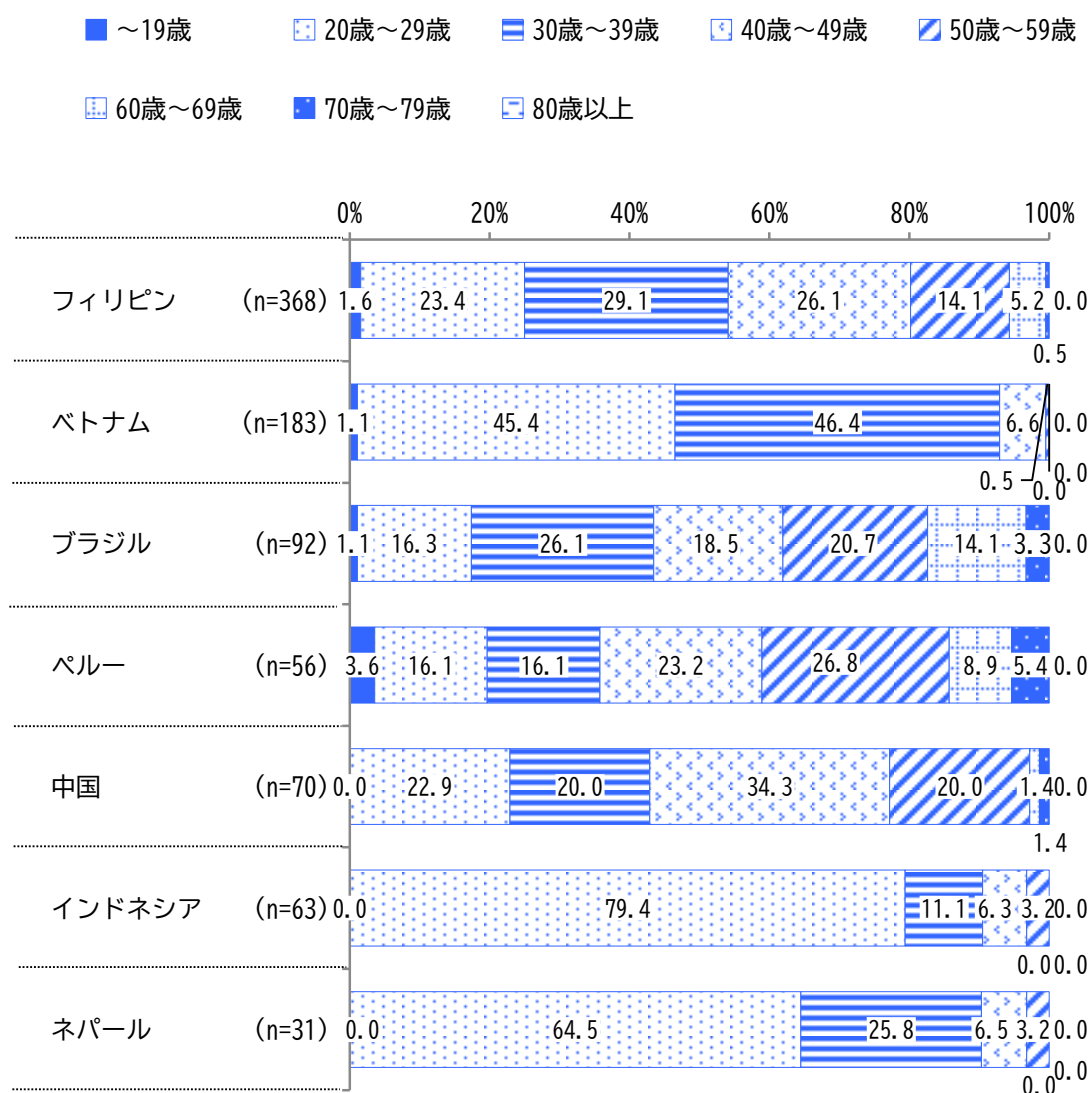
図表 3 年齢



【国籍別にみた年齢】

- ◆ 年齢を国籍別にみると、フィリピン、ブラジル、ペルー、中国では30代以上が約8割となっており、比較的幅広い年代がみられます。一方で、ベトナム、インドネシア、ネパールでは「20～29歳」が多く、インドネシアでは79.4%と突出して高くなっています。

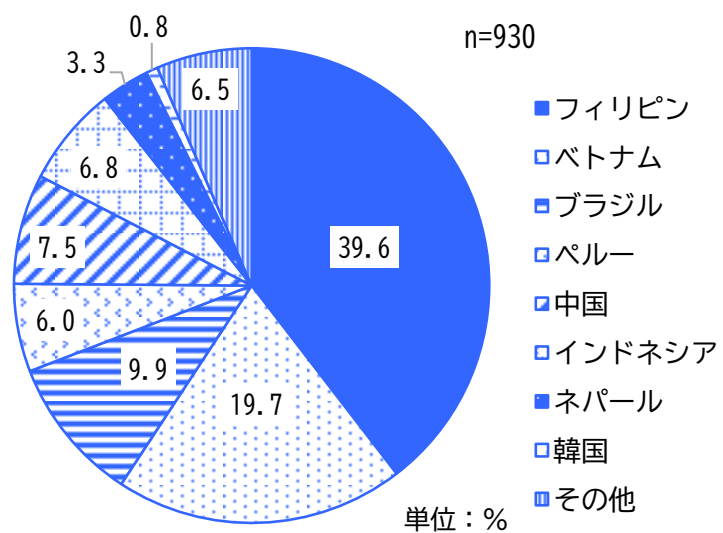
図表 4 国籍別にみた年齢



問4 あなたの国籍は次のうちどれですか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の国籍は、「フィリピン」が39.6%と最も高く、次いで「ベトナム」(19.7%)、「ブラジル」(9.9%)となっています。

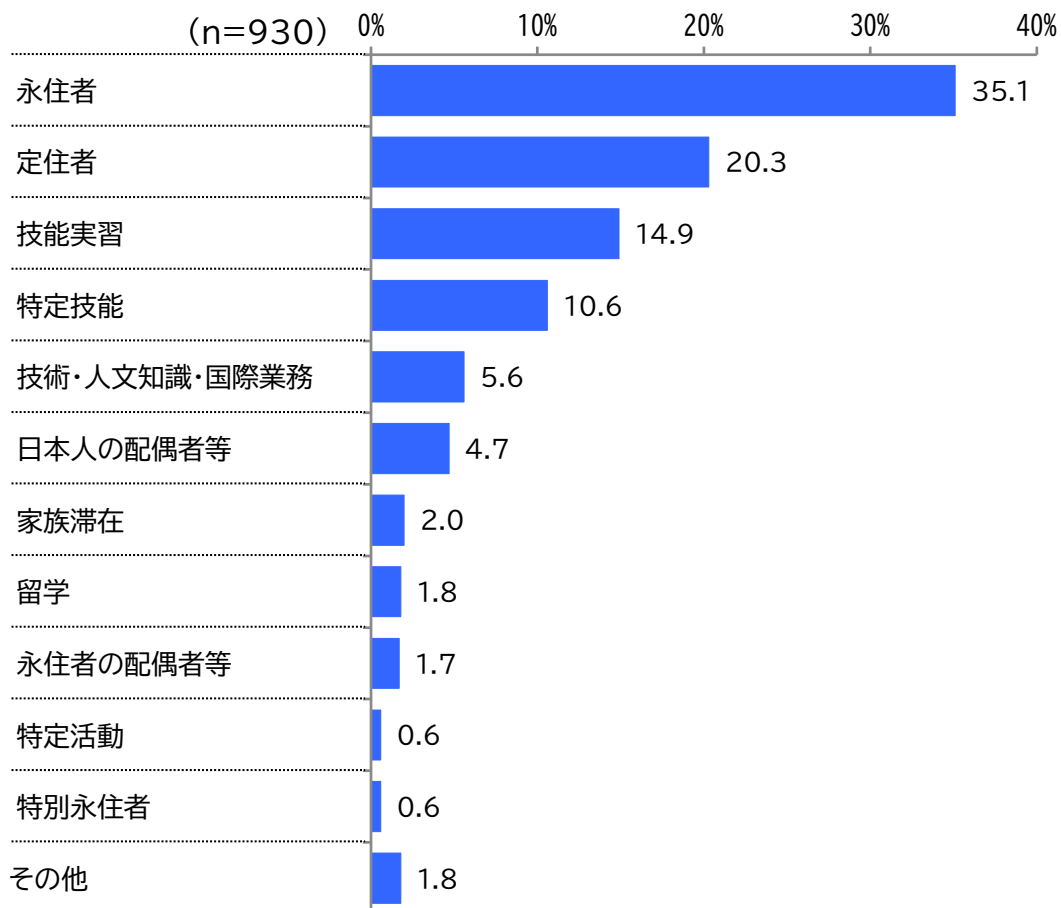
図表 5 国籍



問5 あなたの在留資格は次のうちどれですか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の在留資格は、「永住者」が35.1%と最も高く、次いで「定住者」(20.3%)、「技能実習」(14.9%)、「特定技能」(10.6%)となっています。

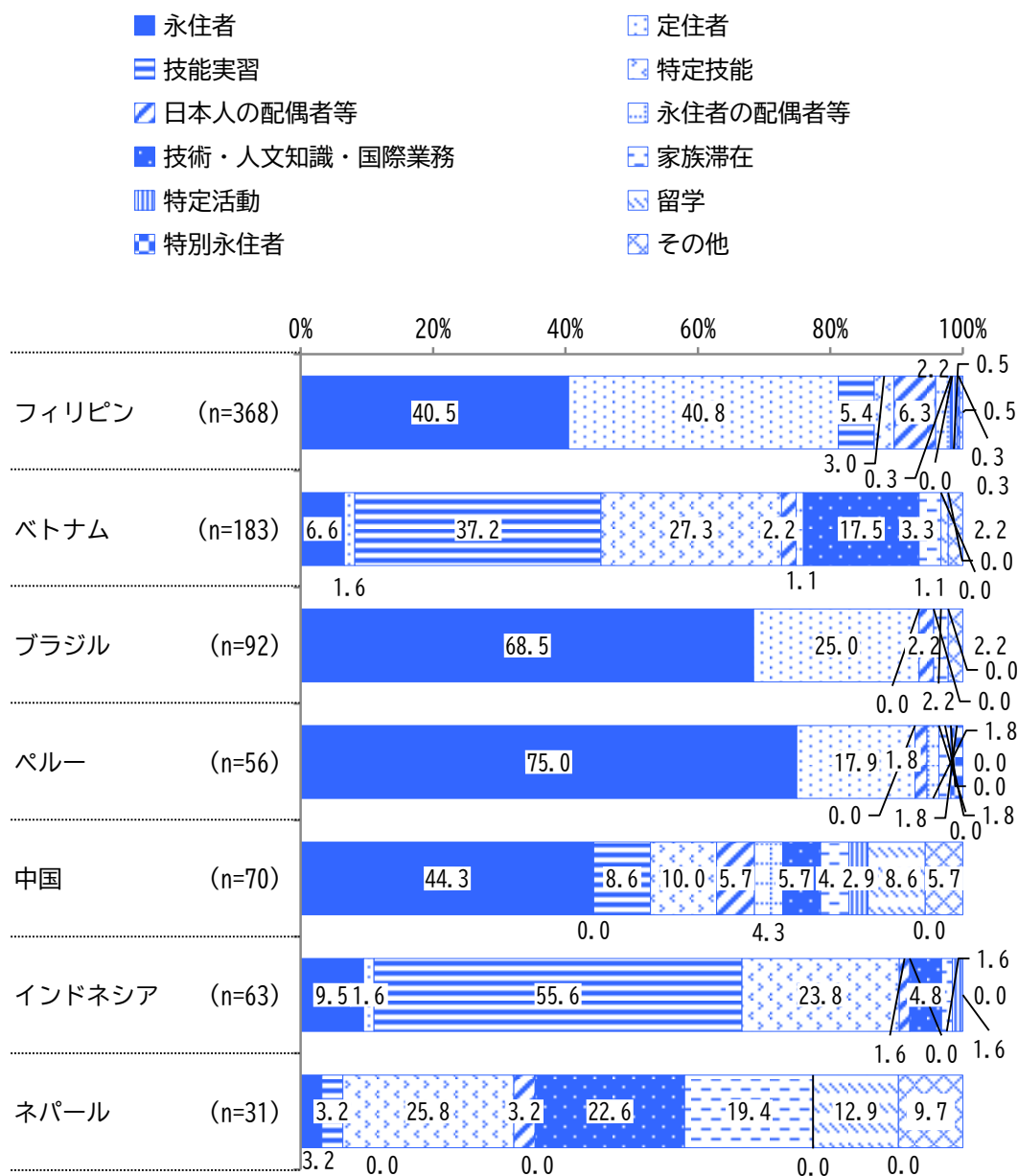
図表 6 在留資格



【国籍別にみた在留資格】

- ◆ 在留資格を国籍別にみると、フィリピン・ブラジル・ペルーは「永住者・定住者」が多く、ベトナム・インドネシアは技能実習・特定技能が多いなど、国籍によって在留資格に明確な傾向の違いがみられます。

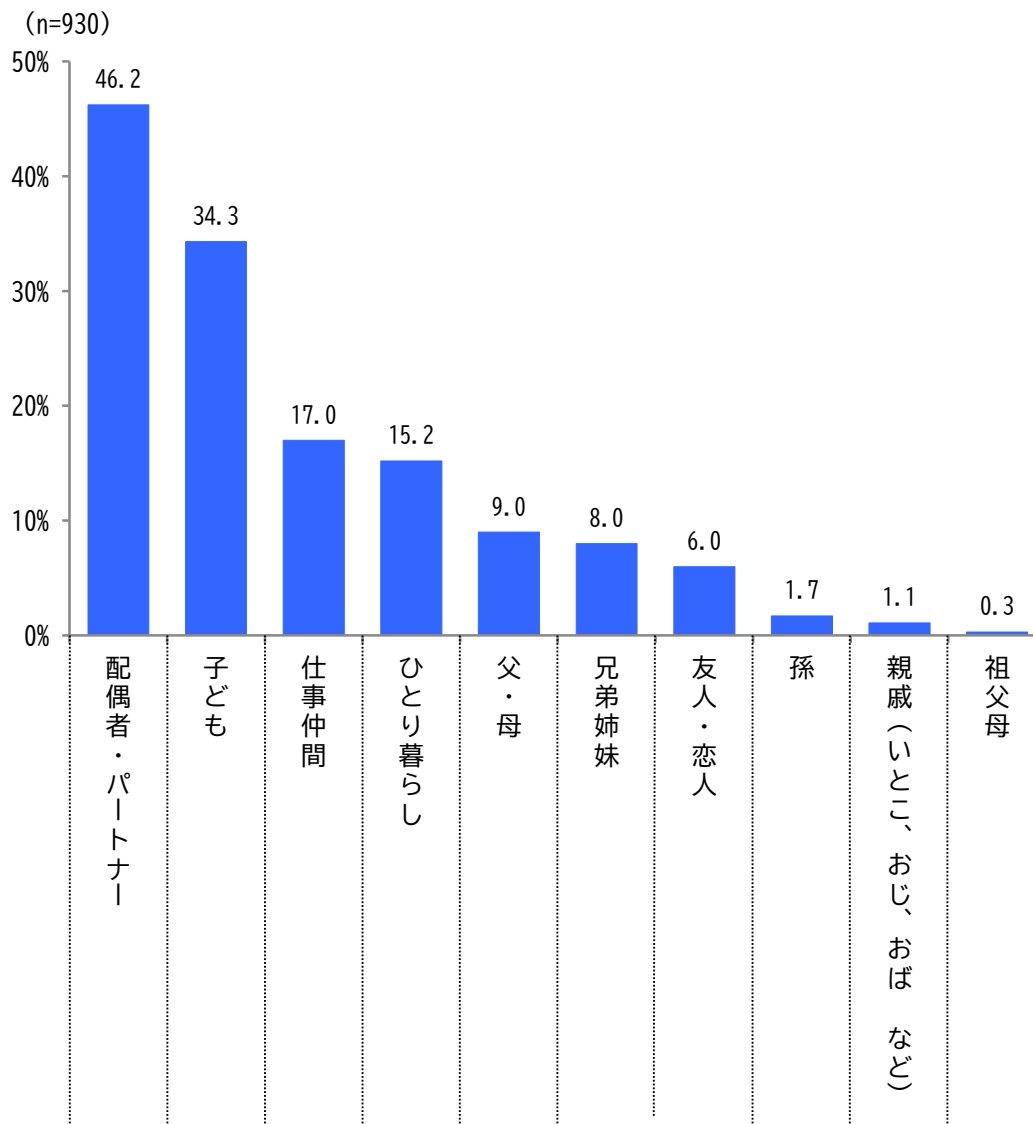
図表 7 国籍別にみた在留資格



問6 あなたは現在誰と一緒に暮らしていますか。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者の同居者については、「配偶者・パートナー」が46.2%と最も高くなっています。次いで「子ども」(34.3%)、「仕事仲間」(17.0%)、「ひとり暮らし」(15.2%)となっています。

図表 8 同居者



【国籍別にみた同居者】

- ◆ 同居者を国籍別にみると、ベトナムとインドネシアを除く国籍で「配偶者・パートナー」が最も高くなっており、ベトナムとインドネシアでは、「仕事仲間」が最も高くなっています。また、ネパールでは、「ひとり暮らし」が32.3%と、他の国籍と比較して高くなっています。

図表 9 国籍別にみた同居者

		全 体	配偶者・ パートナー	子ども	父・母	兄弟姉妹	祖父母
国 籍	フィリピン	368	200	186	60	53	0
		100.0	54.3	50.5	16.3	14.4	0.0
	ベトナム	183	49	25	2	1	0
		100.0	26.8	13.7	1.1	0.5	0.0
	ブラジル	92	53	34	8	7	2
		100.0	57.6	37.0	8.7	7.6	2.2
	ペルー	56	30	26	8	5	0
		100.0	53.6	46.4	14.3	8.9	0.0
	中国	70	35	20	3	2	0
		100.0	50.0	28.6	4.3	2.9	0.0
インドネシア	63	17	7	1	2	0	
	100.0	27.0	11.1	1.6	3.2	0.0	
ネパール	31	12	3	0	1	1	
	100.0	38.7	9.7	0.0	3.2	3.2	

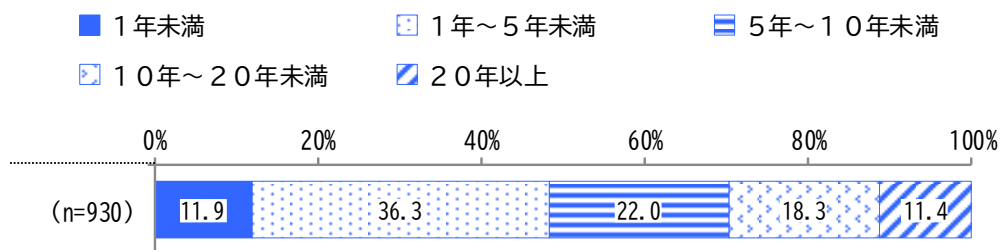
		全 体	友人・恋人	孫	親戚 (いとこ、おじ、 おば など)	仕事仲間	ひとり暮らし
国 籍	フィリピン	368	15	12	7	32	22
		100.0	4.1	3.3	1.9	8.7	6.0
	ベトナム	183	8	0	0	86	38
		100.0	4.4	0.0	0.0	47.0	20.8
	ブラジル	92	3	2	1	1	19
		100.0	3.3	2.2	1.1	1.1	20.7
	ペルー	56	0	0	1	0	10
		100.0	0.0	0.0	1.8	0.0	17.9
	中国	70	0	0	1	13	14
		100.0	0.0	0.0	1.4	18.6	20.0
	インドネシア	63	15	0	0	20	10
		100.0	23.8	0.0	0.0	31.7	15.9
	ネパール	31	10	1	0	1	10
		100.0	32.3	3.2	0.0	3.2	32.3

※上段は件数、下段は%

問7 蒲郡市に何年住んでいますか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の蒲郡市の居住年数は、「1年～5年未満」が36.3%と最も高く、次いで「5年～10年未満」（22.0%）、「10年～20年未満」（18.3%）となっています。

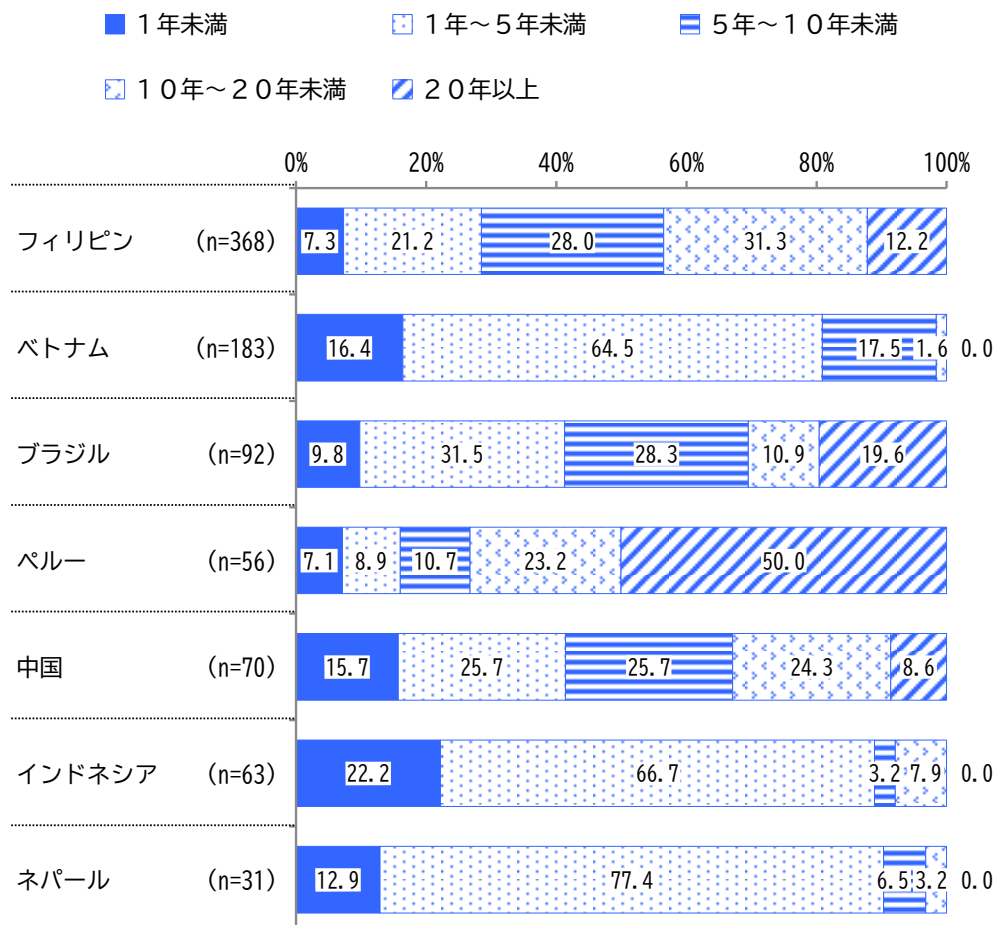
図表 10 居住年数



【国籍別にみた居住年数】

- ◆ 居住年数を国籍別にみると、フィリピンとペルーを除く国籍で「1年～5年未満」が最も高くなっています。特に、ベトナム、インドネシア、ネパールでは6割以上を占めており、比較的近年に来日した層が中心であることがうかがえます。一方で、中国では「5年～10年未満」、フィリピンでは、「10年～20年未満」、ペルーでは「20年以上」が最も高く、在留期間が長い傾向にあります。

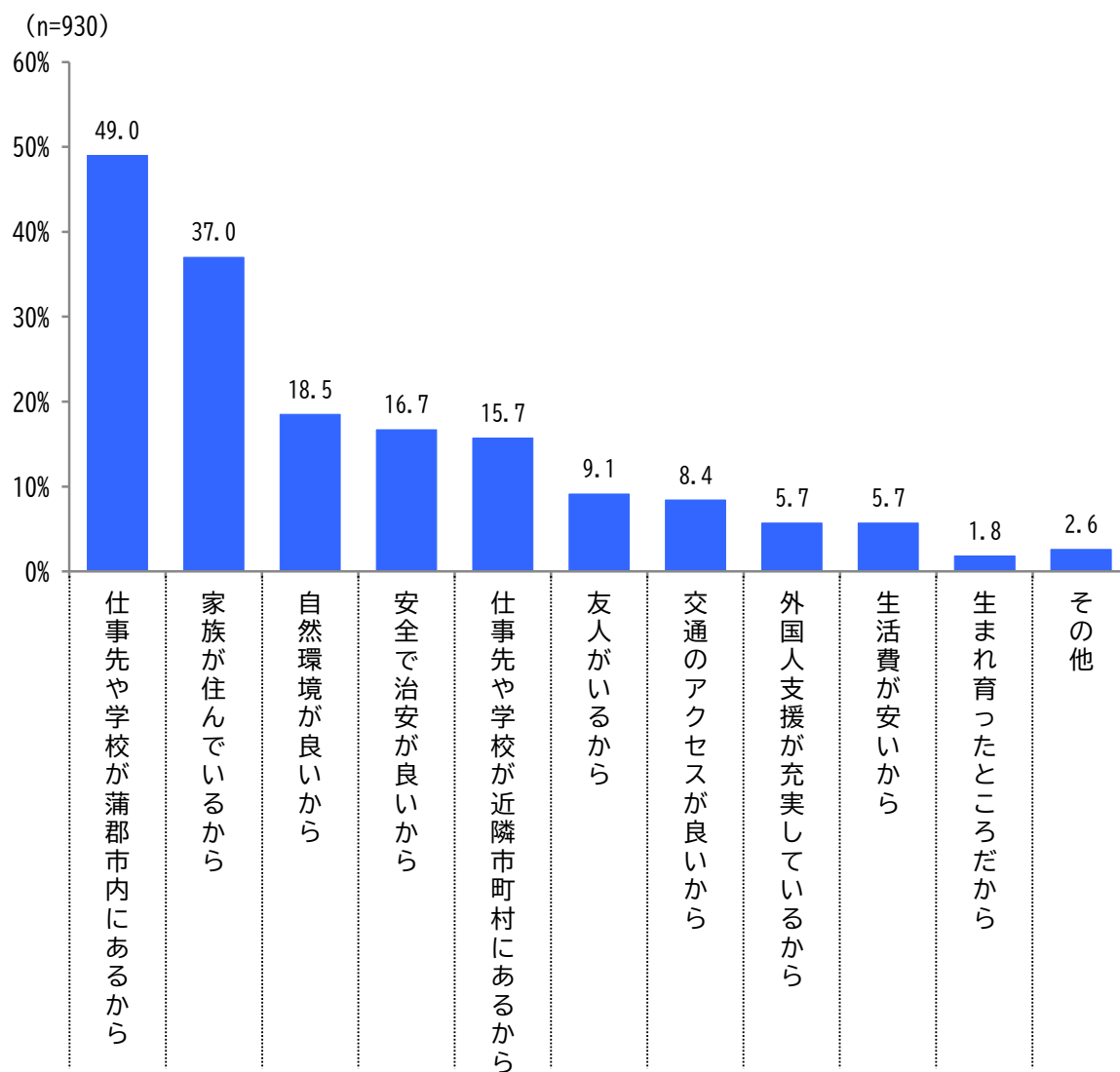
図表 11 国籍別にみた居住年数



問 8 蒲郡市に住む理由は何ですか。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者が蒲郡市に住む理由は、「仕事先や学校が蒲郡市内にあるから」が49.0%と最も高く、次いで「家族が住んでいるから」(37.0%)、「自然環境がいいから」(18.5%)となっています。

図表 12 蒲郡市に住む理由

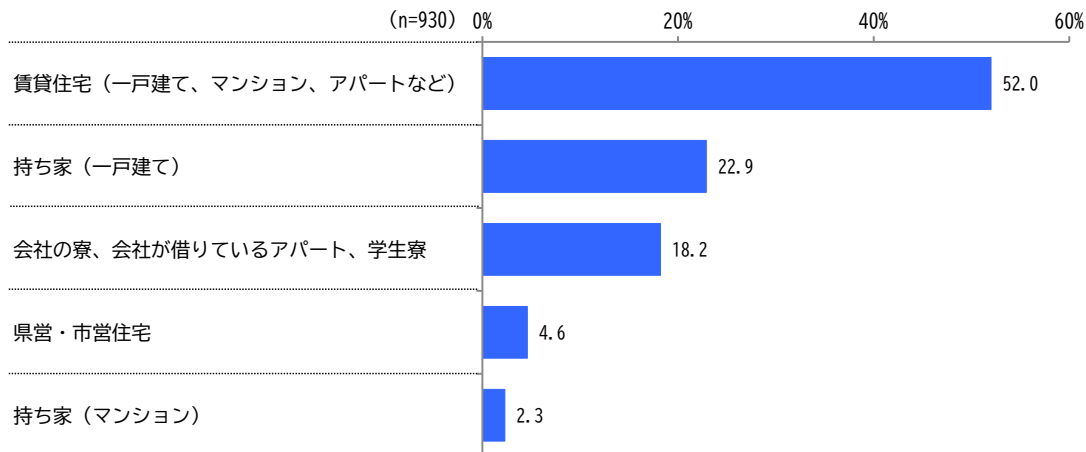


2 蒲郡市での生活について

問 9 現在、どのような家に住んでいますか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の住居形態は、「賃貸住宅（一戸建て、マンション、アパートなど）」が52.0%と最も高く、次いで「持ち家（一戸建て）」（22.9%）、「会社の寮、会社が借りているアパート、学生寮」（18.2%）となっています。

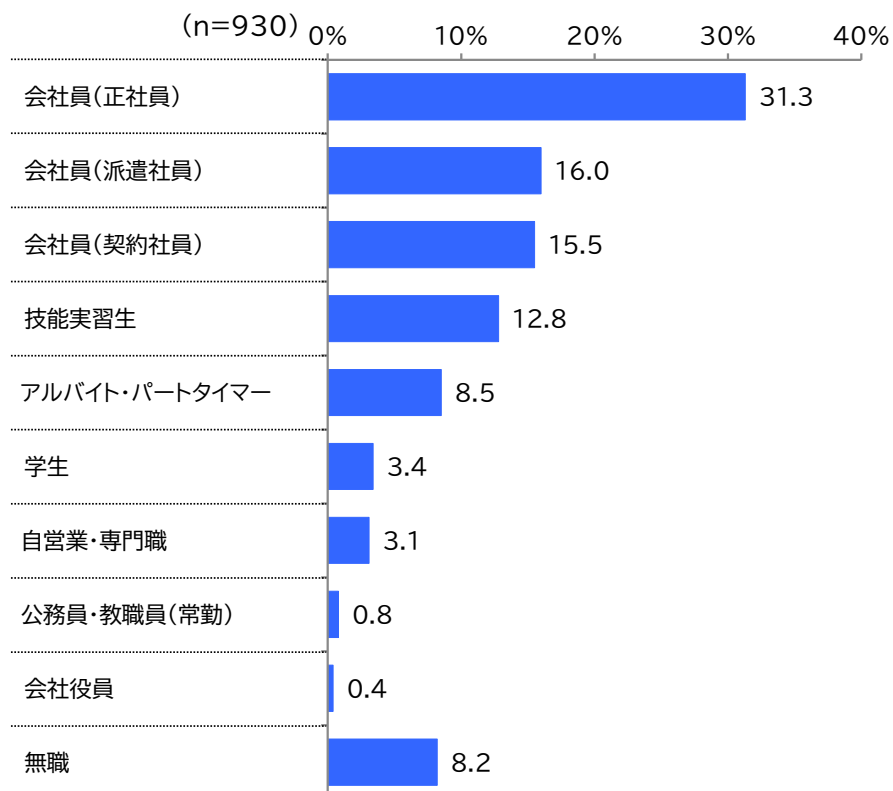
図表 13 住居形態



問 10 あなたの職業は次のうちどれですか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の職業は、「会社員（正社員）」が31.3%と最も高く、次いで「会社員（派遣社員）」（16.0%）、「会社員（契約社員）」（15.5%）、「技能実習生」（12.8%）となっています。

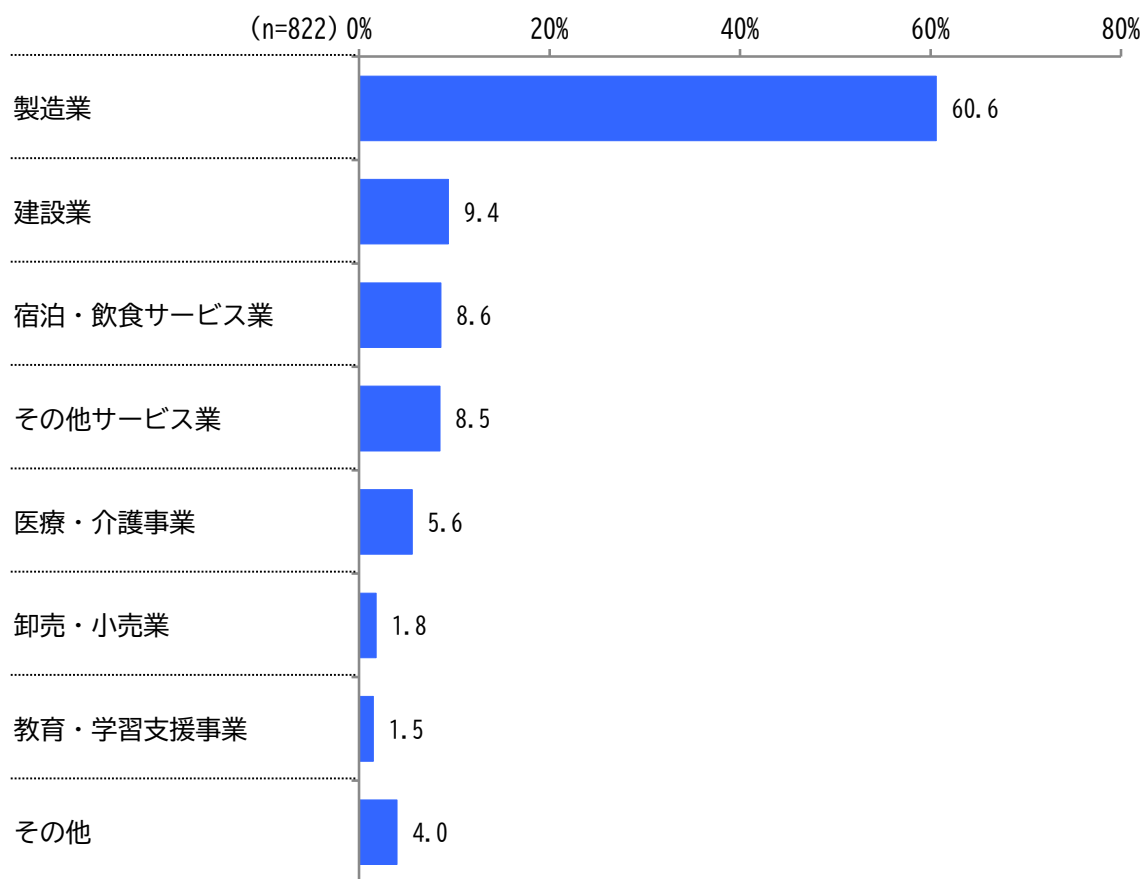
図表 14 職業



問 11 どんな業種の会社で働いていますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の勤務している会社の業種は、「製造業」が 60.6%と最も高く、次いで「その他サービス業」(9.4%)、「建設業」(8.6%)となっています。

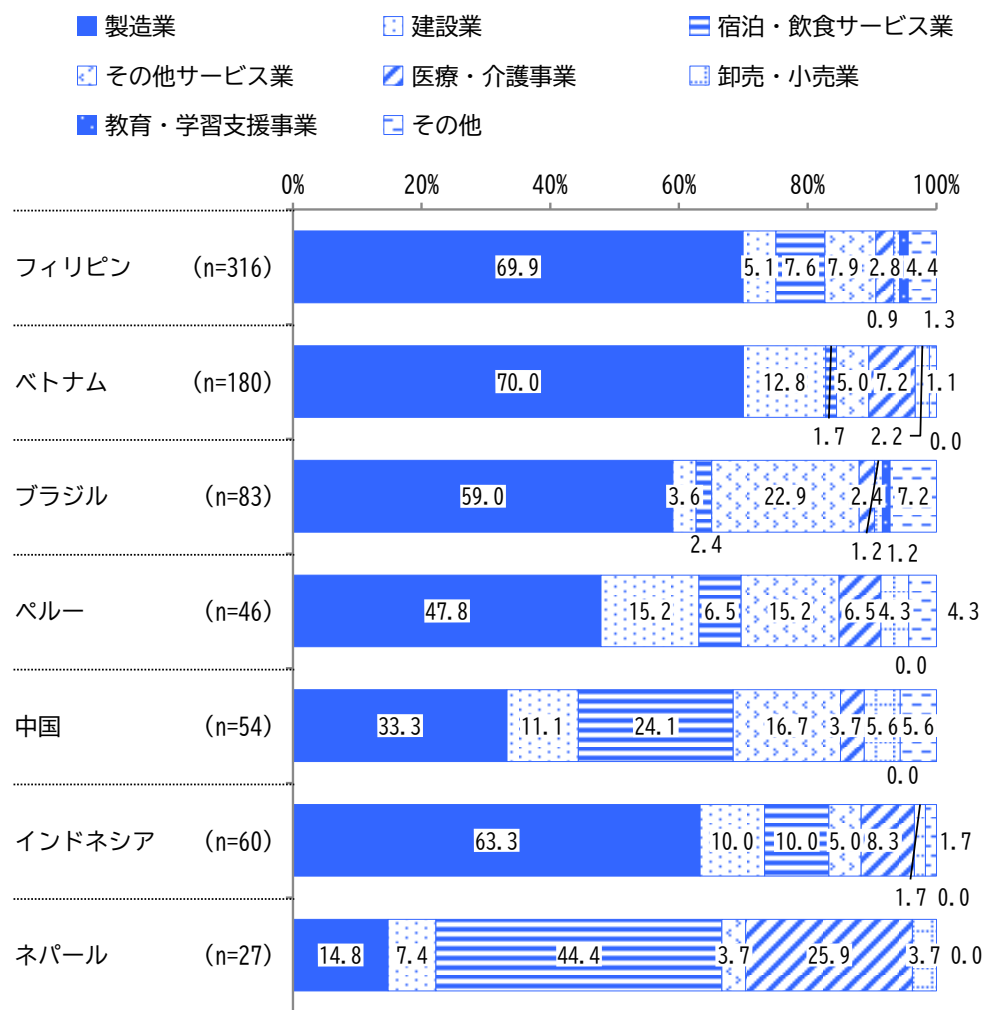
図表 15 勤務している会社の業種



【国籍別にみた勤務している会社の業種】

- ◆ 勤務している会社の業種を国籍別にみると、ネパールを除く国籍で「製造業」が最も高くなっており、フィリピン、ベトナムでは約7割を占めています。ネパールでは「宿泊・飲食サービス業」が最も高くなっている他、「医療・介護事業」が25.9%と他の国籍と比較して高くなっています。

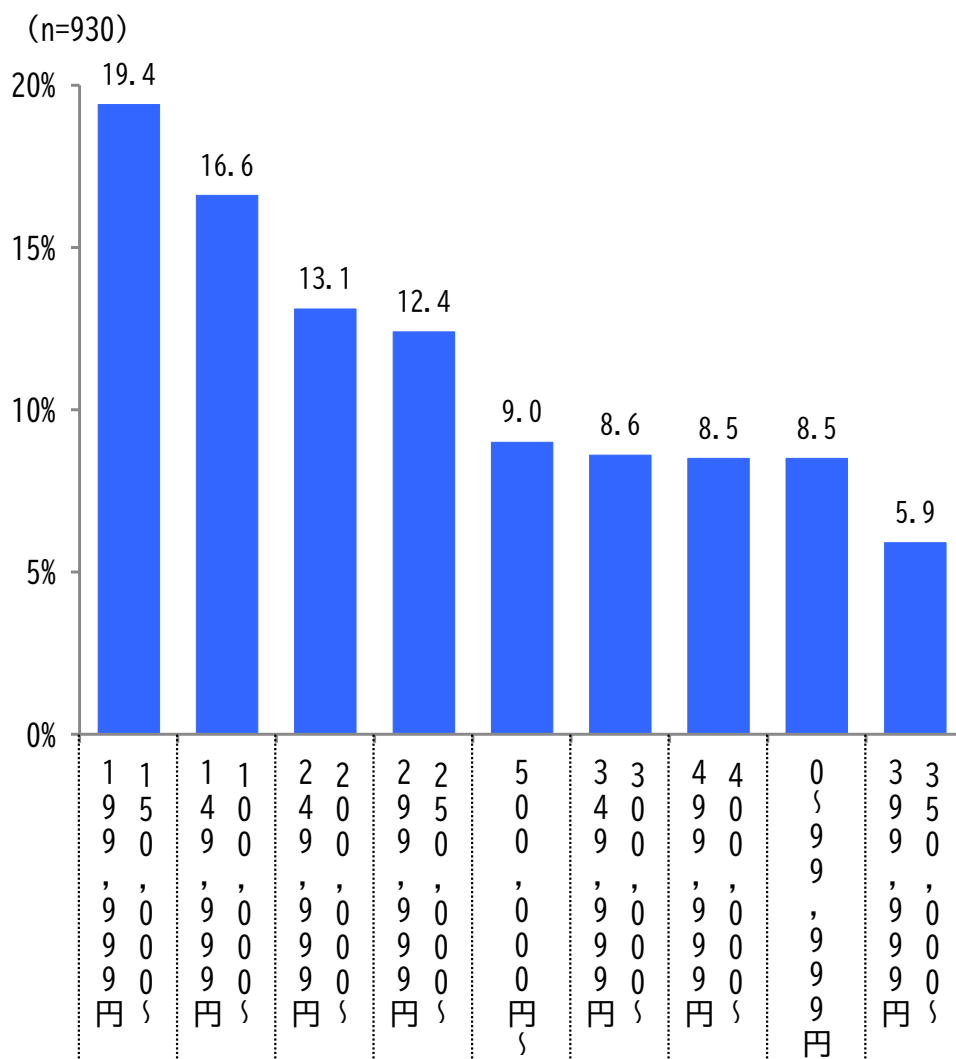
図表 16 国籍別にみた勤務している会社の業種



問 12 あなたの家族全体の月収はだいたいいくらですか。(一緒に住んでいる家族の月収を合計した金額)。【○は1つ】

- ◆ 回答者の家族全体の月収は、「150,000～199,999 円」が 19.4%と最も高く、次いで「100,000～149,999 円」(16.6%)、「200,000～249,999 円」(13.1%)、「250,000～299,999 円」(12.4%)となっています。

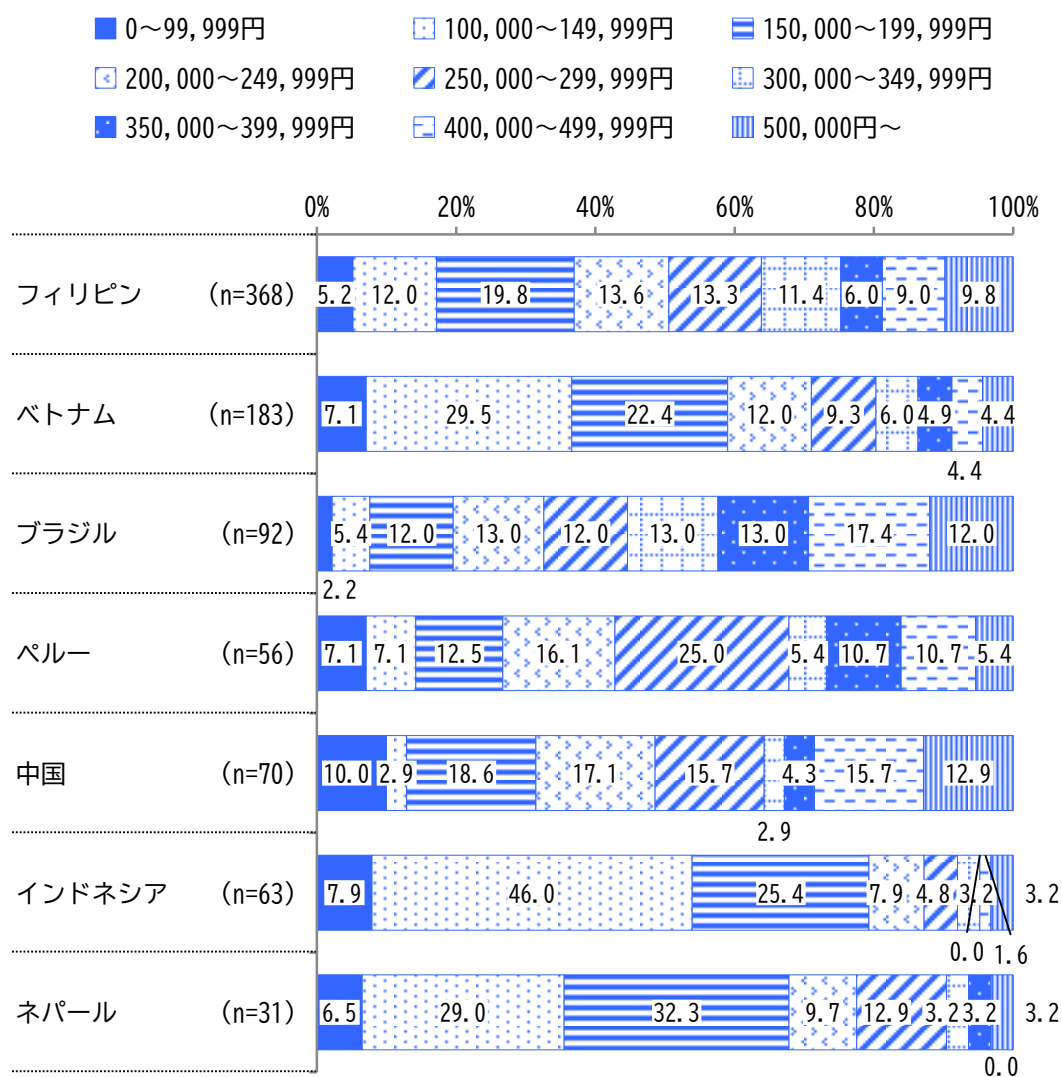
図表 17 家族全体の月収



【国籍別にみた家族全体の月収】

- ◆ 家族全体の月収を国籍別にみると、フィリピン、中国、ネパールでは「150,000～199,999 円」、ベトナム、インドネシアでは「100,000～149,999 円」、ブラジルでは「400,000～499,999 円」、ペルーでは「250,000～299,999 円」が最も高くなっています。

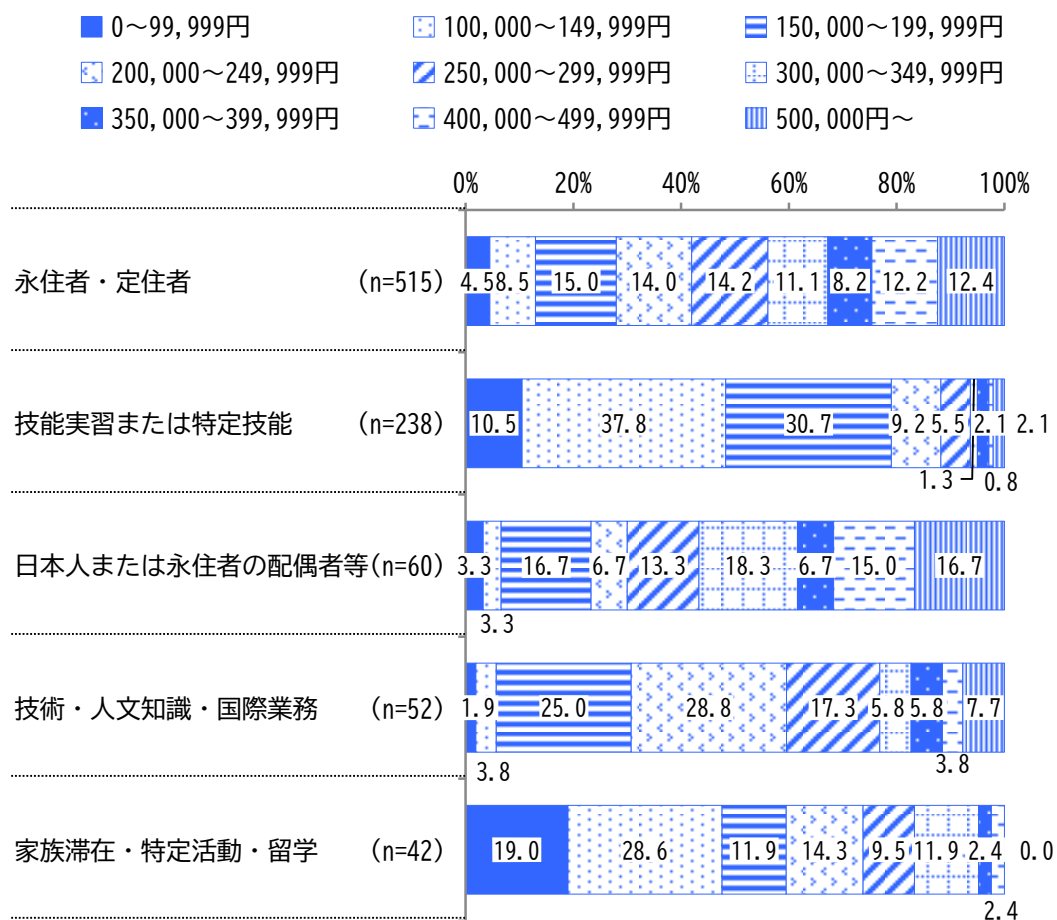
図表 18 国籍別にみた家族全体の月収



【在留資格別にみた家族全体の月収】

- ◆ 家族全体の月収を在留資格別にみると、永住者・定住者と日本人または永住者の配偶者等では、収入にばらつきがみられます。一方、技能実習または特定技能では「100,000～149,999 円」、「150,000～199,999 円」に全体の 7 割弱が固まっており、特定の所得帯に偏る傾向がみられます。

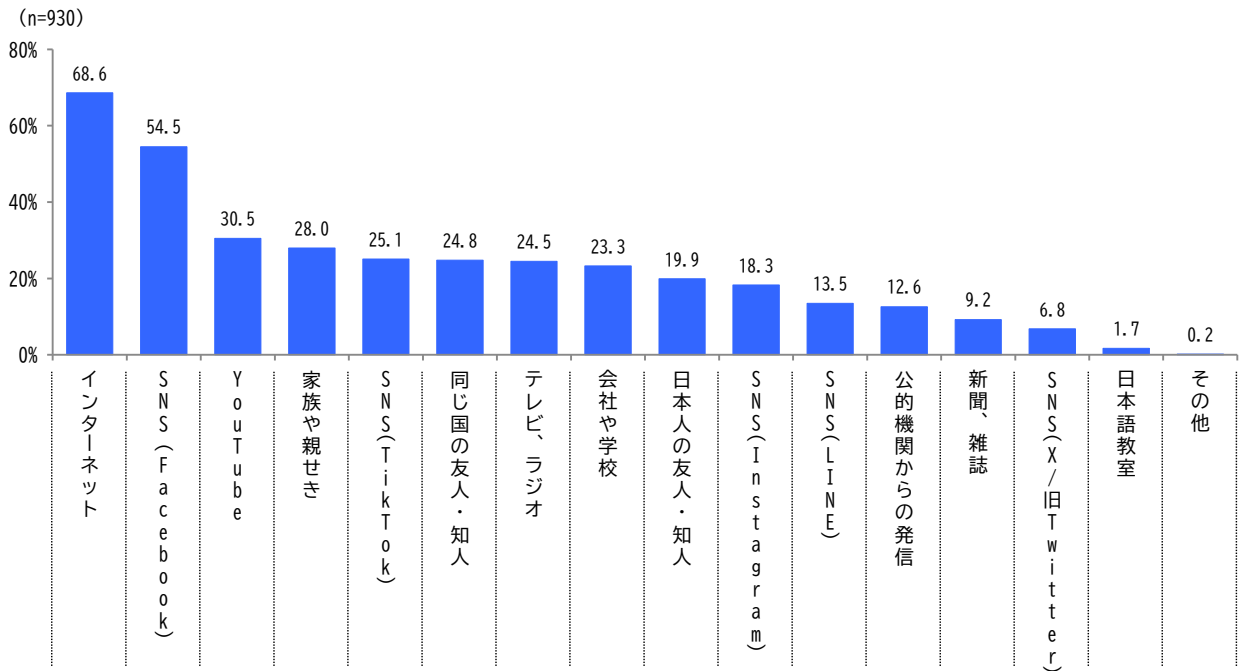
図表 19 在留資格別にみた家族全体の月収



問 13 生活に必要な情報をどのように入手していますか。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者の生活に必要な情報の入手先は、「インターネット」が 68.6%と最も高く、次いで、「SNS (Facebook)」(54.5%)、「YouTube」(30.5%)となっており、オンラインでの情報入手が主流となっています。
- ◆ 「公的機関からの発信」は 12.6%にとどまっています。

図表 20 生活に必要な情報の入手先



【年代別にみた生活に必要な情報の入手先】

- ◆ 生活に必要な情報の入手先を年代別にみると、すべての年代で「インターネット」が最も高く、特に「10・20 歳代」と「30 歳代」の若年層では7割以上となっています。次いで、「SNS(Facebook)」も高く、40 歳代以下では5割以上となっています。また、「10 歳・20 歳代」は SNS 全般が他の年代と比較して高い傾向にあります。

図表 21 年代別にみた生活に必要な情報の入手先

		全体	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	公的機関からの 発信	インターネット	SNS (Facebook)	SNS(LINE)	SNS (X/旧Twitter)	SNS (Instagram)
年代	10・20歳代	290	50	23	37	210	169	59	41	80
		100.0	17.2	7.9	12.8	72.4	58.3	20.3	14.1	27.6
	30歳代	254	50	33	24	185	153	27	8	43
		100.0	19.7	13.0	9.4	72.8	60.2	10.6	3.1	16.9
	40歳代	168	58	13	30	117	97	17	3	20
		100.0	34.5	7.7	17.9	69.6	57.7	10.1	1.8	11.9
	50歳代	104	36	7	14	65	45	9	2	10
		100.0	34.6	6.7	13.5	62.5	43.3	8.7	1.9	9.6
	60歳以上	47	16	2	5	23	18	3	2	3
		100.0	34.0	4.3	10.6	48.9	38.3	6.4	4.3	6.4

		全体	SNS(TikTok)	YouTube	会社や学校	家族や親せき	同じ国の 友人・知人	日本人の 友人・知人	日本語教室	その他
年代	10・20歳代	290	120	92	73	56	62	46	5	0
		100.0	41.4	31.7	25.2	19.3	21.4	15.9	1.7	0.0
	30歳代	254	62	78	61	75	69	47	8	0
		100.0	24.4	29.9	24.0	29.5	27.2	18.5	3.1	0.0
	40歳代	168	25	54	42	49	52	44	0	1
		100.0	14.9	32.1	25.0	29.2	31.0	26.2	0.0	0.5
	50歳代	104	13	31	20	42	29	25	0	0
		100.0	12.5	29.8	19.2	40.4	27.9	24.0	0.0	0.0
	60歳以上	47	5	13	6	17	8	7	0	1
		100.0	10.6	27.7	12.8	36.2	17.0	14.9	0.0	1.8

※上段は件数、下段は%

【国籍別にみた生活に必要な情報の入手先】

- ◆ 生活に必要な情報の入手先を国籍別にみると、すべての国籍で「インターネット」が最も高く、ブラジルでは8割強を占めるなど、どの国籍においてもオンラインでの情報取得が主流となっています。
- ◆ 利用される SNS は国籍によって違いがみられ、「Facebook」はフィリピン、ベトナム、ペルー、ネパール、「Instagram」はブラジルとインドネシア、「TikTok」はベトナム、インドネシア、ネパールで利用割合が高くなっています。一方で、「LINE」「X/旧 Twitter」の利用割合は低い結果となりました。また、「YouTube」の利用割合もブラジルやネパールで比較的高くなっています。
- ◆ このようにインターネットや SNS からの情報入手が主流である一方、フィリピンでは「家族や親せき」も 41.3%と高くなっており、同国コミュニティが重要な情報源となっている現状もうかがえます。

図表 22 国籍別にみた生活に必要な情報の入手先

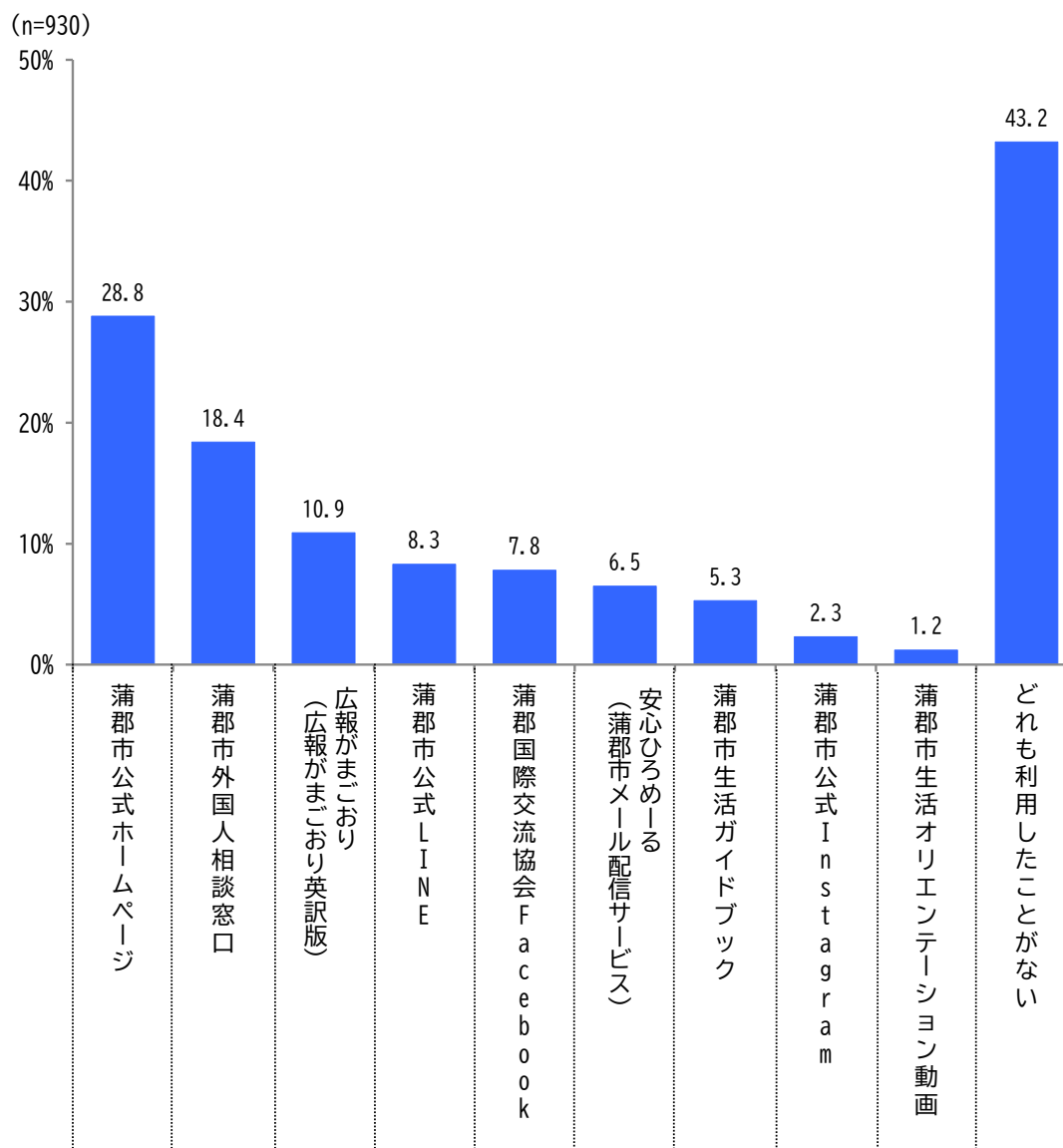
		全体	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	公的機関からの発信	インターネット	SNS (Facebook)	SNS(LINE)	SNS (X/旧 Twitter)	SNS (Instagram)
国籍	フィリピン	368	94	24	52	249	241	30	16	39
		100.0	25.5	6.5	14.1	67.7	65.5	8.2	4.3	10.6
	ベトナム	183	36	35	24	139	133	35	12	26
		100.0	19.7	19.1	13.1	76.0	72.7	19.1	6.6	14.2
	ブラジル	92	28	7	10	76	32	11	4	34
		100.0	30.4	7.6	10.9	82.6	34.8	12.0	4.3	37.0
	ペルー	56	12	0	5	34	27	9	6	12
		100.0	21.4	0.0	8.9	60.7	48.2	16.1	10.7	21.4
	中国	70	28	9	9	44	3	8	6	7
		100.0	40.0	12.9	12.9	62.9	4.3	11.4	8.6	10.0
国籍	インドネシア	63	6	2	8	37	25	14	10	28
		100.0	9.5	3.2	12.7	58.7	39.7	22.2	15.9	44.4
	ネパール	31	6	1	2	21	21	8	2	10
		100.0	19.4	3.2	6.5	67.7	67.7	25.8	6.5	32.3
		全体	SNS(TikTok)	YouTube	会社や学校	家族や親せき	同じ国の友人・知人	日本人の友人・知人	日本語教室	その他
国籍	フィリピン	368	75	110	82	152	109	79	3	0
		100.0	20.4	29.9	22.3	41.3	29.6	21.5	0.8	0.0
	ベトナム	183	72	61	46	16	53	36	7	0
		100.0	39.3	33.3	25.1	8.7	29.0	19.7	3.8	0.0
	ブラジル	92	10	39	13	27	25	19	1	0
		100.0	10.9	42.4	14.1	29.3	27.2	20.7	1.1	0.0
	ペルー	56	11	12	12	16	10	9	0	0
		100.0	19.6	21.4	21.4	28.6	17.9	16.1	0.0	0.0
	中国	70	14	13	18	15	9	11	0	0
		100.0	20.0	18.6	25.7	21.4	12.9	15.7	0.0	0.0
国籍	インドネシア	63	26	16	20	7	10	9	1	0
		100.0	41.3	25.4	31.7	11.1	15.9	14.3	1.6	0.0
	ネパール	31	17	15	11	6	4	6	1	0
		100.0	54.8	48.4	35.5	19.4	12.9	19.4	3.2	0.0

※上段は件数、下段は%

問 14 次のうち、あなたがこれまでに利用したことがある蒲郡市や関係団体の情報発信・相談窓口を教えてください。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者が利用したことがある情報発信・相談窓口は、「蒲郡市公式ホームページ」が 28.8%と最も高く、次いで「蒲郡市外国人相談窓口」(18.4%)、「広報がまごおり(広報がまごおり英訳版)」(10.9%)となっています。
- ◆ 一方で、「どれも利用したことがない」が 43.2%を占めており、利用経験のない人も多いことが分かります。

図表 23 利用経験のある市や関係団体の情報発信・相談窓口



【国籍別にみた利用経験のある市や関係団体の情報発信・相談窓口】

- ◆ 利用したことがある情報発信・相談窓口を国籍別にみると、ペルーを除く国籍で「蒲郡市公式ホームページ」、ペルーでは「蒲郡市外国人相談窓口」が最も高くなっています。また、ペルーでは「安心ひろめる（蒲郡市メール配信サービス）」、ネパールでは「蒲郡市生活ガイドブック」の利用が他の国籍と比較して高くなっています。

図表 24 国籍別にみた利用経験のある市や関係団体の情報発信・相談窓口

		全体	蒲郡市公式 ホームページ	広報がまごおり (広報がまごおり英訳版)	蒲郡市外国人 相談窓口	安心ひろめる (蒲郡市メール 配信サービス)	蒲郡市生活 オリエンテーション動画
国籍	フィリピン	368	98	51	79	33	0
		100.0	26.6	13.9	21.5	9.0	0.0
	ベトナム	183	58	9	35	3	2
		100.0	31.7	4.9	19.1	1.6	1.1
	ブラジル	92	35	18	21	6	2
		100.0	38.0	19.6	22.8	6.5	2.2
	ペルー	56	13	4	16	7	1
		100.0	23.2	7.1	28.6	12.5	1.8
	中国	70	18	6	10	4	2
		100.0	25.7	8.6	14.3	5.7	2.9
	インドネシア	63	22	2	2	3	1
		100.0	34.9	3.2	3.2	4.8	1.6
	ネパール	31	9	4	5	1	2
		100.0	29.0	12.9	16.1	3.2	6.5

		全体	蒲郡市 公式LINE	蒲郡市生活 ガイドブック	蒲郡市公式 Instagram	蒲郡国際交流協会 Facebook	どれも利用したことがない
国籍	フィリピン	368	19	11	5	42	155
		100.0	5.2	3.0	1.4	11.4	42.1
	ベトナム	183	12	14	3	20	78
		100.0	6.6	7.7	1.6	10.9	42.6
	ブラジル	92	15	4	5	5	32
		100.0	16.3	4.3	5.4	5.4	34.8
	ペルー	56	7	5	0	1	21
		100.0	12.5	8.9	0.0	1.8	37.5
	中国	70	9	5	0	0	27
		100.0	12.9	7.1	0.0	0.0	38.6
	インドネシア	63	5	2	5	1	30
		100.0	7.9	3.2	7.9	1.6	47.6
	ネパール	31	4	4	2	3	15
		100.0	12.9	12.9	6.5	9.7	48.4

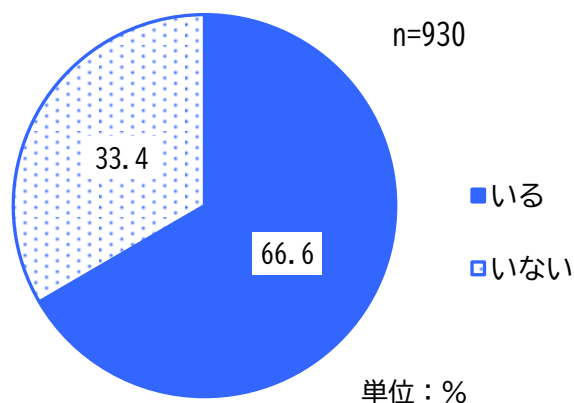
※上段は件数、下段は%

3 日本語の理解や会話

問 15 家族の中に日常生活に困らない程度、日本語がわかる人はいますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の家族の中で日常生活に困らない程度の日本語がわかる人の有無については、日本語がわかる人が「いる」は 66.6%、「いない」は 33.4%となっています。

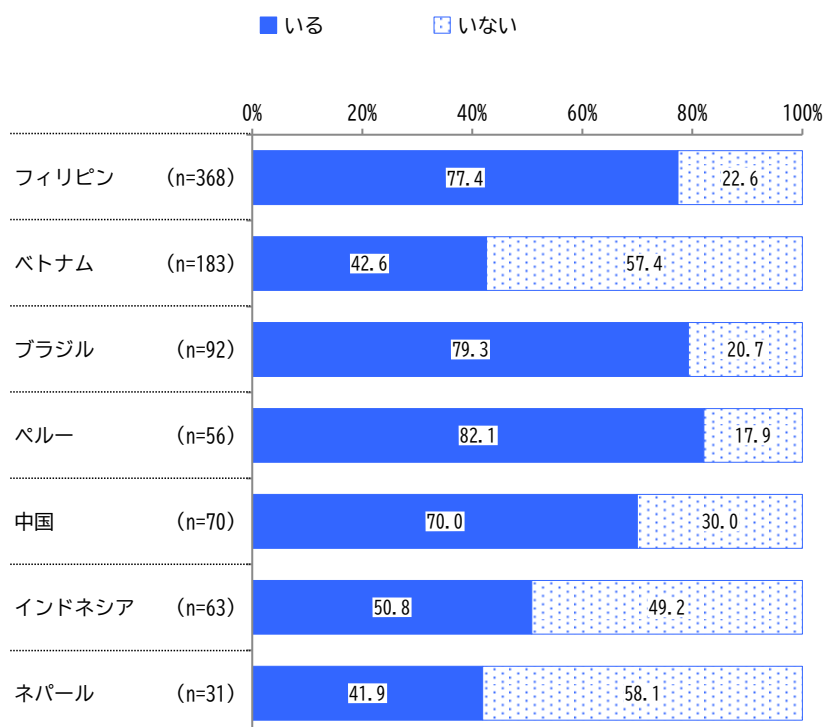
図表 25 日本語が分かる人の有無



【国籍別にみた日本語が分かる人の有無】

- ◆ 家族の中で日常生活に困らない程度の日本語がわかる人の有無について国籍別にみると、ベトナム、ネパールを除く国籍では日本語がわかる人が「いる」は5割以上となっており、ペルーでは8割強を占めています。一方で、ベトナム、ネパールでは「いない」が5割以上となっています。

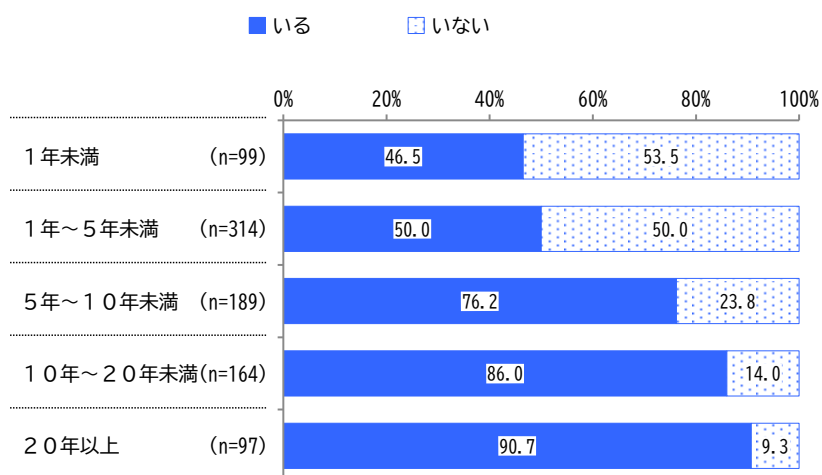
図表 26 国籍別にみた日本語が分かる人の有無



【居住年数別にみた日本語が分かる人の有無】

- ◆ 家族の中で日常生活に困らない程度の日本語がわかる人の有無について居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて、日本語がわかる人が「いる」が高くなっており、20年以上では日本語のわかる人が「いる」は90.7%を占めています。

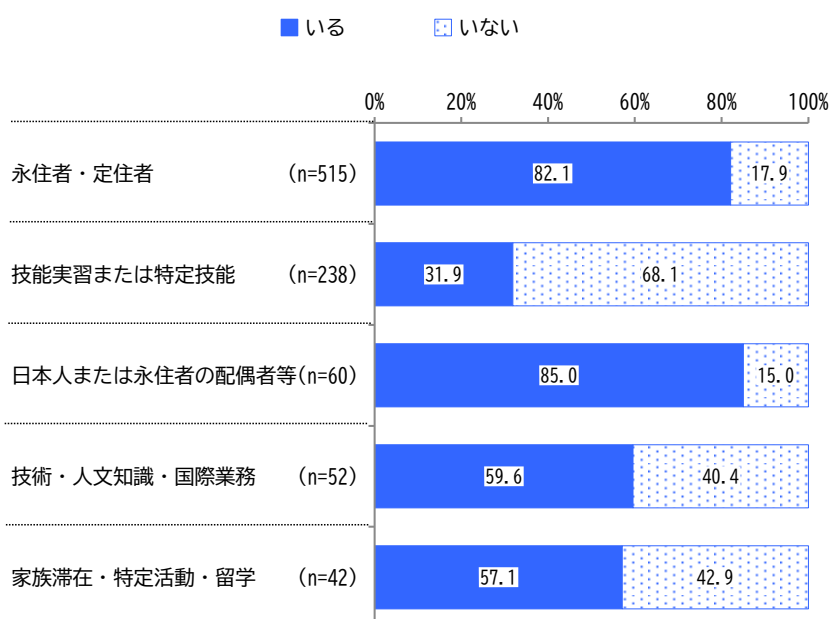
図表 27 居住年数別にみた日本語が分かる人の有無



【在留資格別にみた日本語が分かる人の有無】

- ◆ 家族の中で日常生活に困らない程度の日本語がわかる人の有無について在留資格別にみると、技能実習または特定技能を除き、日本語がわかる人が「いる」は5割以上となっています。特に、永住者・定住者、日本人または永住者の配偶者等は家族内に日本語がわかる人が8割以上「いる」結果となっています。一方で、技能実習または特定技能では、日本語がわかる人が「いる」は31.9%にとどまっています。

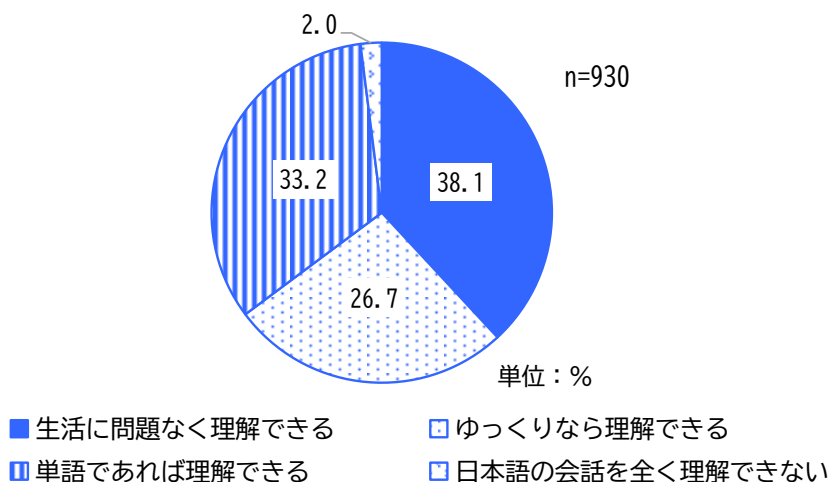
図表 28 在留資格別にみた日本語が分かる人の有無



問 16 日本語を聞いて理解することができますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の日本語を聞くことの理解度は、「生活に問題なく理解できる」が38.1%、「単語であれば理解できる」が33.2%、「ゆっくりなら理解できる」が26.7%となっています。「生活に問題なく理解できる」と「ゆっくりなら理解できる」を合わせると64.8%となり、一定程度の聞き取りが可能な層が多数を占めています。
- ◆ 「日本語の会話を全く理解できない」は2.0%にとどまり、全く理解できない人は少数です。

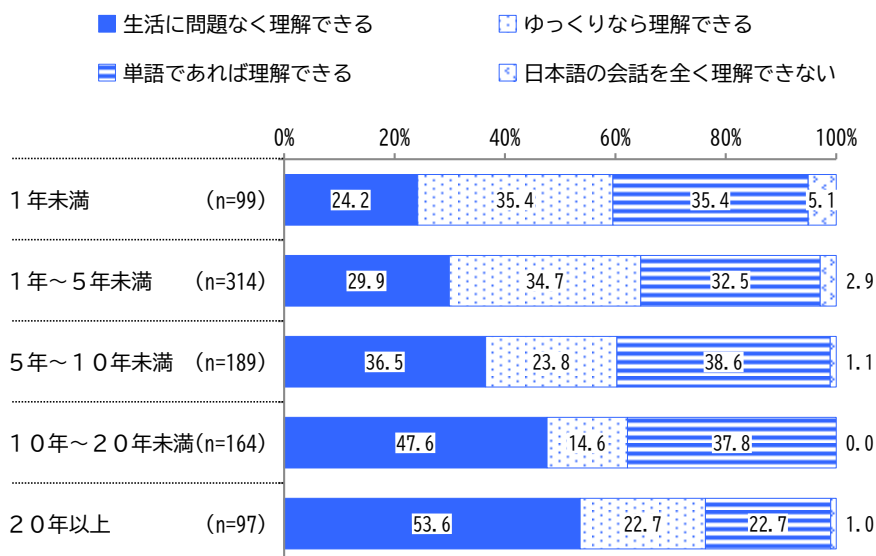
図表 29 日本語を聞くことの理解度



【居住年数別にみた日本語を聞くことの理解度】

- ◆ 日本語を聞くことの理解度について居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて「生活に問題なく理解できる」が高くなっており、20年以上では「生活に問題なく理解できる」が5割強となっています。一方で、居住年数が長くとも、「単語であれば理解できる」という日本語の聞き取り能力が初歩段階にとどまる層が一定数おり、長期在留であっても必ずしも十分な日本語能力に達しているとは限りません。

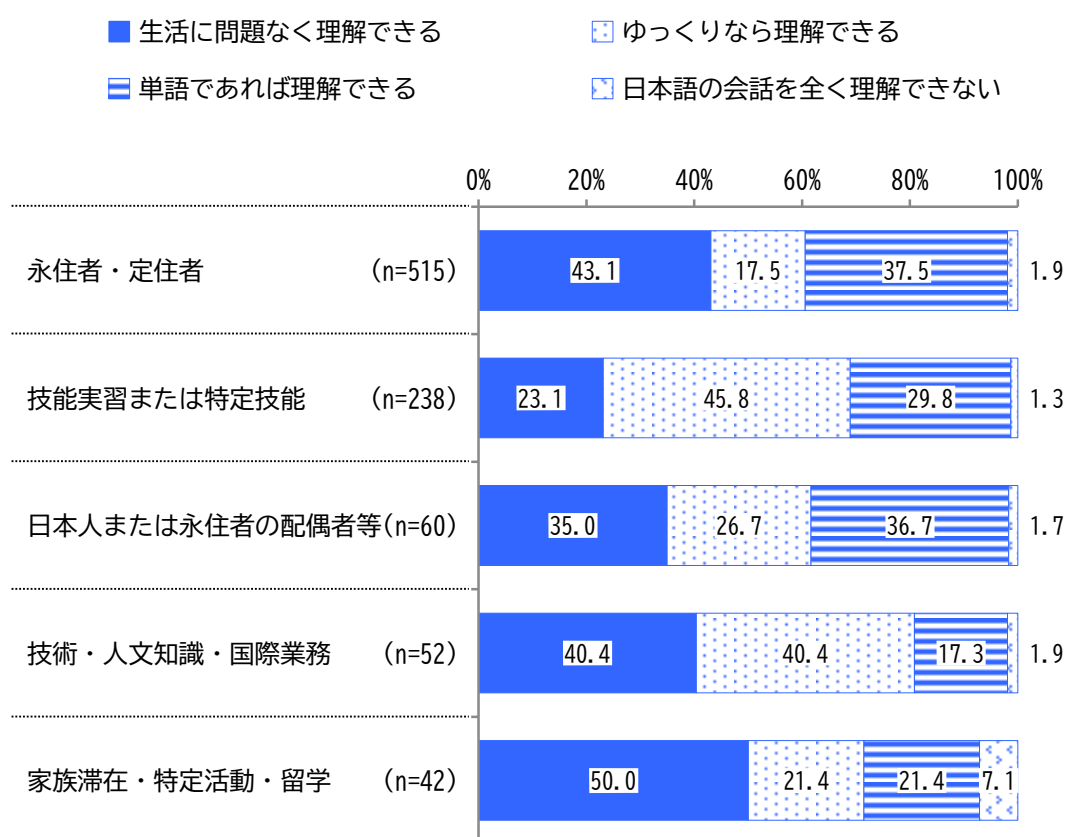
図表 30 居住年数別にみた日本語を聞くことの理解度



【在留資格別にみた日本語を聞くことの理解度】

- ◆ 日本語を聞くことの理解度について在留資格別にみると、永住者・定住者、日本人または永住者の配偶者等では「生活に問題なく理解できる」と「単語であれば理解できる」層に分かれる傾向がみられます。
- ◆ 技能実習または特定技能と技術・人文知識・国際業務では「ゆっくりなら理解できる」が4割以上と高く、一定程度の聞き取りが可能な層が中心となっています。特に、技術・人文知識・国際業務では「生活に問題なく理解ができる」も同程度いることから、他の在留資格と比較して日本語を聞くことの理解度が高いといえます。

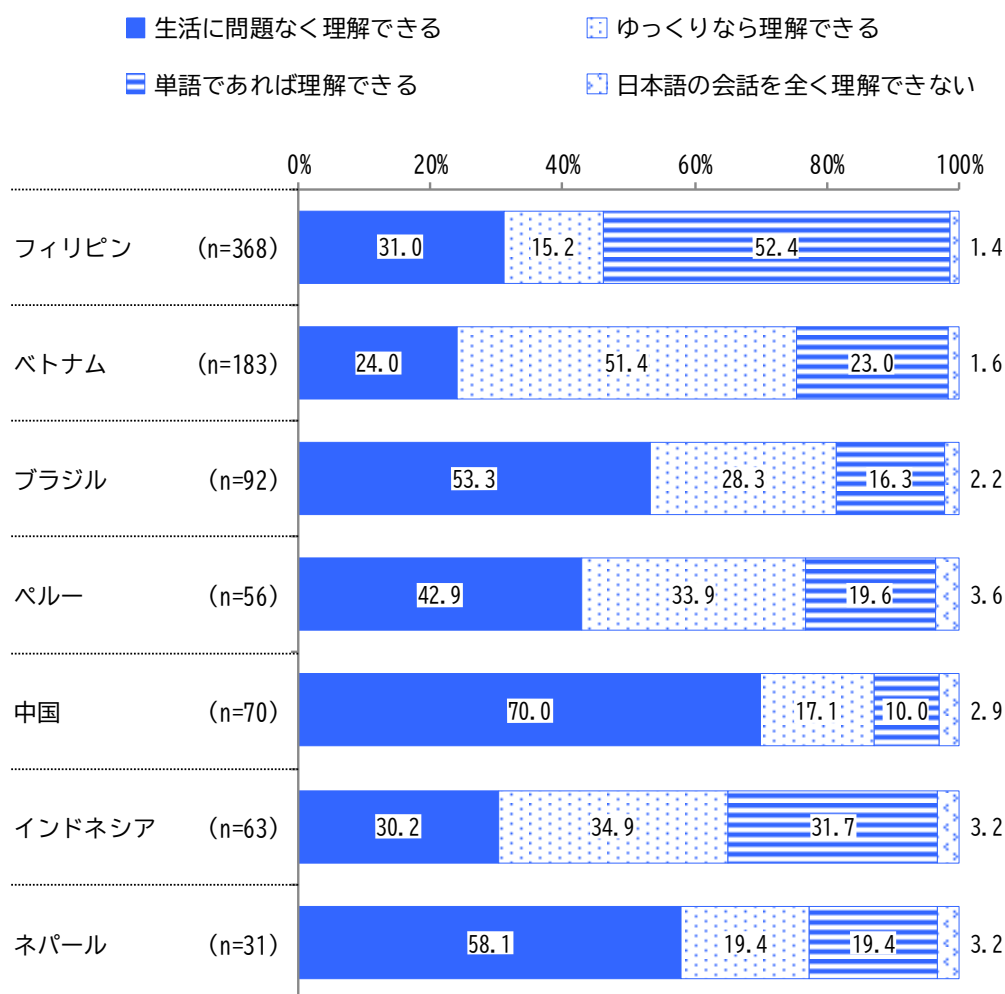
図表 31 在留資格別にみた日本語を聞くことの理解度



【国籍別にみた日本語を聞くことの理解度】

- ◆ 日本語を聞くことの理解度について国籍別にみると、ブラジル、中国、ネパールでは「生活に問題なく理解できる」割合が高く、日本語の理解度が高い傾向がみられます。一方、フィリピンでは「単語であれば理解できる」が52.4%と他の国籍と比較して高く、日本語の理解度に一定の課題があると考えられます。また、ベトナムでは「ゆっくりなら理解できる」が51.4%と高くなっています。

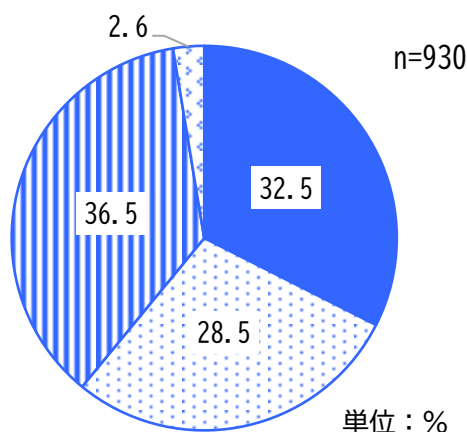
図表 32 国籍別にみた日本語を聞くことの理解度



問 17 日本語をどのくらい話せますか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の日本語での会話については、「単語であれば話することができる」が36.5%、「生活に問題なく話することができる」が32.5%、「ゆっくりなら話することができる」が28.5%となっています。「生活に問題なく話することができる」と「ゆっくりなら話することができる」を合わせると61.0%となり、一定程度の会話が可能な層が多数を占めています。
- ◆ 「日本語を全く話することができない」は2.0%にとどまり、全く話せない人は少数です。

図表 33 日本語での会話

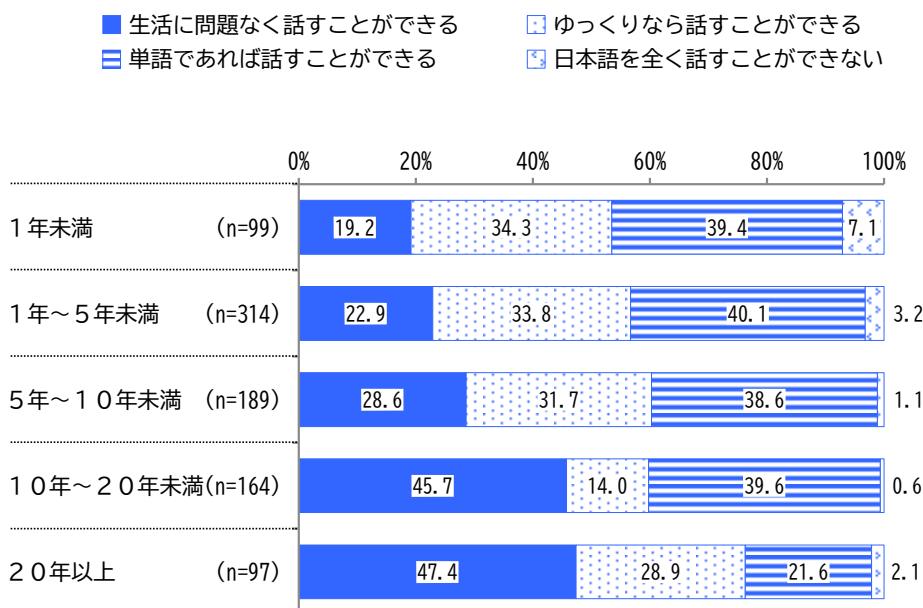


- 生活に問題なく話することができる
- ゆっくりなら話することができる
- 単語であれば話することができる
- 日本語を全く話することができない

【居住年数別にみた日本語での会話】

- ◆ 日本語での会話について居住年数別にみると、日本語を聞くことの理解度と同様の傾向がみられ、居住年数が長いほど「生活に問題なく話することができる」割合が高くなりますが、居住年数が長くとも「単語であれば話することができる」という日本語会話が初歩段階にとどまる層が一定数いることが分かります。

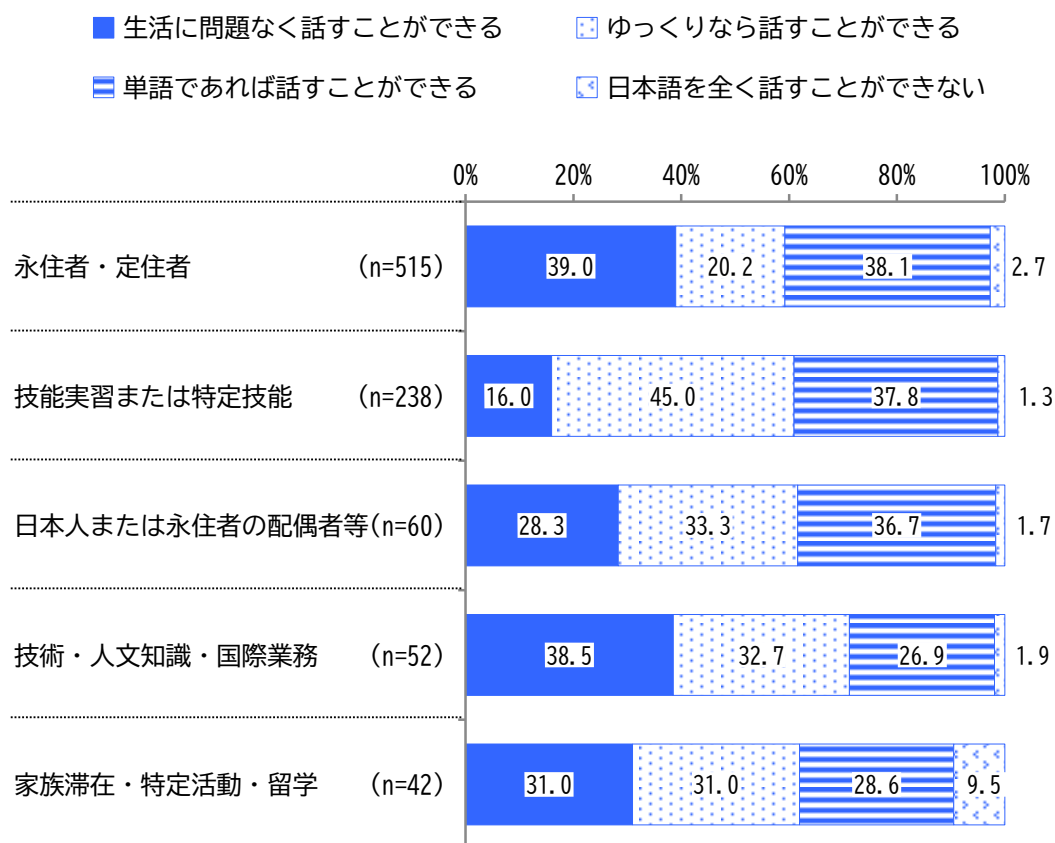
図表 34 居住年数別にみた日本語での会話



【在留資格別にみた日本語での会話】

- ◆ 日本語での会話について在留資格別にみると、永住者・定住者、技術・人文知識・国際業務では、「生活に問題なく話すことができる」が約4割と高くなっています。一方で、永住者・定住者では「単語であれば話すことができる」も同程度の割合となっており、二極化する傾向がみられます。
- ◆ 技能実習または特定技能では「ゆっくりなら話すことができる」が45.0%、「単語であれば話すことができる」も37.8%と高くなっており、日本語での会話能力に一定の課題がみられます。

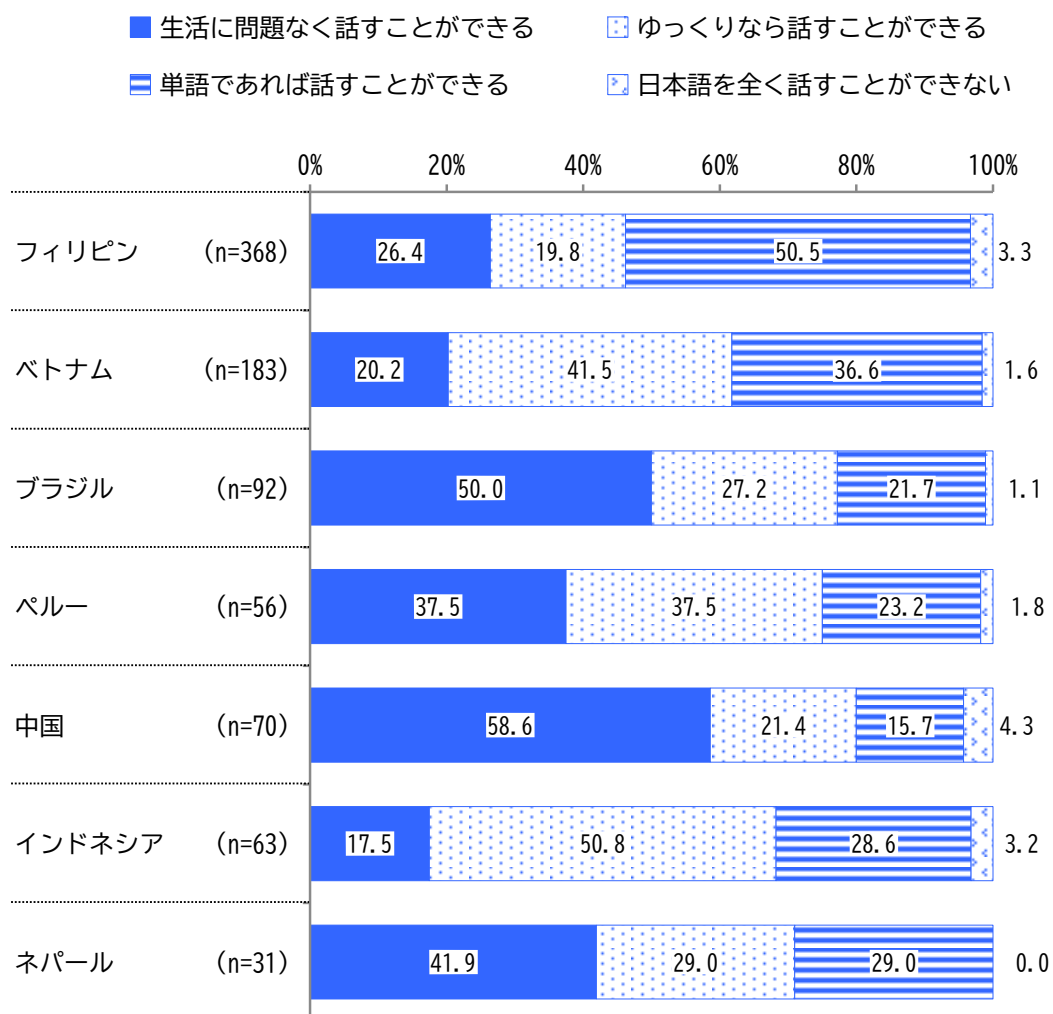
図表 35 在留資格別にみた日本語での会話



【国籍別にみた日本語での会話】

- ◆ 日本語での会話について国籍別にみると、日本語を聞くことの理解度と同様の傾向がみられ、ブラジル、中国、ネパールでは「生活に問題なく理解できる」割合が高く、日本語の会話能力が高い傾向がみられます。一方、フィリピンでは「単語であれば話すことができる」が50.5%と他の国籍と比較して高く、日本語の理解度に一定の課題があると考えられます。また、ベトナムとインドネシアでは「ゆっくりなら話すことができる」が4割～5割と高くなっています。

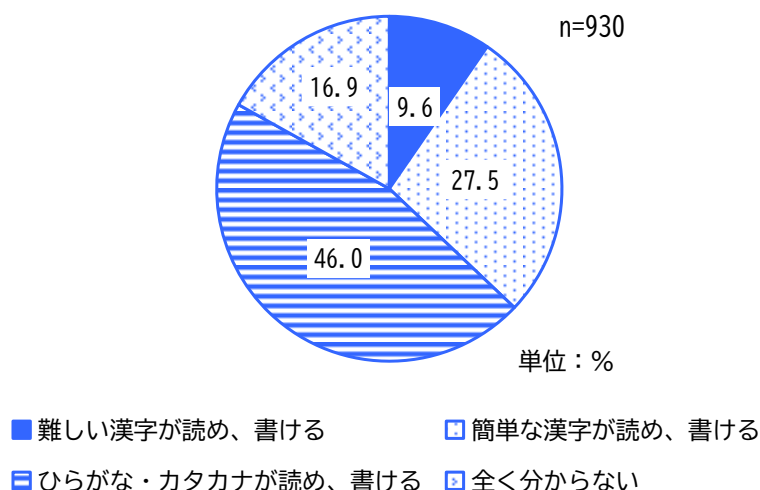
図表 36 国籍別にみた日本語での会話



問 18 日本語を読むことや書くことができますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の日本語の読み・書きについては、「ひらがな・カタカナが読め、書ける」が 46.0%、「簡単な漢字が読め、書ける」が 27.5%、「全く分からない」が 16.9%となっています。「難しい漢字が読め、書ける」と「簡単な漢字が読め、書ける」を合わせると 37.1%にとどまり、漢字を含めた読み書きには課題がみられます。
- ◆ 「全く分からない」は 16.9%と一定数存在しており、読み書きについては日本語の聞き取り理解や会話能力と比較して外国人市民にとってハードルが高いことが分かります。

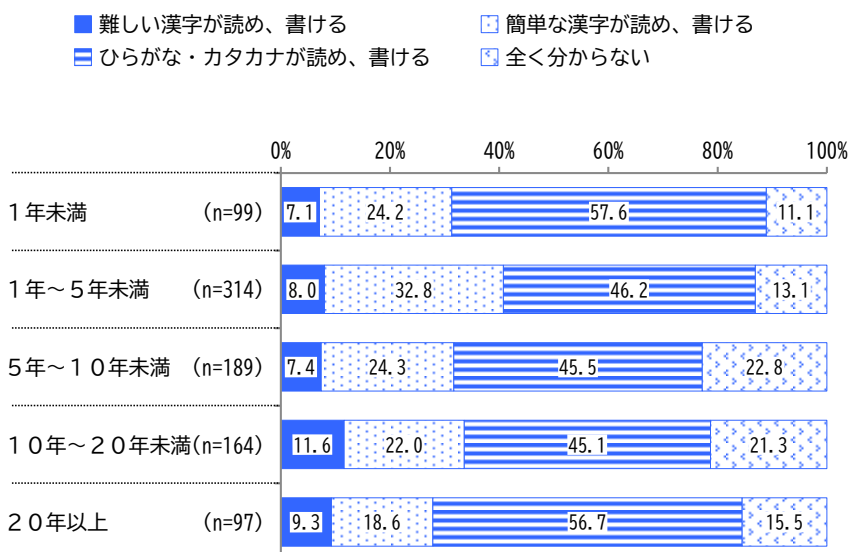
図表 37 日本語の読み・書き



【居住年数別にみた日本語の読み・書き】

- ◆ 日本語の読み・書きについて居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて能力が向上する傾向はみられませんでした。特に、5年～10年未満および10年～20年未満において「全く分からない」が2割以上を占めており、一定期間日本に居住していても読み書き能力が十分に向上していない層がみられます。

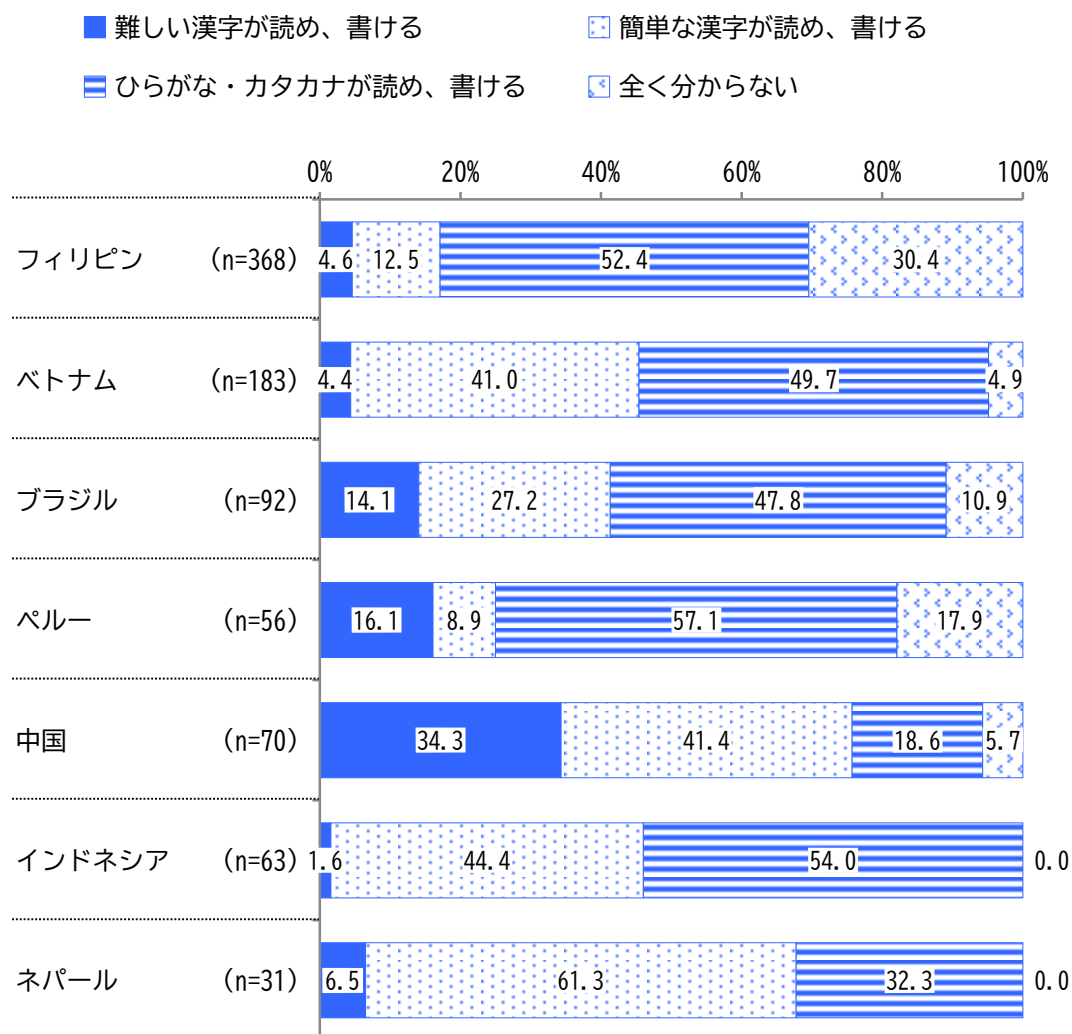
図表 38 居住年数別にみた日本語の読み・書き



【国籍別にみた日本語の読み・書き】

- ◆ 日本語の読み・書きについて国籍別にみると、中国とネパールを除く国籍で「ひらがな・カタカナが読める、書ける」が最も高くなっています。ベトナム、中国、インドネシア、ネパールでは「簡単な漢字が読め、書ける」が4割以上と比較的高く、一定の読み書き能力を有する層もみられます。特に中国では「難しい漢字が読め、書ける」割合も34.3%と高くなっています。一方で、フィリピンでは「全く分からない」が約3割となっており、他の国籍と比較して高く、日本語の読み書き能力に一定の課題がみられます。

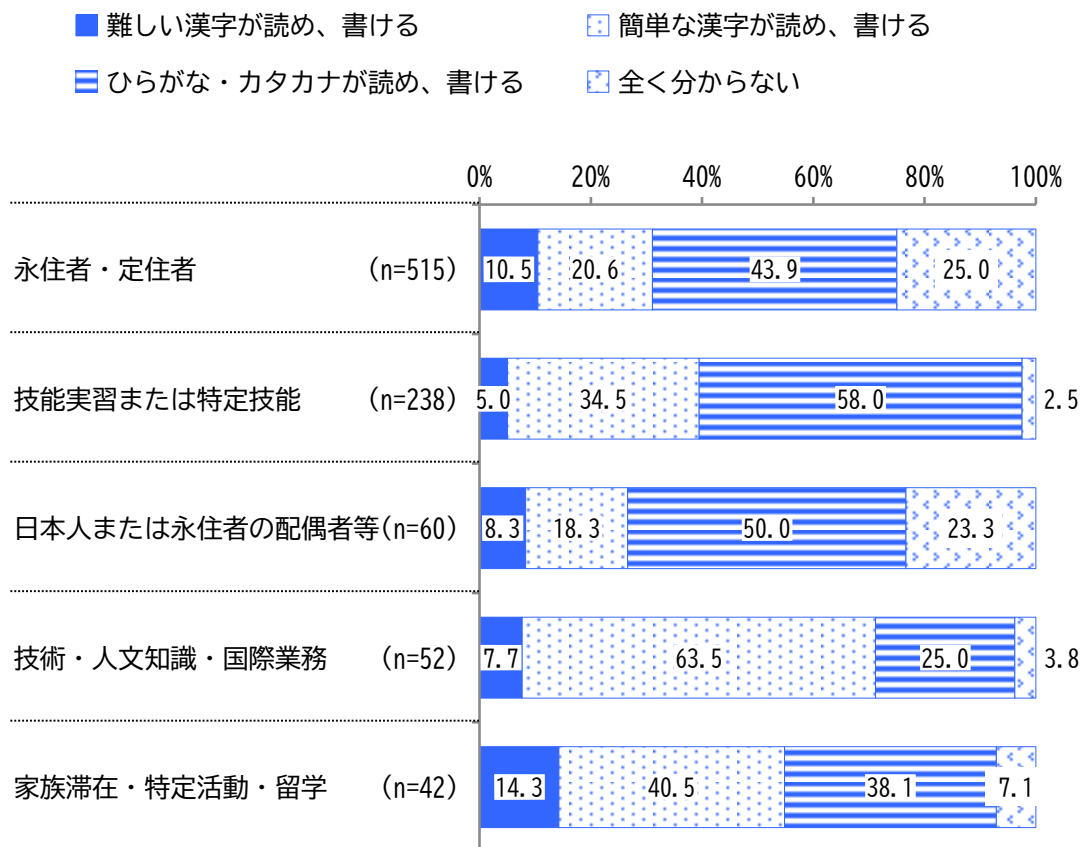
図表 39 国籍別にみた日本語の読み・書き



【在留資格別にみた日本語の読み・書き】

- ◆ 日本語の読み・書きについて在留資格別にみると、技術・人文知識・国際業務は「簡単な漢字が読め、書ける」が63.5%と高くなっています。一方で、永住者・定住者と日本人または永住者の配偶者等では、「全く分からない」が2割以上となっています。

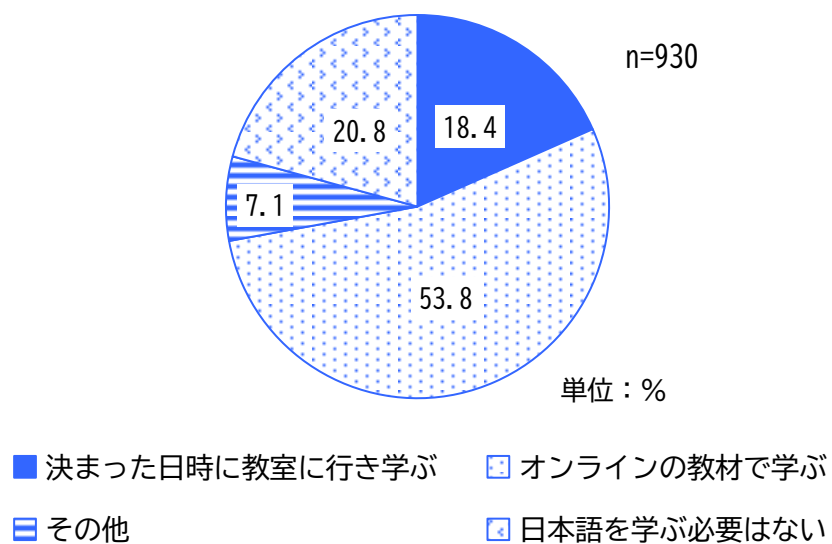
図表 40 在留資格別にみた日本語の読み・書き



問 19 どのような方法で日本語を学びたいですか。【○は1つ】

- ◆ 日本語の学び方の希望については、「オンラインの教材で学ぶ」が 53.8%と最も高く、次いで「決まった教室に行き学ぶ」(18.4%)となっています。
- ◆ 「日本を学ぶ必要はない」が約 2 割となっています。

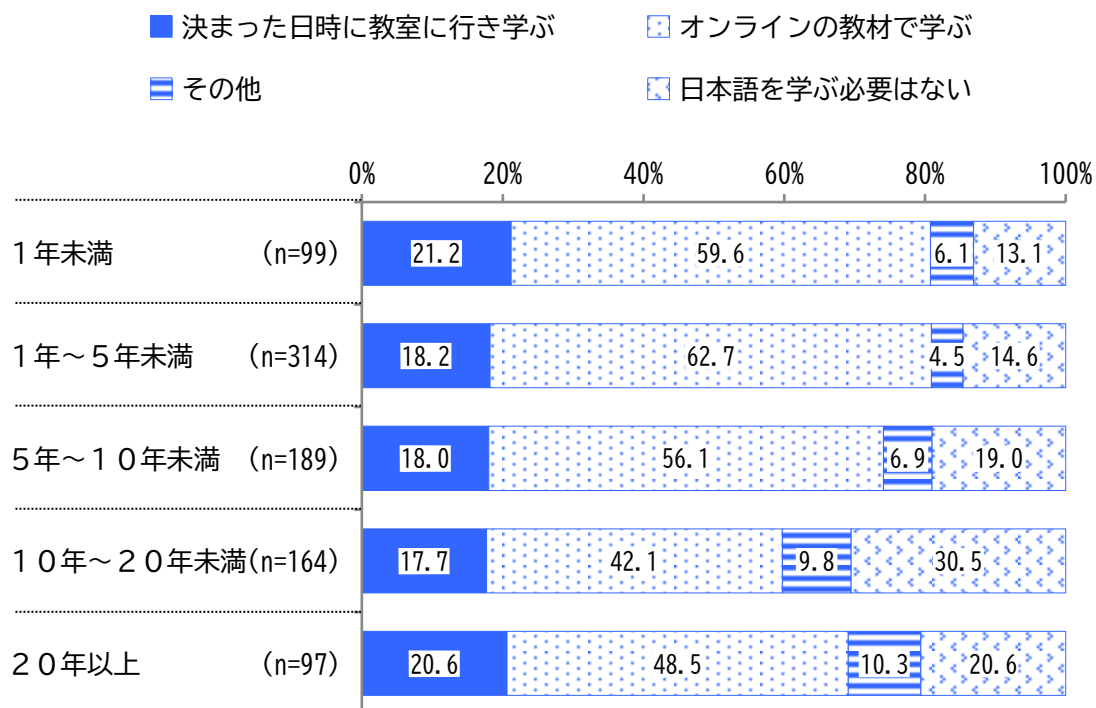
図表 41 日本語を学ぶ方法



【居住年数別にみた日本語を学ぶ方法】

- ◆ 日本語を学ぶ方法について居住年数別にみると、10 年以上と居住年数が長くとも、『日本語を学ぶ』（“決まった日時に教室に行き学ぶ”＋“オンラインの教材で学ぶ”）意向を示している割合が半数以上を占めていることから、日本語学習のニーズは居住年数に関わらず継続的に存在していることが分かります。

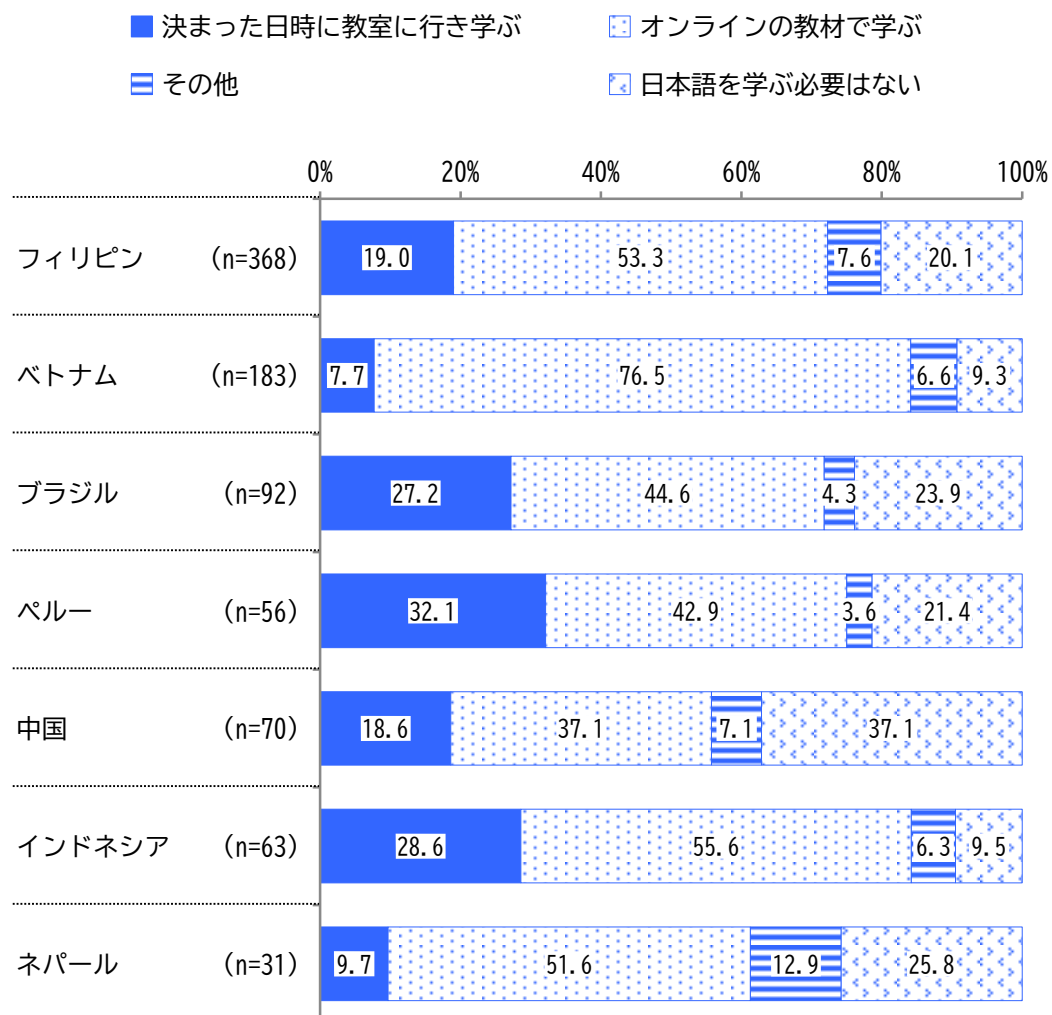
図表 42 居住年数別にみた日本語を学ぶ方法



【国籍別にみた日本語を学ぶ方法】

- ◆ 日本語を学ぶ方法について国籍別にみると、すべての国籍で「オンラインの教材で学ぶ」が最も高くなっており、ベトナムでは8割弱を占めています。

図表 43 国籍別にみた日本語を学ぶ方法



【在留資格別にみた日本語を学ぶ方法】

- ◆ 日本語を学ぶ方法について在留資格別にみると、すべての在留資格で「オンラインの教材で学ぶ」が最も高く、技能実習と特定技能では約7割を占めています。

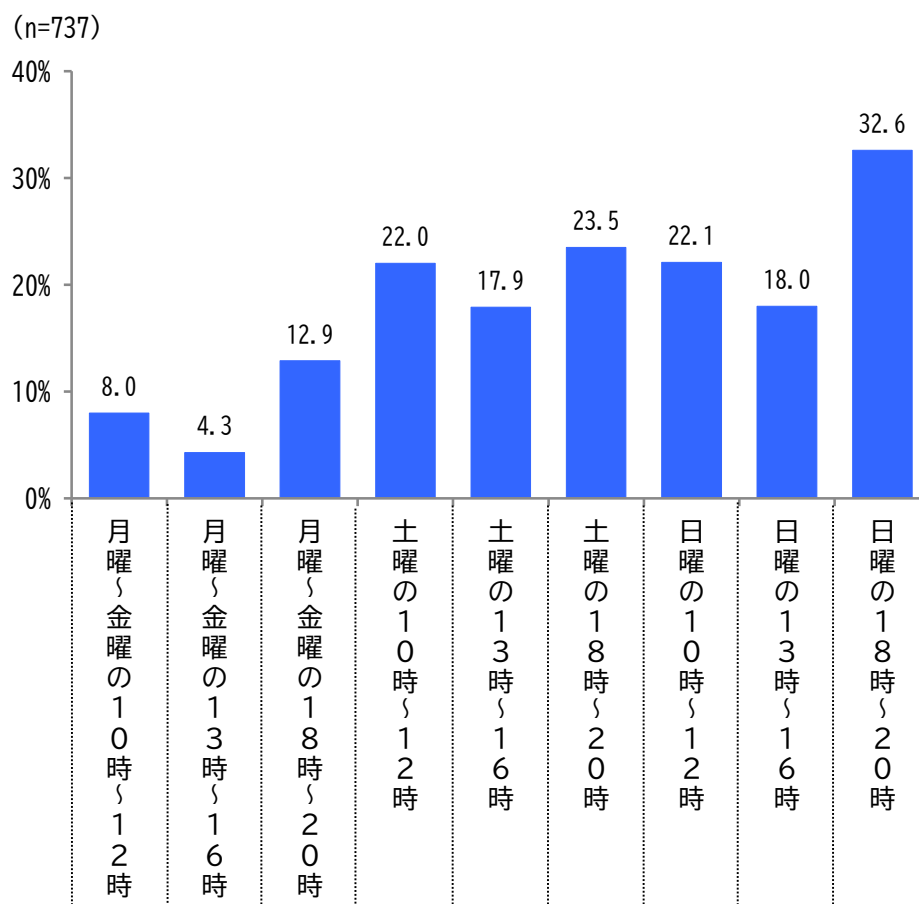
図表 44 在留資格別にみた日本語を学ぶ方法



問 20 日本語を学ぶのに都合の良い時間帯はどれですか。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者の日本語を学ぶのに都合の良い時間帯は、「日曜の 18 時～20 時」が 32.6%と最も高く、次いで、「土曜の 18 時～20 時」(23.5%)、「日曜の 10 時～12 時」(22.1%)、「土曜の 10 時～12 時」(22.0%) となっています。

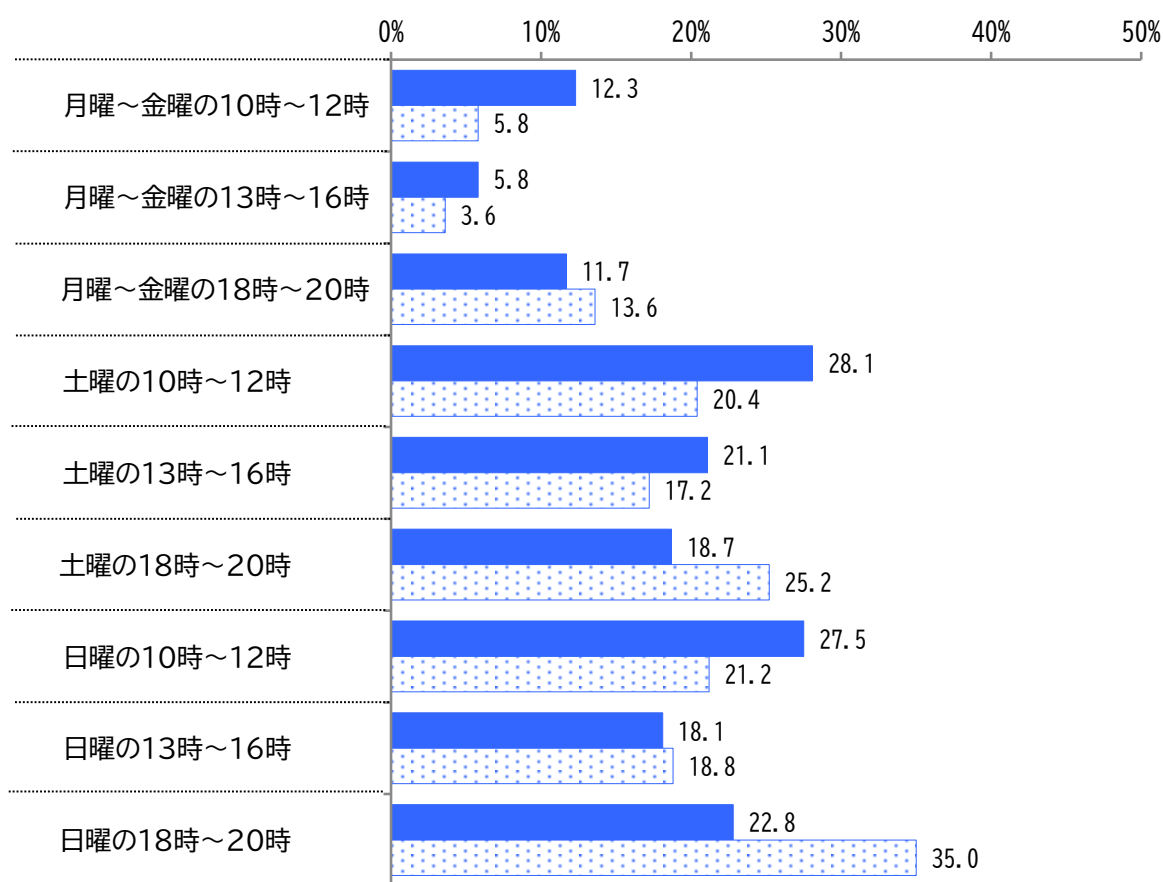
図表 45 日本語を学ぶ時間帯



【問 19 希望する日本語の学び方別にみた日本語を学ぶのに都合の良い時間帯】

- ◆ 希望する日本語の学び方別に日本語を学ぶのに都合の良い時間帯をみると、決まった時間に教室に行き学ぶことを希望する層では、「土曜の10時～12時」が28.1%と最も高く、次いで「日曜の10時～12時」(27.5%)、「日曜の18時～20時」(22.8%)となっており、休日の午前中を希望する割合が高くなっています。
- ◆ オンラインの教材で学ぶことを希望する層では、「日曜の18時～20時」が35.0%と最も高く、次いで「土曜の18時～20時」(25.2%)、「日曜の10時～12時」(21.2%)となっており、休日の夜を希望する割合が多い結果となりました。

図表 46 希望する日本語の学び方別にみた日本語を学ぶ時間帯



■ 決まった日時に教室に行き学ぶ (n=171) ▨ オンラインの教材で学ぶ (n=500)

【在留資格別にみた日本語を学ぶのに都合の良い時間帯】

- ◆ 日本語を学ぶのに都合の良い時間帯について在留資格別にみると、永住者・定住者では「土曜の10時～12時」、技能実習または特定技能、日本人または永住者の配偶者等、技術・人文知識・国際業務は「日曜の18時～20時」、家族滞在・特定活動・留学は「土曜の13時～16時」が最も高くなっています。

図表 47 在留資格別にみた日本語を学ぶ時間帯

		全 体	月曜～金曜の 10時～12時	月曜～金曜の 13時～16時	月曜～金曜の 18時～20時	土曜の 10時～12時	土曜の 13時～16時
在 留 資 格	永住者・定住者	389	24	11	35	106	69
		100.0	6.2	2.8	9.0	27.2	17.7
	技能実習または 特定技能	214	17	7	40	30	32
		100.0	7.9	3.3	18.7	14.0	15.0
	日本人または永住者の 配偶者等	46	6	5	5	10	12
		100.0	13.0	10.9	10.9	21.7	26.1
	技術・人文知識・ 国際業務	45	3	2	10	8	10
		100.0	6.7	4.4	22.2	17.8	22.2
	家族滞在・特定活動・ 留学	32	6	5	5	6	8
		100.0	18.8	15.6	15.6	18.8	25.0

		全 体	土曜の 18時～20時	日曜の 10時～12時	日曜の 13時～16時	日曜の 18時～20時
在 留 資 格	永住者・定住者	389	86	87	56	97
		100.0	22.1	22.4	14.4	24.9
	技能実習または 特定技能	214	50	48	48	98
		100.0	23.4	22.4	22.4	45.8
	日本人または永住者の 配偶者等	46	9	13	13	14
		100.0	19.6	28.3	28.3	30.4
	技術・人文知識・ 国際業務	45	20	9	11	24
		100.0	44.4	20.0	24.4	53.3
	家族滞在・特定活動・ 留学	32	7	5	3	3
		100.0	21.9	15.6	9.4	9.4

※上段は件数、下段は%

【国籍別にみた日本語を学ぶのに都合の良い時間帯】

- ◆ 日本語を学ぶのに都合の良い時間帯を国籍別にみると、フィリピン、ブラジル、ネパールでは「土曜の10時～12時」、ベトナム、ブラジル、ペルー、中国では「日曜の18時～20時」、インドネシアは「日曜の13時～16時」が最も高くなっています。

図表 48 国籍別にみた日本語を学ぶ時間帯

		全 体	月曜～金曜の 10時～12時	月曜～金曜の 13時～16時	月曜～金曜の 18時～20時	土曜の10時 ～12時	土曜の13時 ～16時
国 籍	フィリピン	294	19	6	18	84	57
		100.0	6.5	2.0	6.1	28.6	19.4
	ベトナム	166	9	0	29	24	30
		100.0	5.4	0.0	17.5	14.5	18.1
	ブラジル	70	6	3	8	20	11
		100.0	8.6	4.3	11.4	28.6	15.7
	ペルー	44	2	3	7	6	7
		100.0	4.5	6.8	15.9	13.6	15.9
	中国	44	5	8	10	7	6
		100.0	11.4	18.2	22.7	15.9	13.6
	インドネシア	57	10	5	11	12	12
		100.0	17.5	8.8	19.3	21.1	21.1
	ネパール	23	2	2	4	5	4
		100.0	8.7	8.7	17.4	21.7	17.4

		全 体	土曜の 18時～20時	日曜の 10時～12時	日曜の 13時～16時	日曜の 18時～20時
国 籍	フィリピン	294	58	67	45	61
		100.0	19.7	22.8	15.3	20.7
	ベトナム	166	53	44	40	90
		100.0	31.9	26.5	24.1	54.2
	ブラジル	70	17	16	9	20
		100.0	24.3	22.9	12.9	28.6
	ペルー	44	10	6	6	18
		100.0	22.7	13.6	13.6	40.9
	中国	44	9	6	6	13
		100.0	20.5	13.6	13.6	29.5
	インドネシア	57	12	11	18	16
		100.0	21.1	19.3	31.6	28.1
	ネパール	23	3	4	1	7
		100.0	13.0	17.4	4.3	30.4

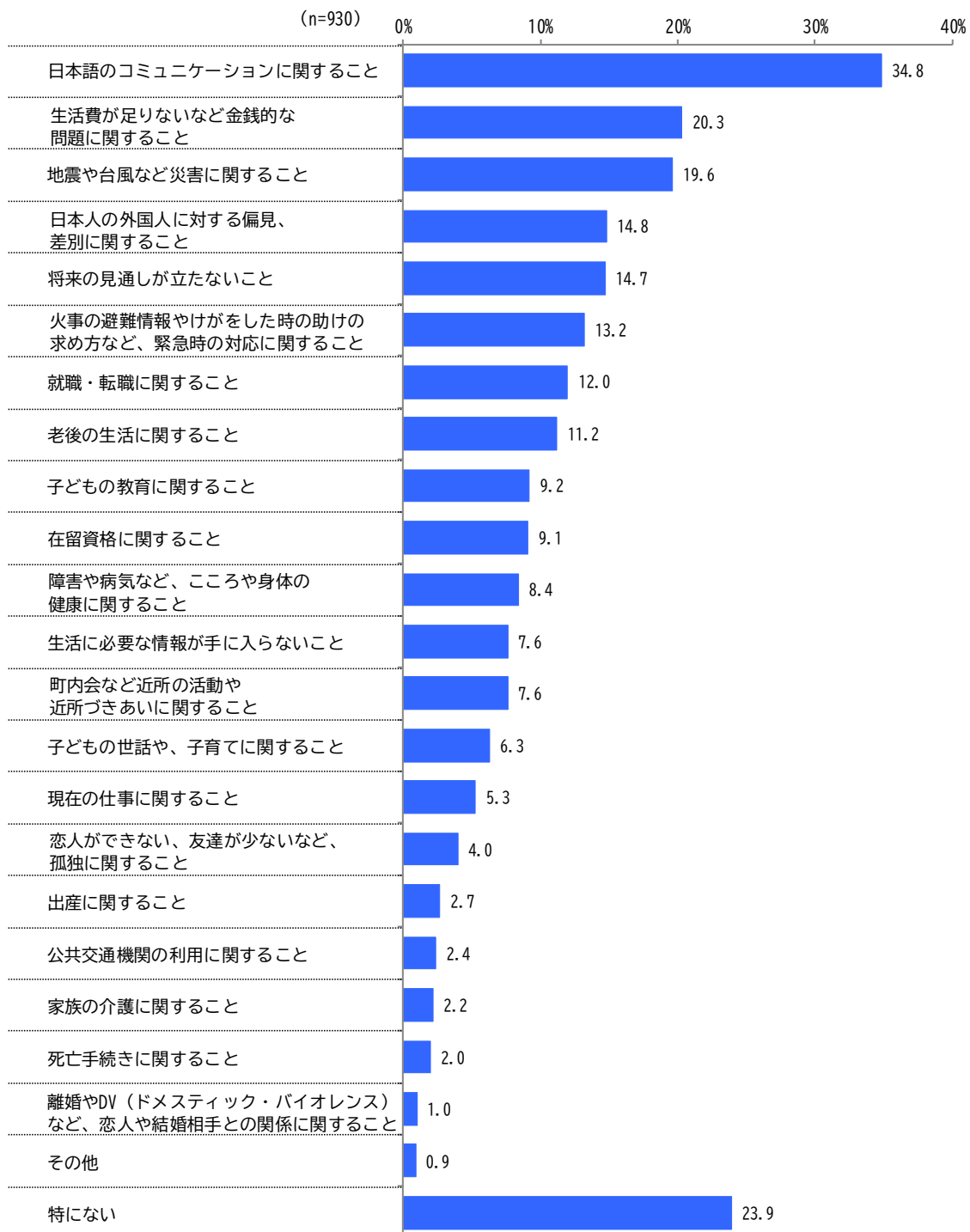
※上段は件数、下段は%

4 生活する上での困りごとについて

問 21 あなたが、現在不安に感じていること、困っていることはありますか。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者が現在不安に感じていることや困っていることは、「日本語のコミュニケーションに関すること」が 34.8%と最も高く、次いで「生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること」(20.3%)、「地震や台風など災害に関すること」(19.6%)となっています。
- ◆ 一方で、「特にない」は2割強となっています。

図表 49 現在不安に感じていること、困っていること



【国籍別にみた現在不安に感じていること、困っていること】

- ◆ 現在不安に感じていることや困っていることについて国籍別にみると、フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパールでは「日本語のコミュニケーションに関すること」、ブラジル、ペルーでは「生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること」、中国では「日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること」が最も高くなっています。

図表 50 国籍別にみた現在不安に感じていること、困っていること

		全 体	日本語のコミュニケーションに関すること	生活に必要な情報が手に入らないこと	町内会など近所の活動や近所づきあいに関すること	出産に関すること	死亡手続きに関すること	子どもの世話や、子育てに関すること
国籍	フィリピン	368	149	25	32	12	7	33
		100.0	40.6	6.8	8.7	3.3	1.9	9.0
	ベトナム	183	83	15	13	8	2	10
		100.0	45.4	8.2	7.1	4.4	1.1	5.5
	ブラジル	92	19	9	10	1	3	4
		100.0	20.7	9.8	10.9	1.1	3.3	4.3
	ペルー	56	9	5	1	0	2	3
		100.0	16.1	8.9	1.8	0.0	3.6	5.4
	中国	70	8	5	4	0	3	3
		100.0	11.4	7.1	5.7	0.0	4.3	4.3
	インドネシア	63	29	6	3	1	2	2
		100.0	46.0	9.5	4.8	1.6	3.2	3.2
	ネパール	31	12	2	3	3	0	2
		100.0	38.7	6.5	9.7	9.7	0.0	6.5

		全 体	子どもの教育に関すること	障害や病気など、こころや身体の健康に関すること	公共交通機関の利用に関すること	家族の介護に関すること	老後の生活に関すること	恋人ができない、友達が少ないなど、孤独に関すること
国籍	フィリピン	368	56	43	12	11	58	7
		100.0	15.2	11.7	3.3	3.0	15.8	1.9
	ベトナム	183	11	12	3	2	3	3
		100.0	6.0	6.6	1.6	1.1	1.6	1.6
	ブラジル	92	5	9	2	2	15	4
		100.0	5.4	9.8	2.2	2.2	16.3	4.3
	ペルー	56	3	5	0	0	9	1
		100.0	5.4	8.9	0.0	0.0	16.1	1.8
	中国	70	4	2	3	1	9	4
		100.0	5.7	2.9	4.3	1.4	12.9	5.7
	インドネシア	63	1	1	1	1	3	7
		100.0	1.6	1.6	1.6	1.6	4.8	11.1
	ネパール	31	4	2	0	2	2	4
		100.0	12.9	6.5	0.0	6.5	6.5	12.9

		全 体	離婚やDV（ドメスティック・バイオレンス）など、恋人や結婚相手との関係に関すること	地震や台風など災害に関すること	火事の避難情報やけがをした時の助けの求め方など、緊急時の対応に関すること	現在の仕事に関すること	就職・転職に関すること	生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること
国籍	フィリピン	368	6	95	66	21	49	105
		100.0	1.6	25.8	17.9	5.7	13.3	28.5
	ベトナム	183	0	30	22	3	18	23
		100.0	0.0	16.4	12.0	1.6	9.8	12.6
	ブラジル	92	1	13	12	6	9	21
		100.0	1.1	14.1	13.0	6.5	9.8	22.8
	ペルー	56	1	6	5	2	5	13
		100.0	1.8	10.7	8.9	3.6	8.9	23.2
	中国	70	0	14	5	2	6	6
		100.0	0.0	20.0	7.1	2.9	8.6	8.6
	インドネシア	63	0	10	5	6	7	9
		100.0	0.0	15.9	7.9	9.5	11.1	14.3
	ネパール	31	1	3	3	3	6	8
		100.0	3.2	9.7	9.7	9.7	19.4	25.8

		全 体	在留資格に関すること	日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること	将来の見通しが立たないこと	その他	特になし
国籍	フィリピン	368	31	55	69	2	54
		100.0	8.4	14.9	18.8	0.5	14.7
	ベトナム	183	16	21	7	0	58
		100.0	8.7	11.5	3.8	0.0	31.7
	ブラジル	92	8	18	15	2	30
		100.0	8.7	17.4	16.3	2.2	32.6
	ペルー	56	4	7	5	2	15
		100.0	7.1	12.5	8.9	3.6	26.8
	中国	70	9	18	13	2	25
		100.0	12.9	25.7	18.6	2.9	35.7
	インドネシア	63	6	9	11	0	8
		100.0	9.5	14.3	17.5	0.0	12.7
	ネパール	31	4	2	7	0	7
		100.0	12.9	6.5	22.6	0.0	22.6

※上段は件数、下段は%

※「特になし」には色付けしていません。

【居住年数別にみた現在不安に感じていること、困っていること】

- ◆ 現在不安に感じていることや困っていることについて居住年数別にみると、1年未満、1年～5年未満、5年～10年未満では「日本語のコミュニケーションに関すること」が3割半ば～4割以上と最も高くなっています。一方で、10年～20年未満では「生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること」、20年以上では「老後の生活に関すること」が最も高くなっています。

図表 51 居住年数別にみた現在不安に感じていること、困っていること

		全 体	日本語の コミュニケーションに 関すること	生活に必要な情報が 手に入らないこと	町内会など近所の活動や 近所づきあいに関すること	出産に関すること	死亡手続きに関すること	子どもの世話や、 子育てに関すること
居 住 年 数		99	43	5	4	1	0	4
	1年未満	100.0	43.4	5.1	4.0	1.0	0.0	4.0
		314	147	33	29	16	5	21
	1年～5年未満	100.0	46.8	10.5	9.2	5.1	1.6	6.7
		189	89	17	14	6	4	17
	5年～10年未満	100.0	36.5	9.0	7.4	3.2	2.1	9.0
	10年～20年未満	164	32	7	14	2	6	10
	20年以上	97	18	5	5	0	4	5
		100.0	18.6	5.2	5.2	0.0	4.1	5.2

		全 体	子どもの教育に関すること	障害や病気など、 こころや身体の健康に 関すること	公共交通機関の 利用に関すること	家族の介護に関すること	老後の生活に関すること	恋人ができない、 友達が少ないなど、 孤独に関すること
居 住 年 数		99	5	4	1	0	4	3
	1年未満	100.0	5.1	4.0	1.0	0.0	4.0	3.0
		314	25	21	11	7	17	20
	1年～5年未満	100.0	8.0	6.7	3.5	2.2	5.4	6.4
		189	20	18	4	6	24	5
	5年～10年未満	100.0	10.6	9.5	2.1	3.2	12.7	2.6
	10年～20年未満	164	19	18	4	4	30	1
	20年以上	97	15	13	1	2	24	1
		100.0	15.5	13.4	1.0	2.1	24.7	1.0

		全 体	離婚やDV (ドメスティック・バイオレンス) など、恋人や結婚相手との 関係に関すること	地震や台風など 災害に関すること	火事の避難情報や けがをした時の 助けの求め方など、 緊急時の対応に関すること	現在の仕事に関すること	就職・転職に関すること	生活費が足りないなど 金銭的な問題に関すること
居 住 年 数		99	0	16	9	2	8	10
	1年未満	100.0	0.0	16.2	9.1	2.0	8.1	10.1
		314	1	59	42	22	45	58
	1年～5年未満	100.0	0.3	18.8	13.4	7.0	14.3	18.5
		189	3	40	36	7	27	45
	5年～10年未満	100.0	1.6	21.2	19.0	3.7	14.3	23.8
	10年～20年未満	164	2	39	22	6	14	51
	20年以上	97	3	23.8	13.4	3.7	8.5	31.1
		100.0	3.1	17.5	9.3	6.2	6.2	21.8

		全 体	在留資格に関すること	日本人の外国人に対する 偏見、差別に関すること	将来の見通しが 立たないこと	その他	特になし
居 住 年 数		99	3	9	11	1	30
	1年未満	100.0	3.0	9.1	11.1	1.0	30.3
		314	34	48	46	3	66
	1年～5年未満	100.0	10.8	15.3	14.6	1.0	21.0
		189	27	33	40	2	35
	5年～10年未満	100.0	14.3	17.5	21.2	1.1	18.5
	10年～20年未満	164	11	28	21	2	39
	20年以上	97	3	10	9	0	27
		100.0	3.1	10.3	9.3	0.0	27.8

※上段は件数、下段は%

※「特になし」には色付けしていません。

【在留資格別にみた現在不安に感じていること、困っていること】

- ◆ 現在不安に感じていることや困っていることについて在留資格別にみると、すべての在留資格で「日本語のコミュニケーションに関すること」が最も高くなっています。

図表 52 在留資格別にみた現在不安に感じていること、困っていること

		全 体	日本語の コミュニケーションに 関すること	生活に必要な情報が 手に入らないこと	町内会など近所の活動や 近所づきあいに関すること	出産に関すること	死亡手続きに関すること	子どもの世話や、 子育てに関すること
在 留 資 格	永住者・定住者	515	148	41	43	11	15	38
		100.0	28.7	8.0	8.3	2.1	2.9	7.4
	技能実習	139	72	10	5	0	0	1
		100.0	51.8	7.2	3.6	0.0	0.0	0.7
	特定技能	99	42	6	6	2	0	2
		100.0	42.4	6.1	6.1	2.0	0.0	2.0
	日本人または 永住者の配偶者等	60	24	4	3	2	3	10
		100.0	40.0	6.7	5.0	3.3	5.0	16.7
	技術・人文知識・ 国際業務	52	22	4	6	5	0	5
		100.0	42.3	7.7	11.5	9.6	0.0	9.6
在 留 資 格	家族滞在・特定活動・ 留学	42	12	3	6	3	1	3
		100.0	28.6	7.1	14.3	7.1	2.4	7.1

		全 体	子どもの教育に関すること	障害や病気など、 こころや身体の健康に 関すること	公共交通機関の 利用に関すること	家族の介護に関すること	老後の生活に関すること	恋人ができない、 友達が少ないなど、 孤独に関すること
在 留 資 格	永住者・定住者	515	61	55	13	14	88	9
		100.0	11.8	10.7	2.5	2.7	17.1	1.7
	技能実習	139	0	6	2	0	1	10
		100.0	0.0	4.3	1.4	0.0	0.7	7.2
	特定技能	99	2	5	3	2	0	1
		100.0	2.0	5.1	3.0	2.0	0.0	1.0
	日本人または 永住者の配偶者等	60	10	1	1	1	7	1
		100.0	16.7	1.7	1.7	1.7	11.7	1.7
	技術・人文知識・ 国際業務	52	8	3	2	0	3	9
		100.0	15.4	5.8	3.8	0.0	5.8	17.3
在 留 資 格	家族滞在・特定活動・ 留学	42	5	6	1	3	2	4
		100.0	11.9	14.3	2.4	7.1	4.8	9.5

		全 体	離婚やDV (ドメスティック・バイオレンス) など、恋人や結婚相手との 関係に関すること	地震や台風など 災害に関すること	火事の避難情報や けがをした時の 助けの求め方など、 緊急時の対応に関すること	現在の仕事に関すること	就職・転職に関すること	生活費が足りないなど 金銭的な問題に関すること
在 留 資 格	永住者・定住者	515	8	114	78	28	66	130
		100.0	1.6	22.1	15.1	5.4	12.8	25.2
	技能実習	139	0	21	10	7	8	16
		100.0	0.0	15.1	7.2	5.0	5.8	11.5
	特定技能	99	0	10	9	5	8	6
		100.0	0.0	10.1	9.1	5.1	8.1	6.1
	日本人または 永住者の配偶者等	60	0	13	7	4	9	12
		100.0	0.0	21.7	11.7	6.7	15.0	20.0
	技術・人文知識・ 国際業務	52	1	13	8	4	9	12
		100.0	1.9	25.0	15.4	7.7	17.3	23.1
在 留 資 格	家族滞在・特定活動・ 留学	42	0	6	6	1	8	6
		100.0	0.0	14.3	14.3	2.4	19.0	14.3

		全 体	在留資格に関すること	日本人の外国人に対する 偏見、差別に関すること	将来の見通しが 立たないこと	その他	特にない
在 留 資 格	永住者・定住者	515	37	87	84	7	114
		100.0	7.2	16.9	16.3	1.4	22.1
	技能実習	139	6	13	11	0	39
		100.0	4.3	9.4	7.9	0.0	28.1
	特定技能	99	9	7	8	1	28
		100.0	9.1	7.1	8.1	1.0	28.3
	日本人または 永住者の配偶者等	60	9	10	13	0	12
		100.0	15.0	16.7	21.7	0.0	20.0
	技術・人文知識・ 国際業務	52	13	11	10	0	11
		100.0	25.0	21.2	19.2	0.0	21.2
在 留 資 格	家族滞在・特定活動・ 留学	42	6	6	6	0	11
		100.0	14.3	14.3	14.3	0.0	26.2

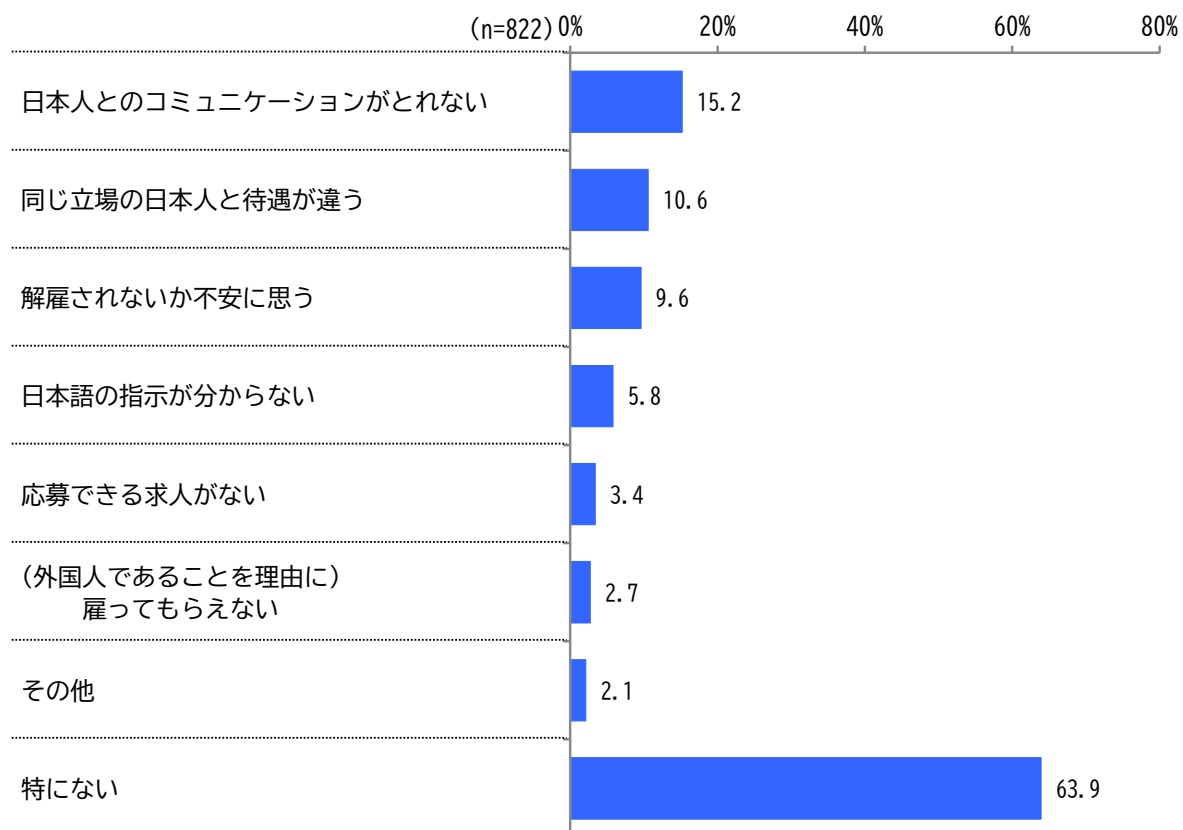
※上段は件数、下段は%

※「特にない」には色付けしていません。

問 22 仕事に関係した困りごとはなんですか。【〇はいくつでも】

- ◆ 有職の回答者において、仕事に関係した困りごとは、「特にない」が 63.9%と高くなっています。
- ◆ 困りごとの中では、「日本人とのコミュニケーションがとれない」が 15.2%と最も高く、次いで「同じ立場の日本人と待遇が違う」(10.6%)、「解雇されないか不安に思う」(9.6%)となっています。

図表 53 仕事に関係した困りごと（有職者のみ）



【国籍別にみた仕事に関係した困りごと】

- ◆ 仕事に関係した困りごとを国籍別にみると、フィリピン、ベトナム、ペルー、ネパールでは「日本人とのコミュニケーションがとれない」、ブラジルでは「解雇されないか不安に思う」、中国、インドネシアでは「同じ立場の日本人と待遇が違う」が最も高くなっています。

図表 54 国籍別にみた仕事に関係した困りごと

		全 体	日本人との コミュニケーションが とれない	同じ立場の日本人と 待遇が違う	解雇されないか 不安に思う	応募できる 求人がない
国 籍	フィリピン	316	52	26	39	9
		100.0	16.5	8.2	12.3	2.8
	ベトナム	180	36	24	9	8
		100.0	20.0	13.3	5.0	4.4
	ブラジル	83	6	10	16	4
		100.0	7.2	12.0	19.3	4.8
	ペルー	46	9	6	2	0
		100.0	19.6	13.0	4.3	0.0
	中国	54	2	6	5	0
		100.0	3.7	11.1	9.3	0.0
	インドネシア	60	7	8	7	4
		100.0	11.7	13.3	11.7	6.7
	ネパール	27	5	0	1	2
		100.0	18.5	0.0	3.7	7.4

		全 体	(外国人であることを 理由に) 雇ってもらえない	日本語の指示が 分からない	その他	特にない
国 籍	フィリピン	316	5	17	4	203
		100.0	1.6	5.4	1.3	64.2
	ベトナム	180	2	15	2	109
		100.0	1.1	8.3	1.1	60.6
	ブラジル	83	8	4	2	53
		100.0	9.6	4.8	2.4	63.9
	ペルー	46	1	1	3	27
		100.0	2.2	2.2	6.5	58.7
	中国	54	0	1	4	38
		100.0	0.0	1.9	7.4	70.4
	インドネシア	60	2	3	1	36
		100.0	3.3	5.0	1.7	60.0
	ネパール	27	1	3	0	18
		100.0	3.7	11.1	0.0	66.7

※上段は件数、下段は%

※「特にない」は色付けしていません。

【在留資格別にみた仕事に関係した困りごと】

- ◆ 仕事に関係した困りごとを在留資格別にみると、特定技能を除き、「日本人とのコミュニケーションがとれない」が最も高くなっています。特定技能では「同じ立場の日本人と待遇が違う」が最も高くなっています。また、技術・人文知識・国際業務においても、「同じ立場の日本人と待遇が違う」が高くなっています。

図表 55 在留資格別にみた仕事に関係した困りごと

		全 体	日本人との コミュニケーションが とれない	同じ立場の日本人と 待遇が違う	解雇されないか 不安に思う	応募できる 求人がない
在 留 資 格	永住者・定住者	447	62	39	57	14
		100.0	13.9	8.7	12.8	3.1
	技能実習	139	32	20	6	5
		100.0	23.0	14.4	4.3	3.6
	特定技能	98	8	14	5	1
		100.0	8.2	14.3	5.1	1.0
	日本人または永住者の 配偶者等	46	9	4	5	2
		100.0	19.6	8.7	10.9	4.3
	技術・人文知識・国際業 務	51	7	7	5	4
		100.0	13.7	13.7	9.8	7.8
	家族滞在・特定活動・留 学	19	3	2	1	2
		100.0	15.8	10.5	5.3	10.5

		全 体	(外国人であることを 理由に) 雇ってもらえない	日本語の指示が 分からない	その他	特にない
在 留 資 格	永住者・定住者	447	14	24	9	289
		100.0	3.1	5.4	2.0	64.7
	技能実習	139	2	10	2	79
		100.0	1.4	7.2	1.4	56.8
	特定技能	98	1	3	1	69
		100.0	1.0	3.1	1.0	70.4
	日本人または永住者の 配偶者等	46	3	4	3	28
		100.0	6.5	8.7	6.5	60.9
	技術・人文知識・国際業 務	51	1	3	2	32
		100.0	2.0	5.9	3.9	62.7
	家族滞在・特定活動・留 学	19	1	2	0	11
		100.0	5.3	10.5	0.0	57.9

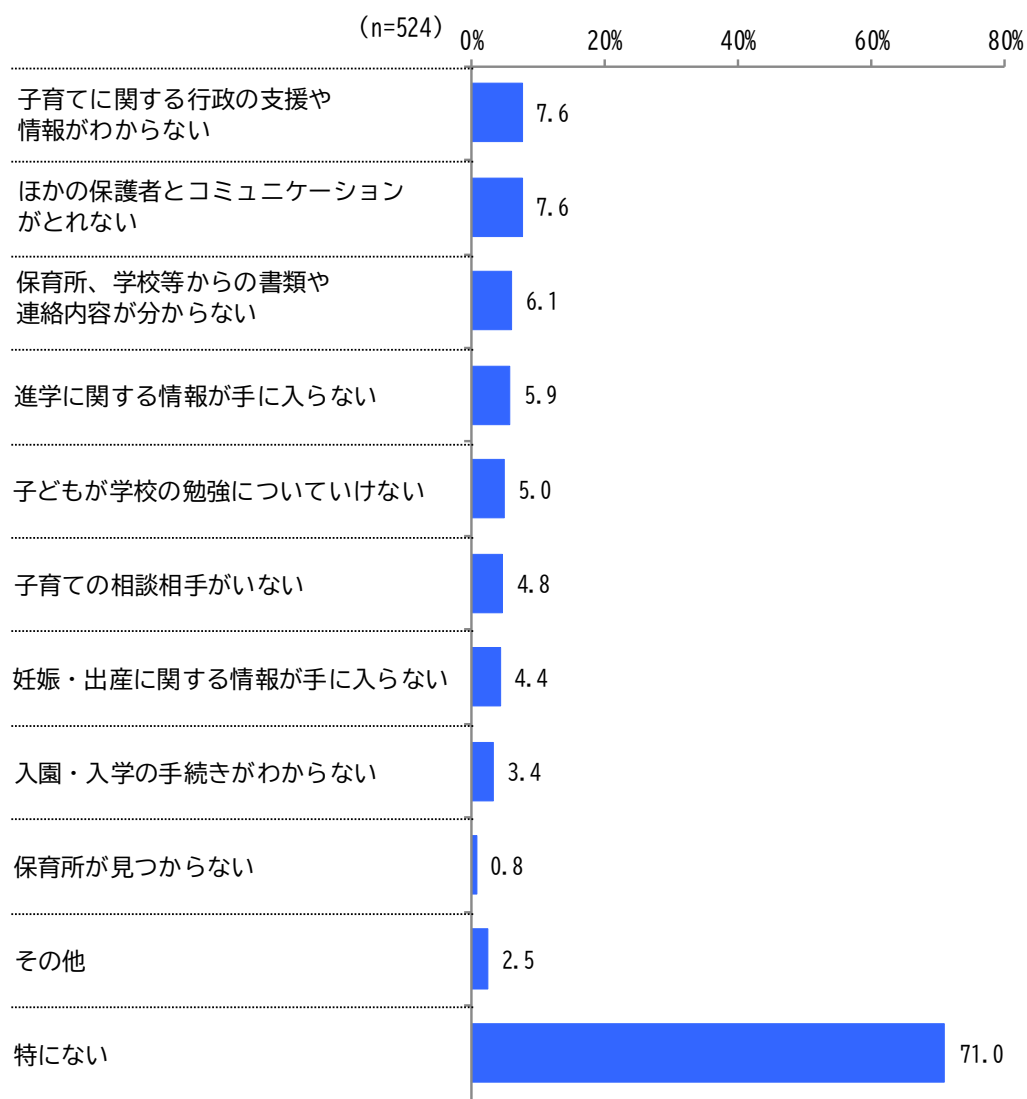
※上段は件数、下段は%

※「特にない」は色付けしていません。

問 23 子育てに関する困りごとは何ですか。（現在子育て中の人のみ）【〇はいくつでも】

- ◆ 現在子育て中の回答者において、子育てに関する困りごとは、「特にない」が 71.0%と高くなっています。
- ◆ 困りごとの中では、「子育てに関する行政の支援や情報がわからない」と「ほかの保護者とのコミュニケーションがとれない」が 7.6%と最も高く、次いで「保育所、学校等からの書類や連絡内容が分からない」(6.1%)、「進学に関する情報が手に入らない」(5.9%) となっています。

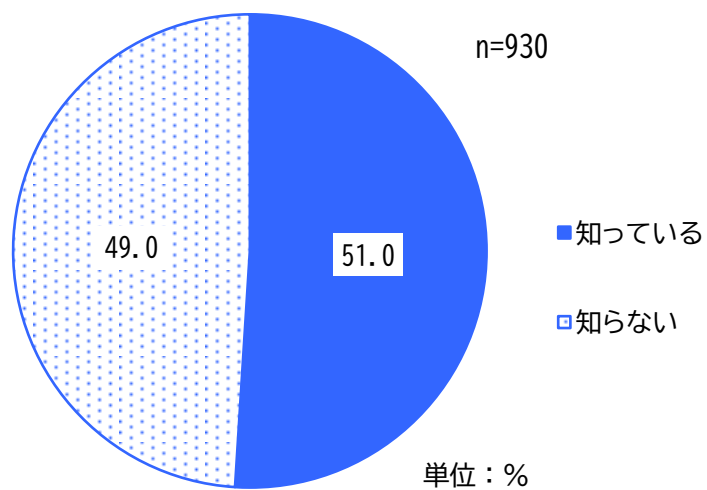
図表 56 子育てに関する困りごと（現在子育て中の人の）



問 24 蒲郡市役所にある外国人相談窓口を知っていますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の蒲郡市役所にある外国人窓口の認知度については、外国人窓口を「知っている」が51.0%、「知らない」が49.0%となっています。

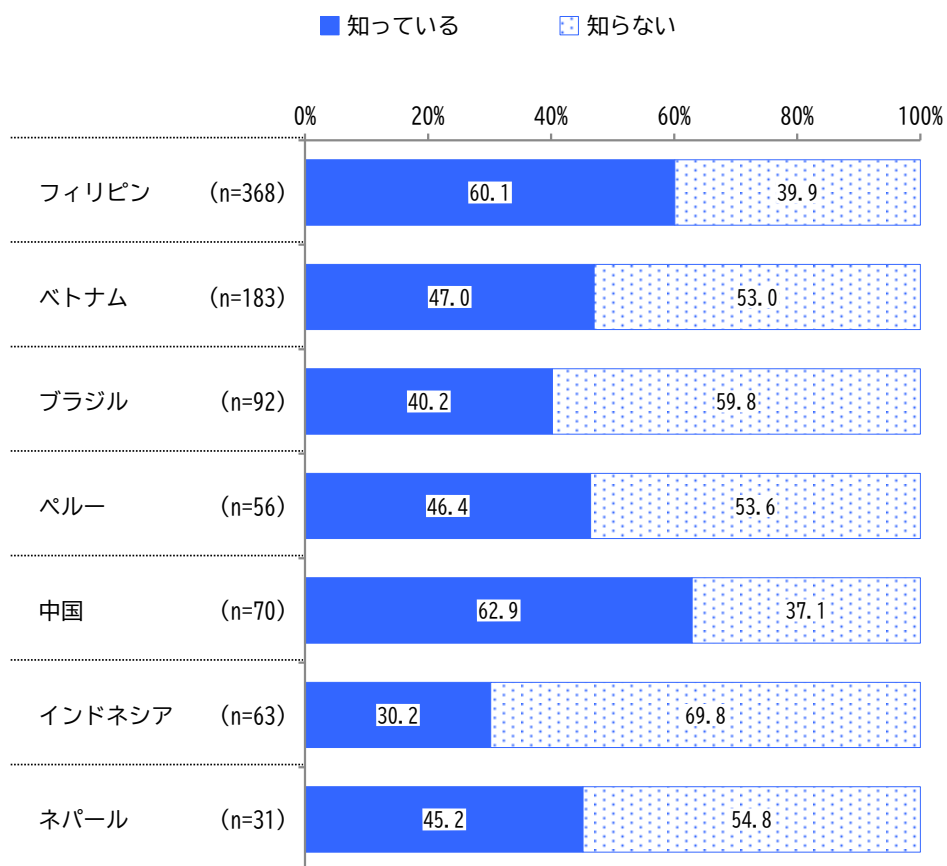
図表 57 外国人相談窓口の認知度



【国籍別にみた外国人相談窓口の認知度】

- ◆ 外国人相談窓口の認知度を国籍別にみると、フィリピン、中国では相談窓口を「知っている」が6割以上となっていますが、フィリピン、中国以外の国籍では、相談窓口を「知らない」が「知っている」を上回っています。また、インドネシアでは、相談窓口を「知らない」が69.8%と他の国籍と比較して高くなっています。

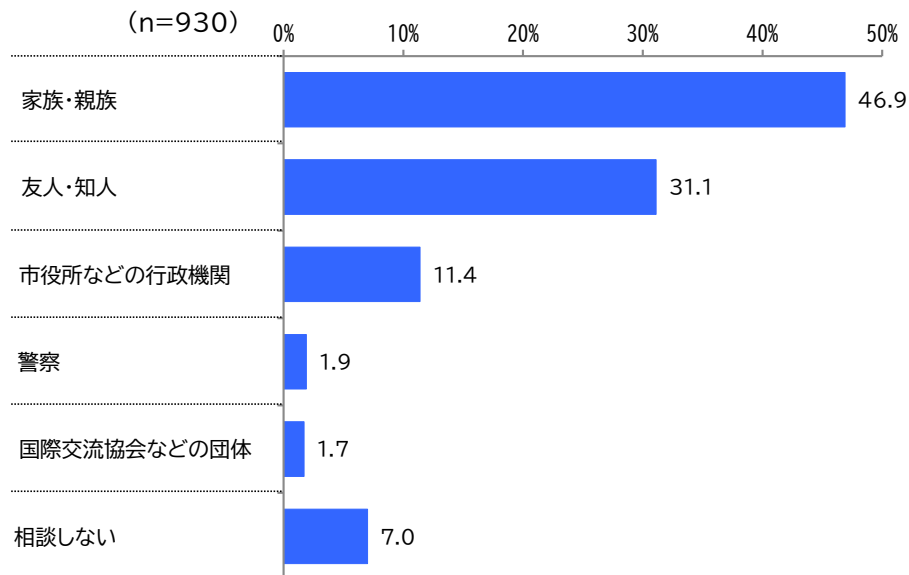
図表 58 国籍別にみた外国人相談窓口の認知度



問 25 困ったときに、一番最初に相談するのはどこですか。【〇は1つ】

- ◆ 困ったときの最初の相談先は、「家族・親族」が46.9%と最も高く、次いで「友人・知人」(31.1%)、「市役所などの行政機関」(11.4%)となっています。

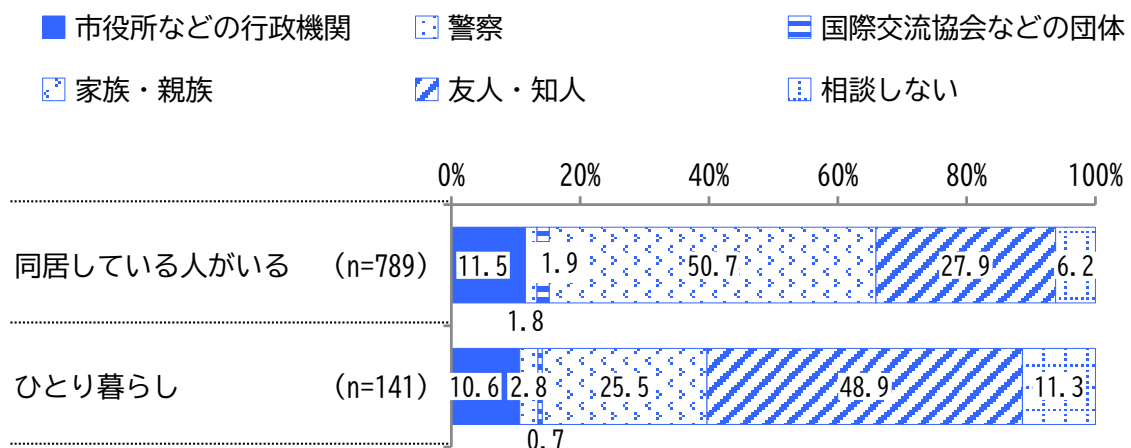
図表 59 困ったときの相談先



【同居の有無別にみた困ったときの相談先】

- ◆ 同居の有無別にみると、同居している人がいる層では「家族・親族」が50.7%、「ひとり暮らし」では「友人・知人」が48.9%と最も高くなっています。また、一人暮らしでは「相談しない」が11.3%となっており、同居している人がいる層と比較して、困ったときに相談できる存在がいない可能性があります。

図表 60 同居の有無別にみた困ったときの相談先

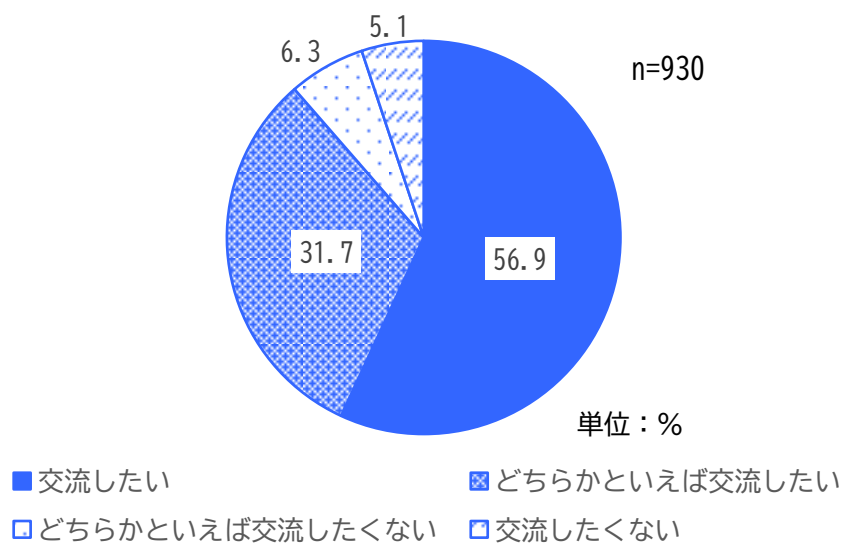


5 日本人との交流や地域活動について

問 26 あなたは、日本人と交流したいと思いますか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の日本人との交流の意向については、『交流したい』（“交流したい”＋“どちらかといえば交流したい”）は88.6%、『交流したくない』（“どちらかといえば交流したくない”＋“交流したくない”）は11.4%となっています。

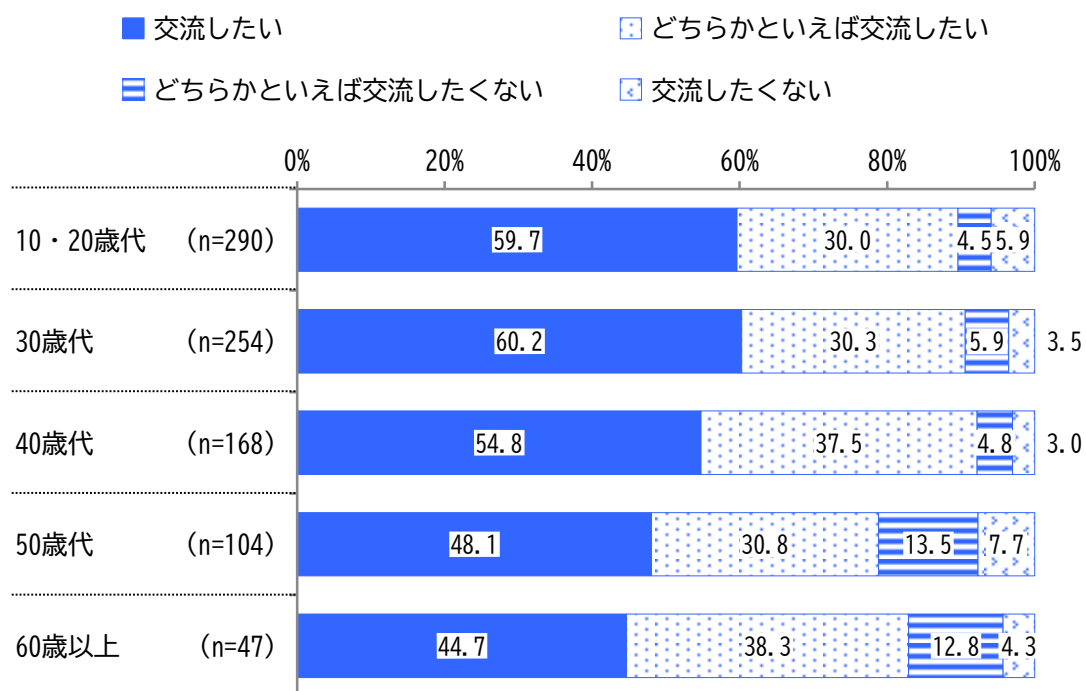
図表 61 日本人との交流の意向



【年代別にみた日本人との交流意向】

- ◆ 日本人との交流意向を年代別にみると、すべての年代で『交流したい』が7割以上となっており、30歳代と40歳代は9割以上となっています。一方で、50歳代は『交流したくない』が21.2%と他の年代と比較して、やや高くなっています。

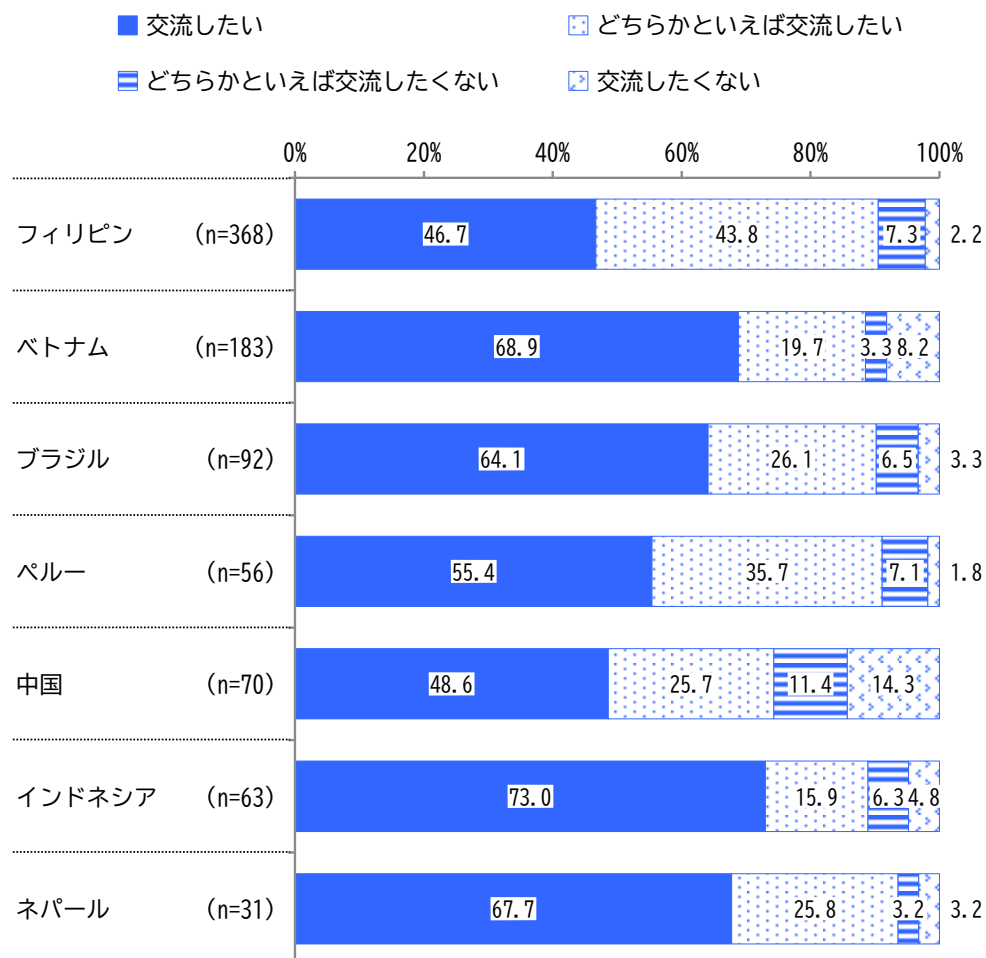
図表 62 年代別にみた日本人との交流意向



【国籍別にみた日本人との交流意向】

- ◆ 日本人との交流意向を国籍別にみると、すべての国籍で『交流したい』が7割以上となっており、フィリピン、ブラジル、ペルー、ネパールでは9割以上となっています。一方で、中国は『交流したくない』が25.7%と他の国籍と比較して高くなっています。

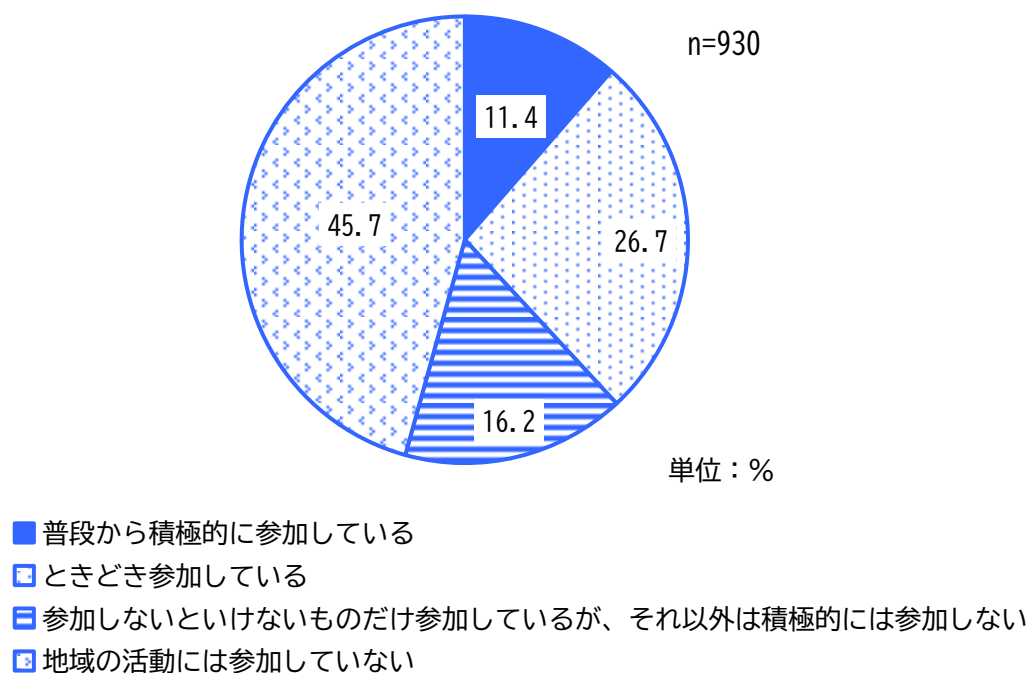
図表 63 国籍別にみた日本人との交流意向



問 27 あなたは近所の清掃作業やお祭り、団地の自治会など、地域の活動に参加していますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の地域活動への参加の有無については、『自発的に参加している』（“普段から積極的に参加している”＋“ときどき参加している”）割合が 38.1%にとどまり、自発的には参加していない層が 61.9%いることが分かりました。

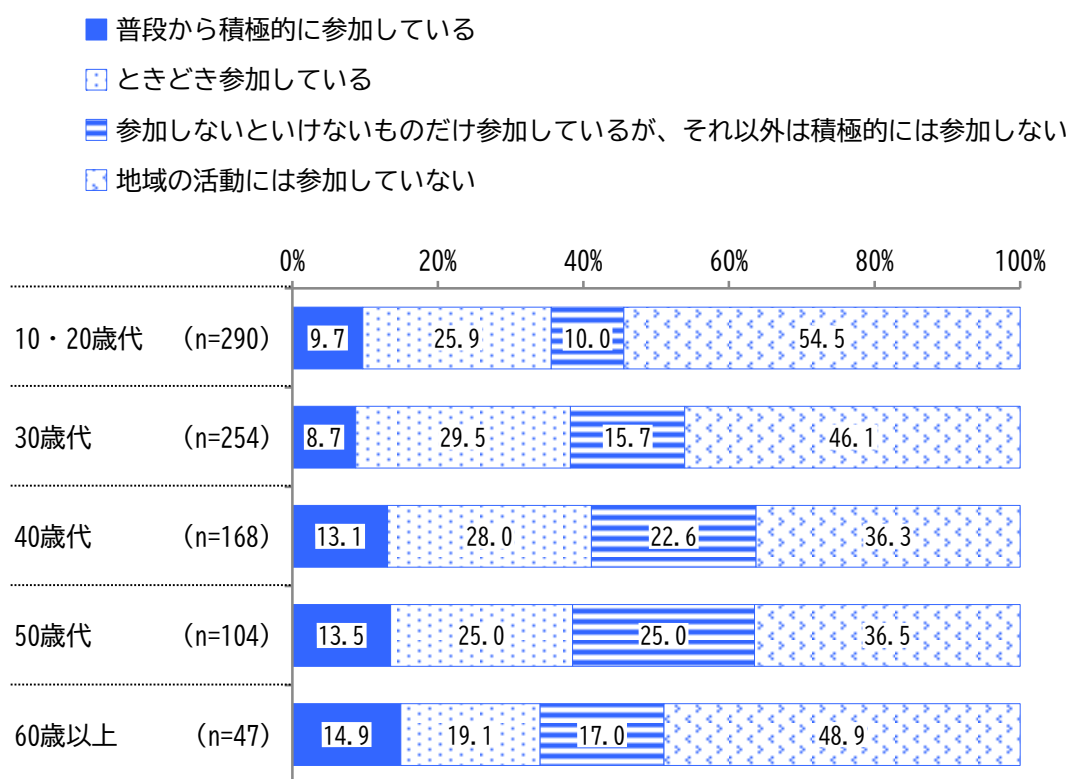
図表 64 地域活動への参加



【年代別にみた地域活動への参加】

- ◆ 地域活動への参加を年代別にみると、『自発的に参加している』割合は年代によって大きな差はなく、40歳代と50歳代において「参加しないといけないものだけ参加しているが、それ以外は積極的には参加しない」が2割を超えて高くなっています。

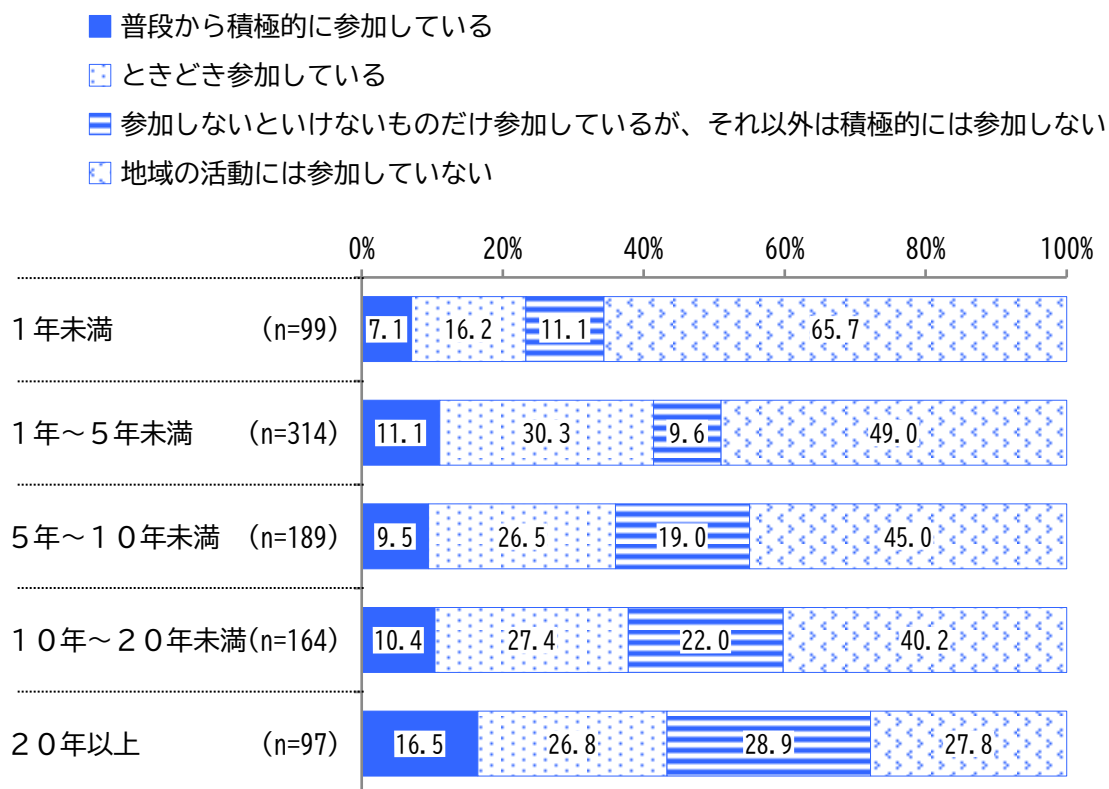
図表 65 年代別にみた地域活動への参加



【居住年数別にみた地域活動への参加】

- ◆ 地域活動への参加を居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて、「地域の活動には参加していない」の割合が低くなる傾向にあります。一方で、『自発的に参加している』層は、1年未満を除き同程度の割合となっています。

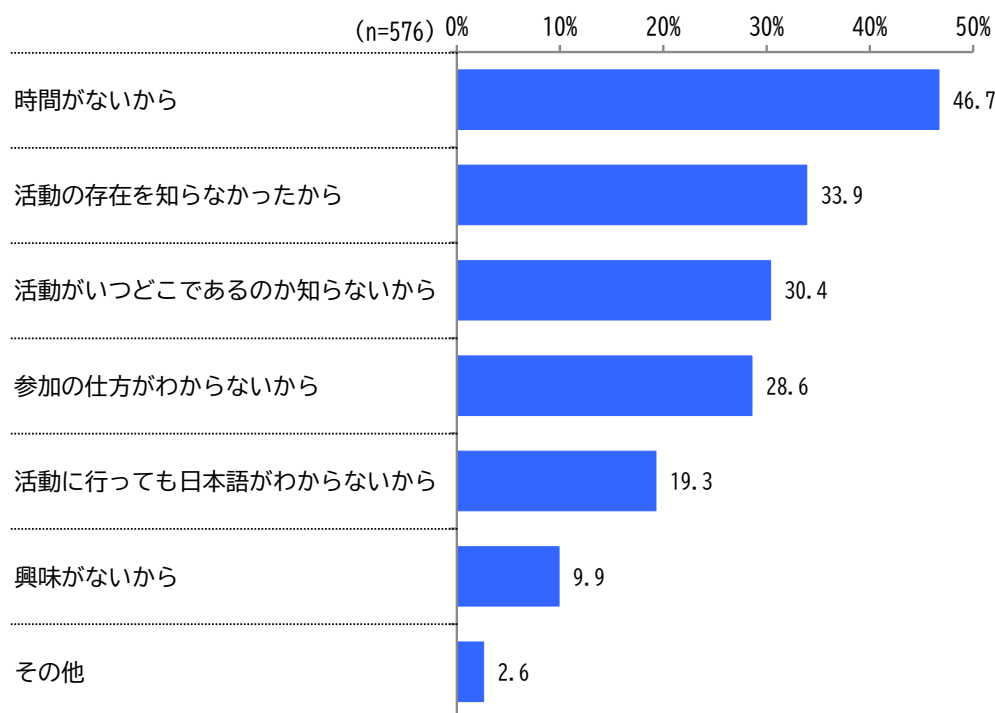
図表 66 居住年数別にみた地域活動への参加



問 28 地域の活動に積極的に参加しないのはなぜですか。【〇はいくつでも】

- ◆ 回答者の地域の活動に積極的に参加しない理由は、「時間がないから」が 46.7%と最も高く、次いで「活動の存在を知らなかったから」(33.9%)、「活動がいつどこであるのか知らないから」(30.4%)となっています。そもそも、地域活動の認知度が低いという課題があることが分かります。

図表 67 地域の活動に参加しない理由



【居住年数別にみた地域活動へ参加しない理由】

- ◆ 地域活動への参加しない理由を居住年数別にみると、1年未満、1年～5年未満では「活動の存在を知らなかったから」、5年～10年未満、10年～20年未満、20年以上は「時間がないから」が最も高くなっています。特に来日間もない外国人市民については、地域活動の存在が伝わっていない可能性があり、情報発信や周知の強化が必要となります。一方で、居住年数が長い層に対しては、短時間で参加できる活動など、参加しやすい環境づくりが求められます。

図表 68 居住年数別にみた地域の活動へ参加しない理由

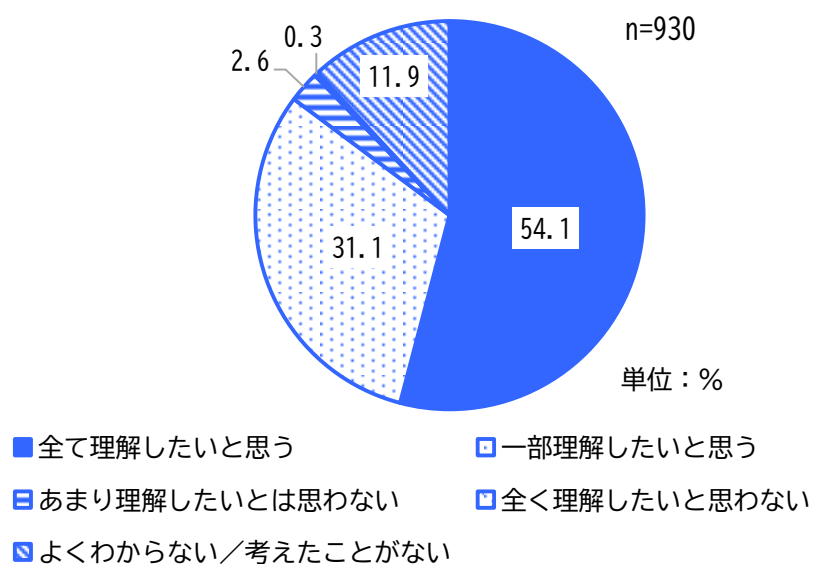
		全 体	活動の存在を 知らなかったから	参加の仕方が わからないから	活動がいつどこ あるのか 知らないから	活動に行っても 日本語が わからないから	時間がないから	興味がないから	その他
居 住 年 数	1年未満	76	34	24	22	13	31	6	1
		100.0	44.7	31.6	28.9	17.1	40.8	7.9	1.3
	1年～5年未満	184	89	78	75	41	75	15	3
		100.0	48.4	42.4	40.8	22.3	40.8	8.2	1.6
	5年～10年未満	121	31	32	31	27	65	6	3
		100.0	25.6	26.4	25.6	22.3	53.7	5.0	2.5
	10年～20年未満	102	28	21	25	17	49	14	5
		100.0	27.5	20.6	24.5	16.7	48.0	13.7	4.9
	20年以上	55	6	7	13	10	30	4	1
		100.0	10.9	12.7	23.6	18.2	54.5	7.3	1.8

※上段は件数、下段は%

問 29 あなたは、日本の風習や地域のルールを理解したいと思いますか。【○は1つ】

- ◆ 回答者の風習や地域のルールを理解したい意向は、風習や地域のルールを『理解したい』（“全て理解したいと思う”＋“一部理解したいと思う”）が85.2%、『理解したいと思わない』（“あまり理解したいと思わない”＋“全く理解したいと思わない”）は2.9%となっており、多くの外国人市民が地域の風習やルールに対して、前向きな理解意向を持っていることが分かります。

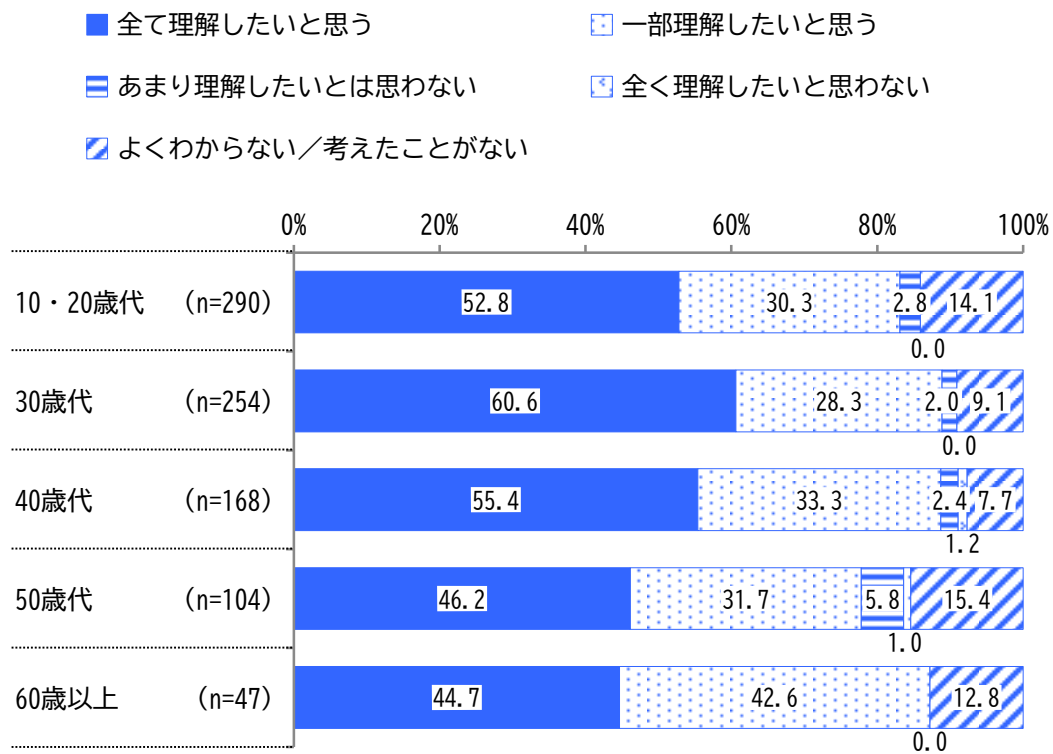
図表 69 風習や地域のルールを理解したい意向



【年代別にみた風習や地域のルールを理解したい意向】

- ◆ 風習や地域のルールを理解したい意向を年代別にみると、すべての年代で『理解したい』が7割以上となっており、30歳代と40歳代では約9割となっています。

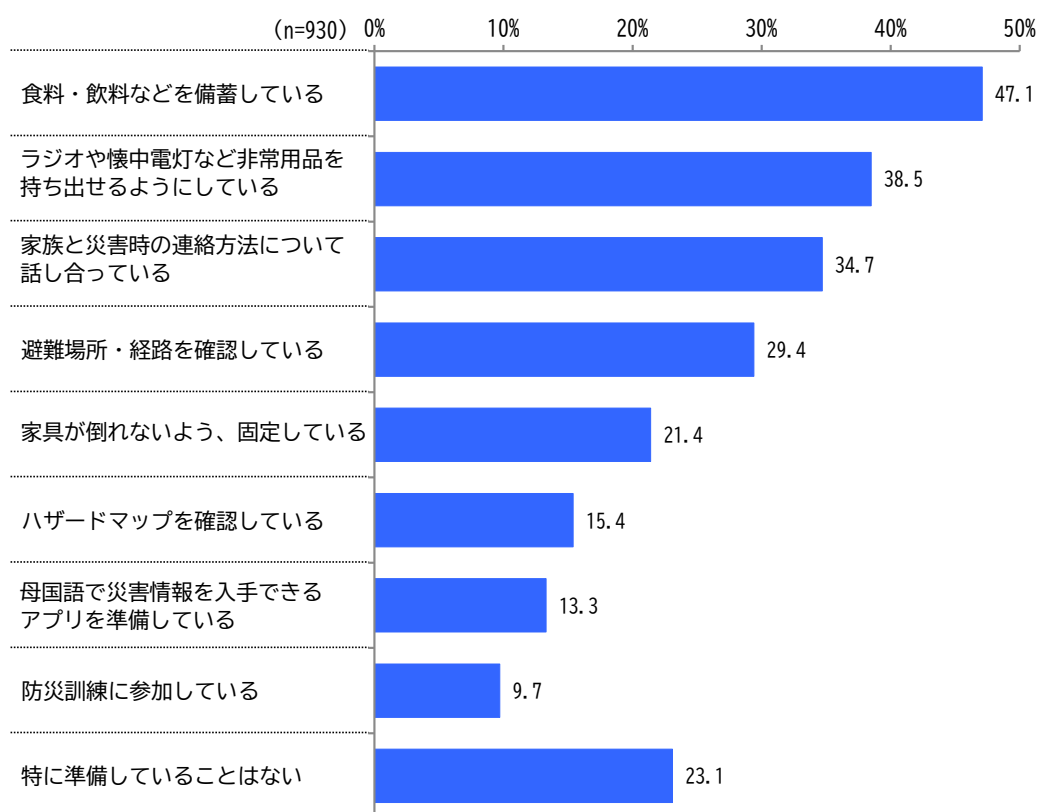
図表 70 年代別にみた風習や地域のルールを理解したい意向



問 30 あなたは、災害に備えて普段から準備していることはありますか。【〇はいくつでも】

- ◆ 災害に備えて準備していることについて、「特に準備していることはない」は 23.1%にとどまり、全体の 8 割弱が何らかの準備をしていることが分かります。
- ◆ 準備をしていることとしては、「食料・飲料などを備蓄している」が 47.1%と最も高く、次いで「ラジオや懐中電灯など非常用品を持ち出せるようにしている」(38.5%)「家族と災害時の連絡方法について話し合っている」(34.7%)となっています。

図表 71 災害に備えて準備していること



【国籍別にみた災害に備えて準備していること】

- ◆ 災害に備えて準備していることを国籍別にみると、ペルーとインドネシアを除く国籍では「食料・飲料などを備蓄している」、ペルーでは「家族と災害時の連絡方法について話し合っている」、インドネシアでは「避難場所・経路を確認している」が最も高くなっています。
- ◆ フィリピン、ベトナムでは「特に準備していることはない」が10%台と低く、他の国籍と比較して何らかの防災行動をとっている割合が高く、防災意識が高いと考えられます。

図表 72 国籍別にみた災害に備えて準備していること

		全 体	家具が倒れないよう、 固定している	食料・飲料などを 備蓄している	ラジオや懐中電灯など 非常用品を 持ち出せるように している	家族と災害時の 連絡方法について 話し合っている	避難場所・ 経路を確認している
国 籍	フィリピン	368	64	183	168	179	91
		100.0	17.4	49.7	45.7	48.6	24.7
	ベトナム	183	73	126	101	54	87
		100.0	39.9	68.9	55.2	29.5	47.5
	ブラジル	92	12	33	24	25	25
		100.0	13.0	35.9	26.1	27.2	27.2
	ペルー	56	6	16	11	18	14
		100.0	10.7	28.6	19.6	32.1	25.0
	中国	70	14	27	15	11	17
		100.0	20.0	38.6	21.4	15.7	24.3
	インドネシア	63	11	18	9	13	19
		100.0	17.5	28.6	14.3	20.6	30.2
	ネパール	31	8	9	4	6	3
		100.0	25.8	29.0	12.9	19.4	9.7

		全 体	ハザードマップを 確認している	母国語で災害情報を 入手できるアプリを 準備している	防災訓練に 参加している	特に準備している ことはない
国 籍	フィリピン	368	36	29	23	64
		100.0	9.8	7.9	6.3	17.4
	ベトナム	183	46	51	37	23
		100.0	25.1	27.9	20.2	12.6
	ブラジル	92	20	14	4	30
		100.0	21.7	15.2	4.3	32.6
	ペルー	56	7	3	5	20
		100.0	12.5	5.4	8.9	35.7
	中国	70	6	8	9	29
		100.0	8.6	11.4	12.9	41.4
	インドネシア	63	9	12	5	20
		100.0	14.3	19.0	7.9	31.7
	ネパール	31	3	4	0	14
		100.0	9.7	12.9	0.0	45.2

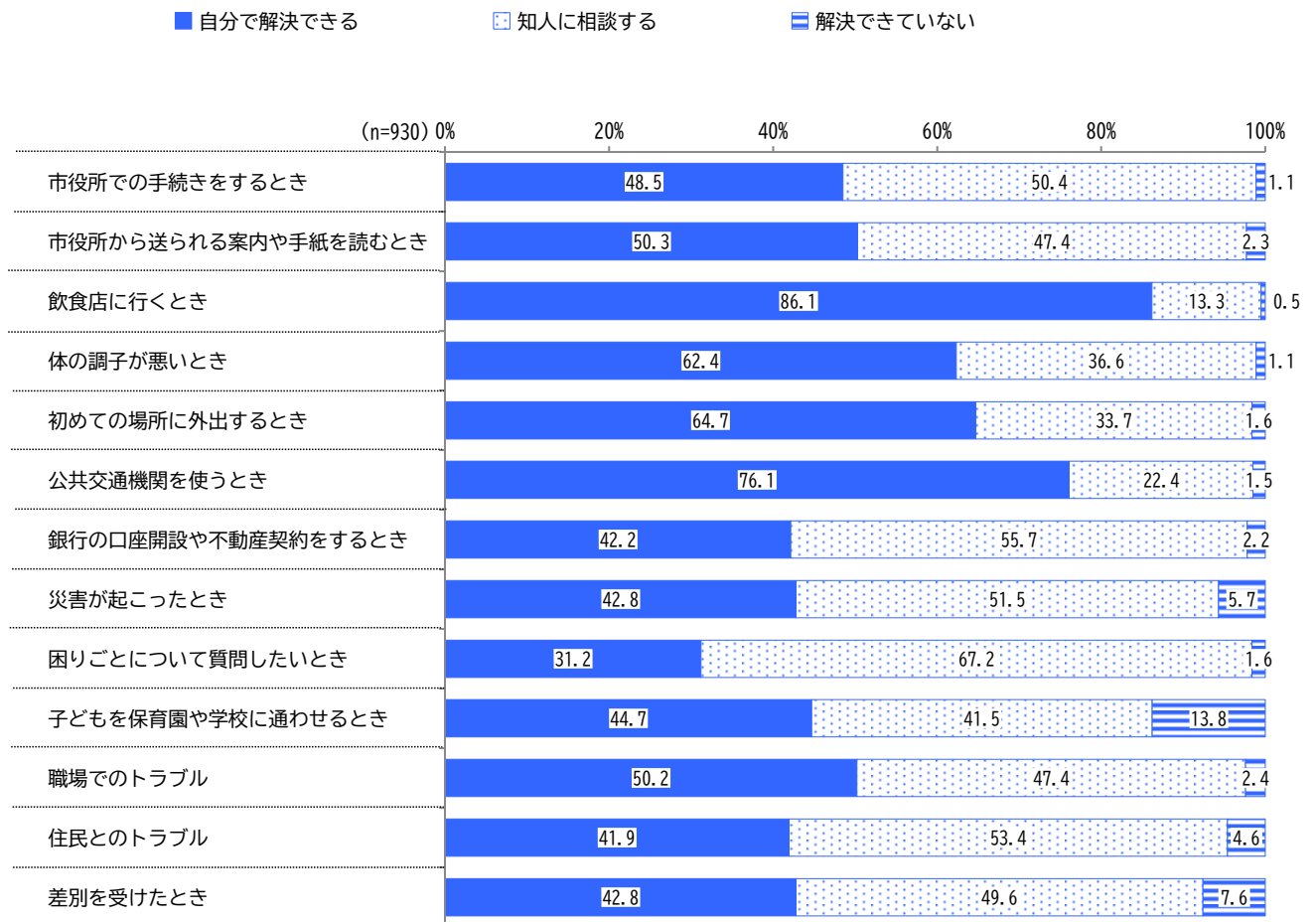
※上段は件数、下段は%

※「特に準備していることはない」は色付けしていません。

問 31 次の状況になったとき、どのように解決していますか。【○はそれぞれ1つ】

◆ 回答者の日常の様々な困りごとに直面したときの解決方法については、「飲食店に行くとき」や「公共交通機関を使うとき」は「自分で解決できる」が7割以上となっています。一方で、「困りごとについて質問したい時」では、「自分で解決できる」は約3割にとどまっています。

図表 73 日常生活での解決方法

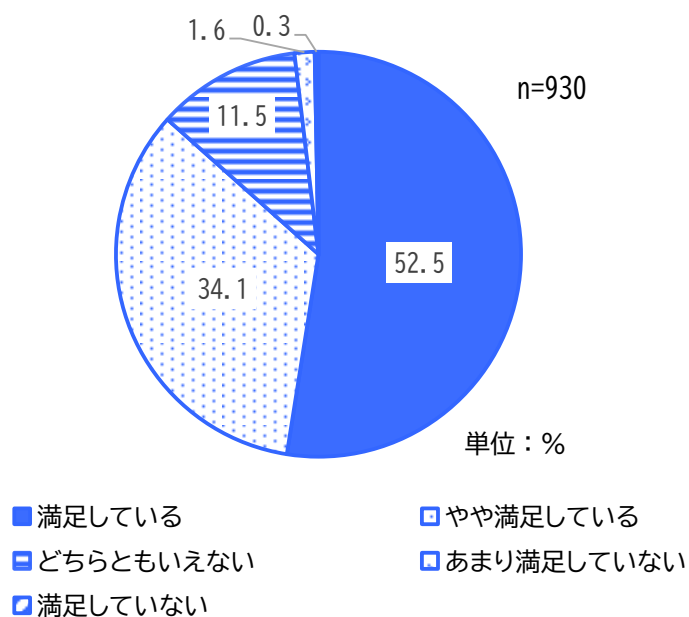


6 今後の蒲郡市での生活について

問 32 あなたは蒲郡市の生活にどのくらい満足していますか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の蒲郡市での生活の満足度は、『満足』（“満足している”＋“やや満足している”）が86.6%、『満足していない』（“あまり満足していない”＋“満足していない”）は1.9%となっており、外国人市民にとって蒲郡市の生活の満足度は高いといえます。

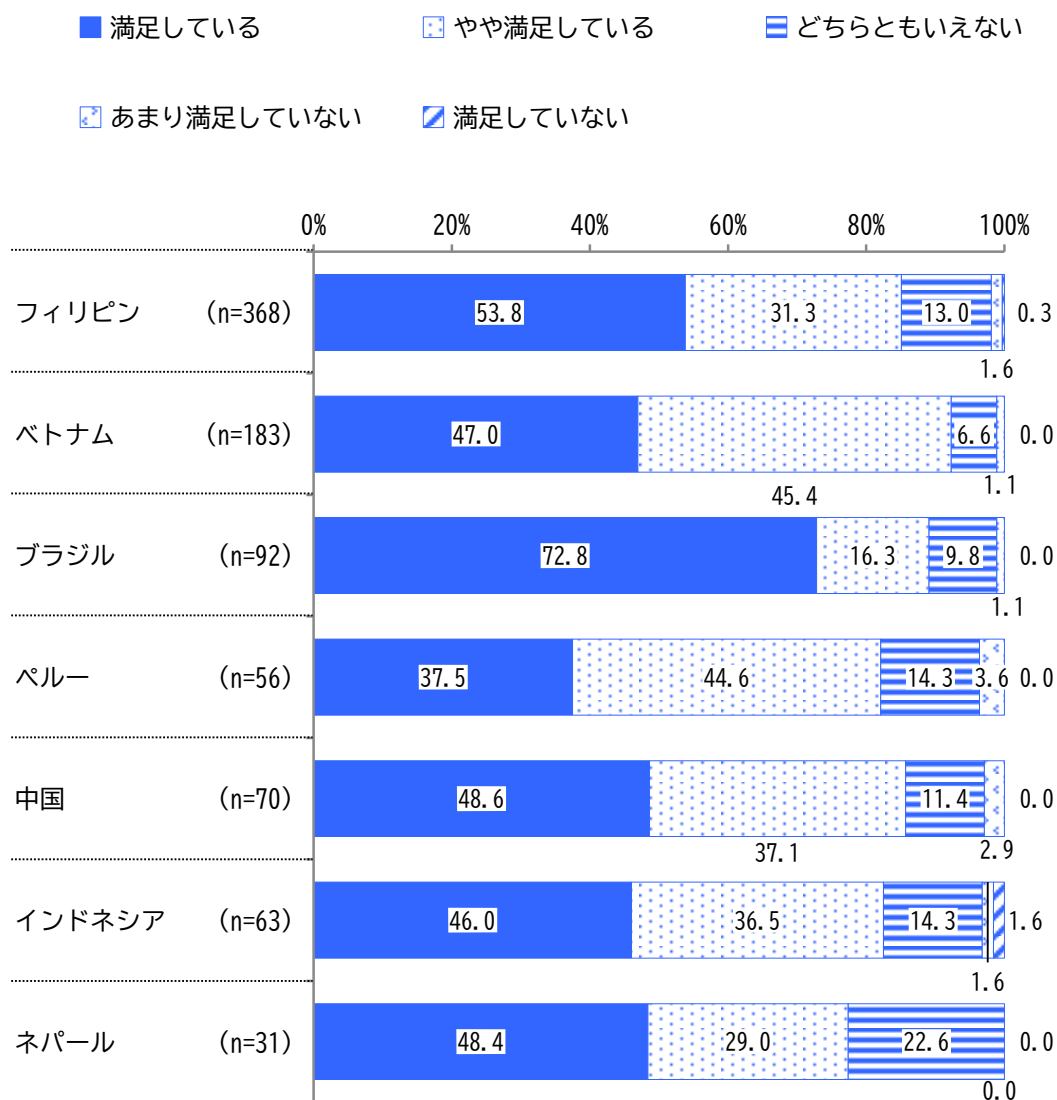
図表 74 蒲郡市での生活の満足度



【国籍別にみた蒲郡市での生活の満足度】

- ◆ 蒲郡市での生活の満足度を国籍別にみると、ネパールを除くすべての国籍で『満足』が8割以上と高くなっています。特にブラジルは「満足している」が72.8%と突出して高く、高い満足度であるといえます。ネパールでは『満足』は77.4%とやや低く、「どちらともいえない」が22.6%と他の国籍と比較して高くなっています。

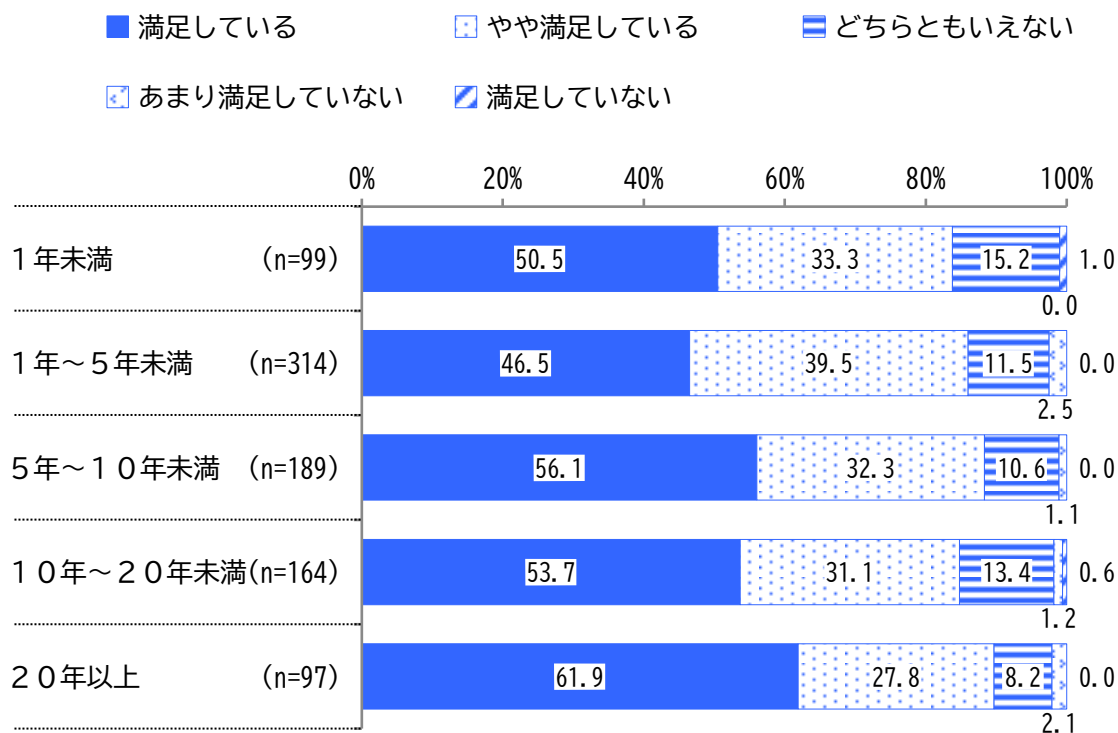
図表 75 国籍別にみた蒲郡市での生活の満足度



【居住年数別にみた蒲郡市での生活の満足度】

- ◆ 蒲郡市での生活の満足度を居住年数別にみると、居住年数に関わらず『満足』が8割以上となっています。20年以上では「満足している」が61.9%と他の居住年数と比較して高く、居住年数が長いほど満足度が高い傾向がみられます。

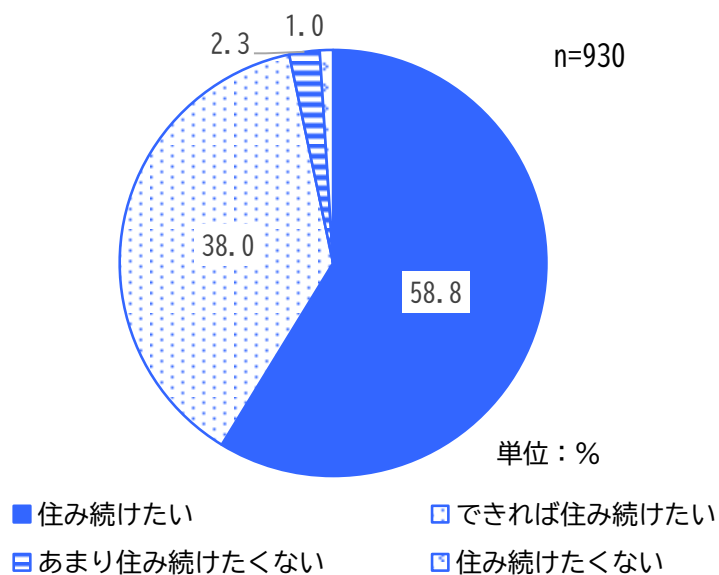
図表 76 居住年数別にみた蒲郡市での生活の満足度



問 33 蒲郡市に住みたいですか。【〇は1つ】

- ◆ 回答者の蒲郡市への居住意向は、蒲郡市に『住みたい』（“住みたい”＋“できれば住みたい”）が96.8%、『住みたくない』（“あまり住みたくない”＋“住みたくない”）は3.3%と、ほとんどの人が住みたいと考えています。

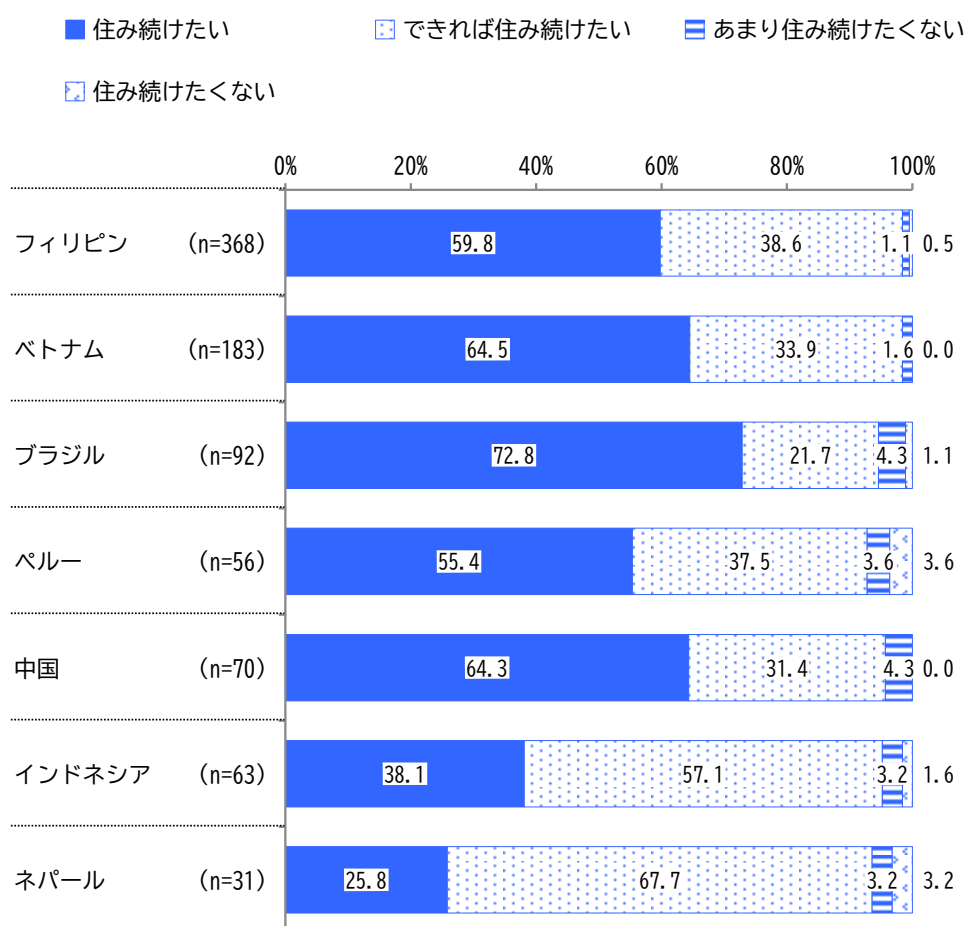
図表 77 蒲郡市への居住意向



【国籍別にみた蒲郡市への居住意向】

- ◆ 蒲郡市の居住意向を国籍別にみると、すべての国籍で蒲郡市に『住みたい』が9割以上となっています。インドネシア、ネパールでは「できれば住みたい」が57.1%と他の国籍と比較して高くなっており、条件次第では居住継続の判断が変わる可能性があります。

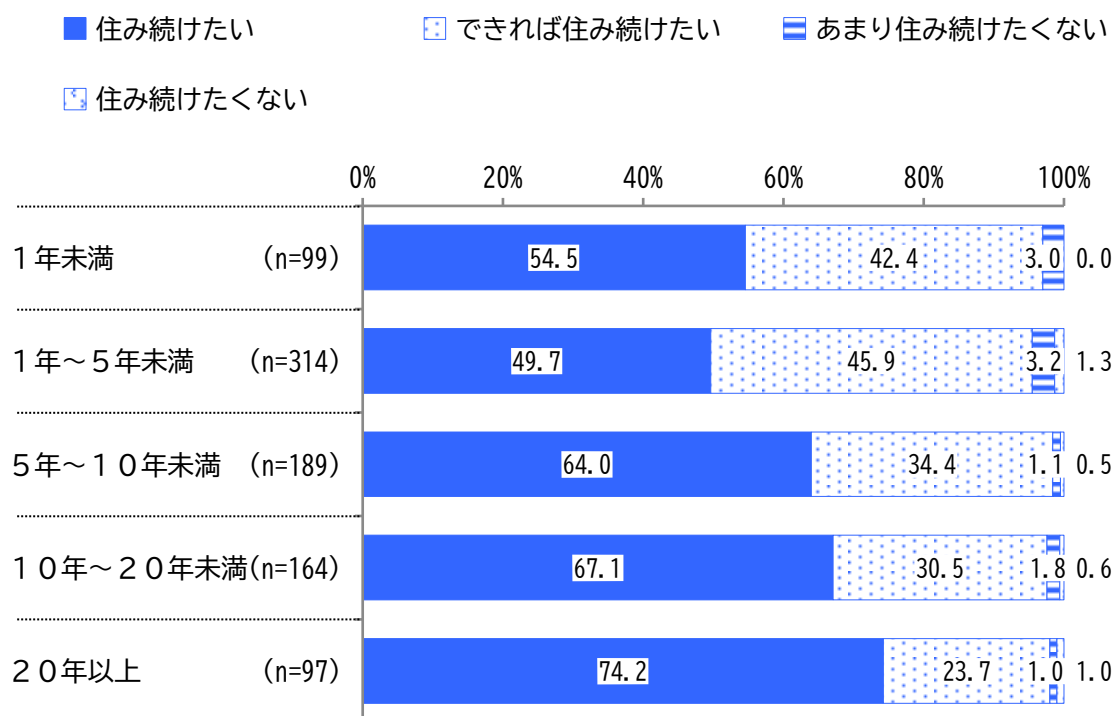
図表 78 国籍別にみた蒲郡市への居住意向



【居住年数別にみた蒲郡市への居住意向】

- ◆ 蒲郡市での居住意向を居住年数別にみると、居住年数に関わらず、蒲郡市に『住み続けたい』が9割以上となっています。20年以上では「住み続けたい」が74.2%と他の居住年数と比較して高く、居住年数が長くなるにつれて今後の居住意向も高まる傾向がみられます。

図表 79 居住年数別にみた蒲郡市への居住意向



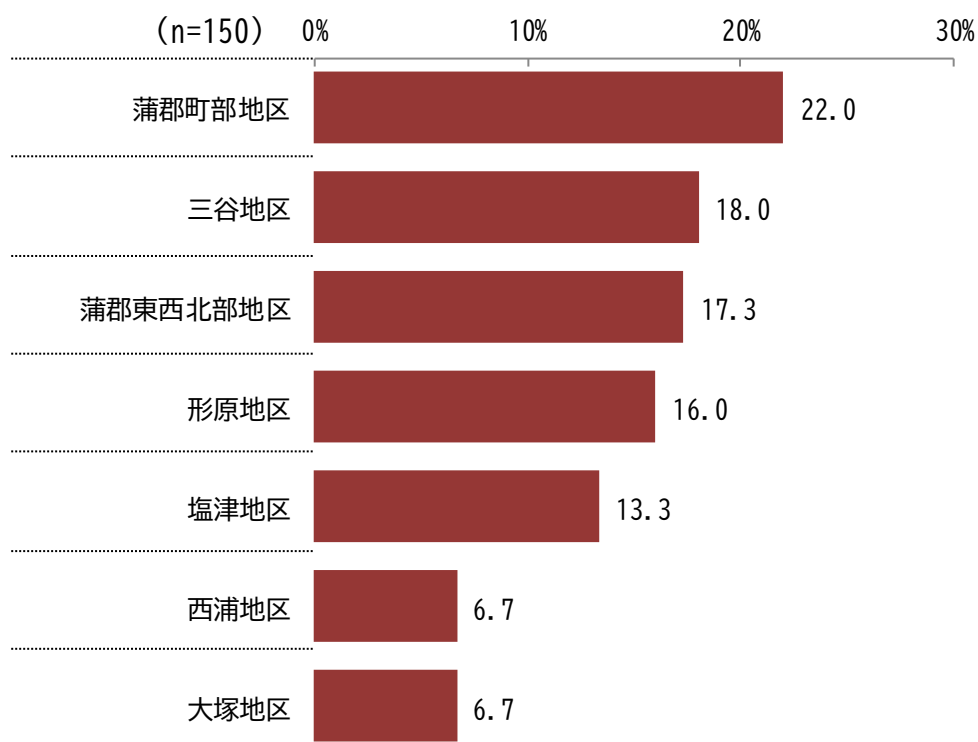
IV. 日本人アンケート調査結果

1 あなた（回答者）自身のことについて

問1 あなたが現在お住まいの地区はどれですか。【〇は1つ】

- ◆ 「蒲郡町部地区」が 22.0%と最も高くなっており、次いで「三谷地区」（18.0%）、「蒲郡東西北部地区」（17.3%）となっています。

図表 80 居住地区

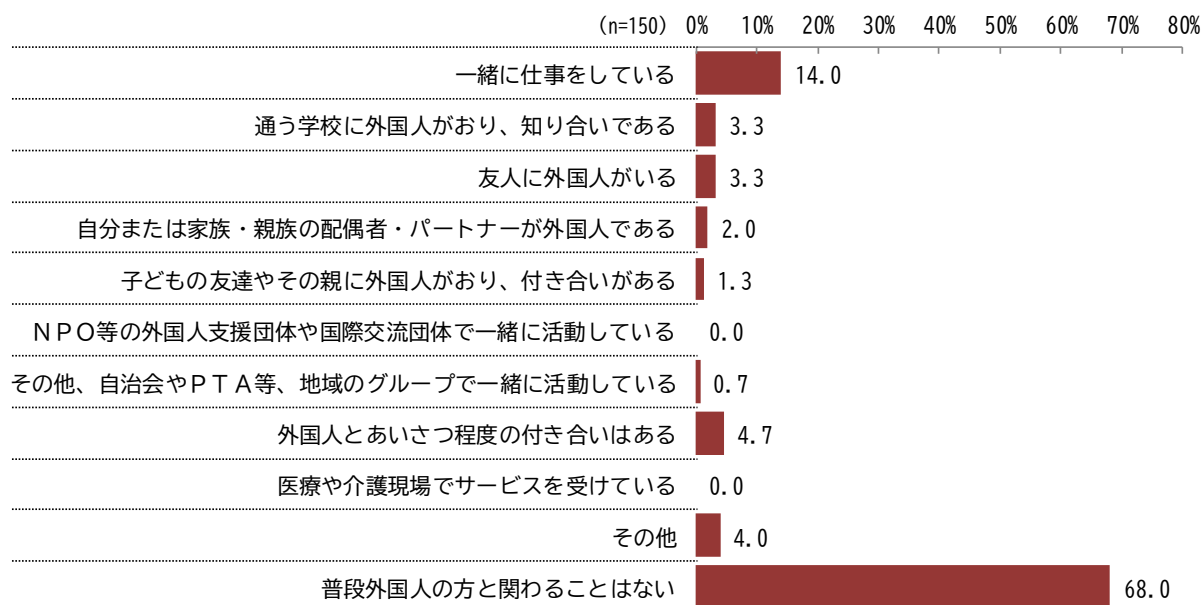


2 外国人との交流について

問2 あなたは普段の生活で、外国人の方と関わることはありますか。【〇はいくつでも】

- ◆ 外国人との関わりについては、「一緒に仕事をしている」が14.0%と最も高くなっており、次いで、「外国人とあいさつ程度の付き合いはある」(4.7%)、「通う学校に外国人がおり、知り合いである」、「友人に外国人がいる」がそれぞれ3.3%となっています。一方で、「普段外国人の方と関わることはない」は7割弱を占めています。

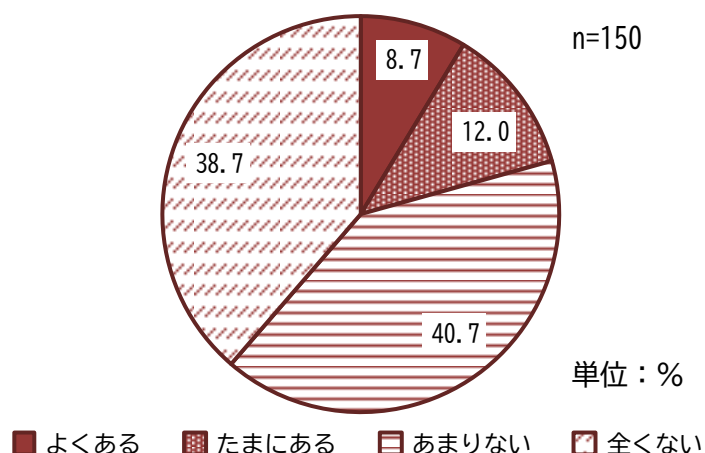
図表 81 外国人の方との関わり



問3 普段の生活で、外国人の方と交流する頻度はどのくらいありますか。【〇は1つ】

- ◆ 交流する頻度は、「あまりない」が40.7%と最も高くなっており、次いで「全くない」(38.7%)、「たまにある」(12.0%)となりました。外国人と関わりはあっても、交流頻度としては高いことが分かります。

図表 82 外国人の方との交流頻度

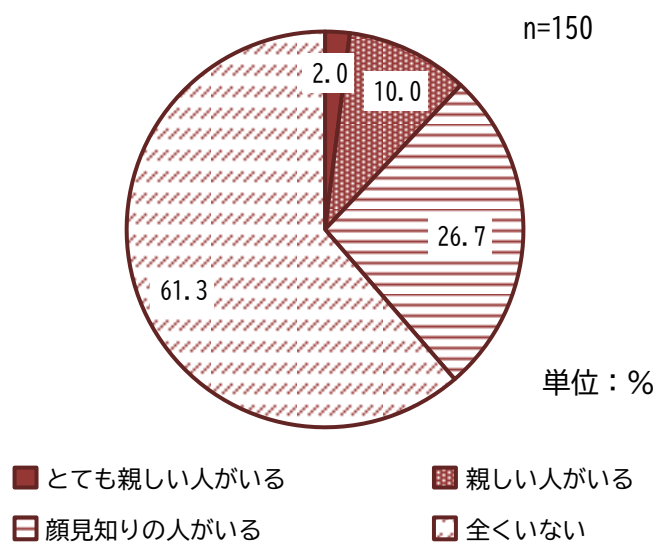


※報告書の構成上、問が前後します。

問5 あなたには、親しい外国人の方がいますか。【○は1つ】

- ◆ 親しい外国人の有無については、「全くいない」が61.3%と最も高くなっています。『親しい人がある』（“とても親しい人がある”＋“親しい人がある”）は12.0%にとどまっており、外国人市民と親しい関係にある日本人市民は少ないと考えられます。

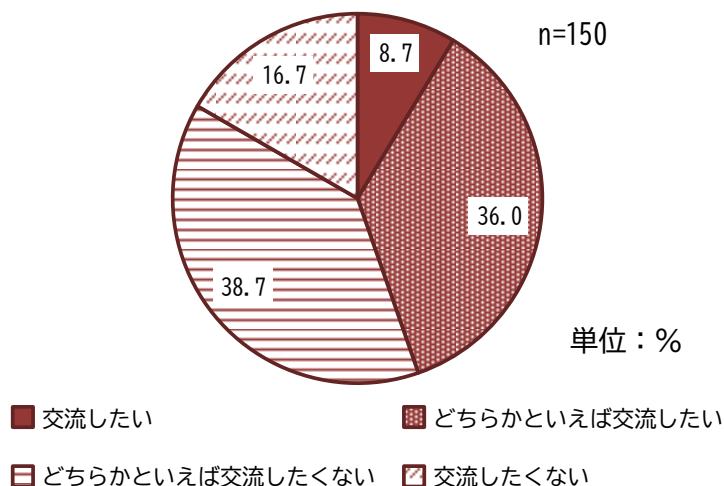
図表 83 親しい外国人の有無



問4 あなたは、外国人市民と交流したいと思いますか。【〇は1つ】

- ◆ 外国人市民との交流意向については、外国人市民と『交流したい』（“交流したい”＋“どちらかといえば交流したい”）は44.7%、『交流したくない』（“どちらかといえば交流したくない”＋“交流したくない”）は55.4%となっています。

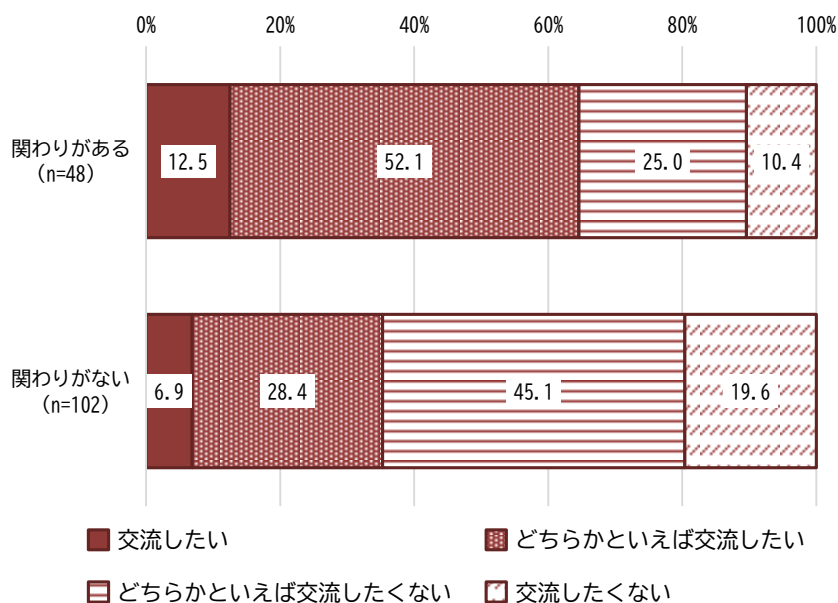
図表 84 外国人市民との交流意向



【外国人との関わりの有無別にみた外国人市民との交流意向について】

- ◆ 外国人との関わりの有無別に外国人市民との交流意向をみると、外国人の方と関わりがある人は、『交流したい』が6割半ばとなっていますが、外国人の方と関わりがない人は3割半ばにとどまっています。

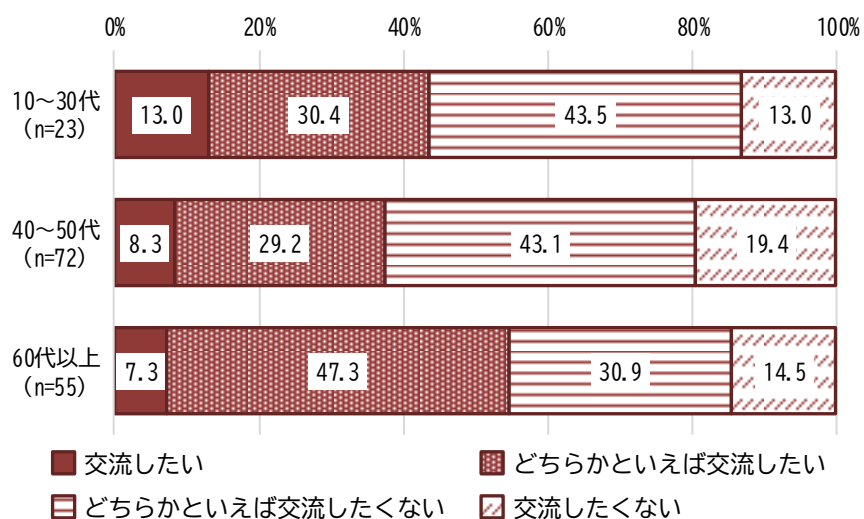
図表 85 外国人との関わりの有無別にみた外国人市民との交流意向



【年代別にみた外国人市民との交流意向について】

- ◆ 外国人市民との交流意向について年代別にみると、60代以上で『交流したい』が54.6%と他の年代と比較して高くなっています。また、40～50代で『交流したくない』が62.5%と他の年代と比較してやや高くなっています。

図表 86 年代別にみた外国人市民との交流意向

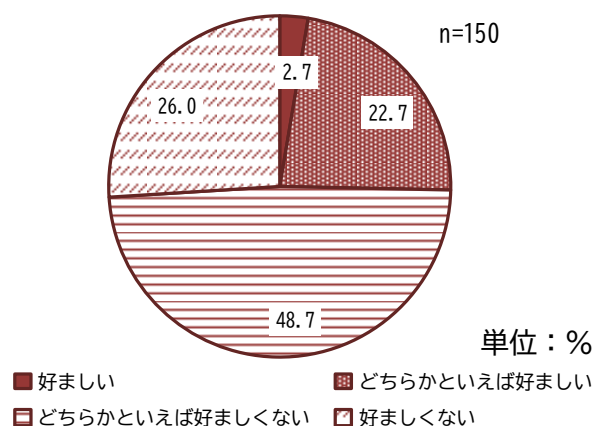


3 地域に外国人市民が増えることについて

問6 あなたのお住まいの地域に外国人市民が増えることについてどう思いますか。【〇は1つ】

- ◆ 地域に外国人市民が増えることについては、『好ましい』（“好ましい”＋“どちらかといえば好ましい”）は25.4%、『好ましくない』（“どちらかといえば好ましくない”＋“好ましくない”）は74.7%となっています。

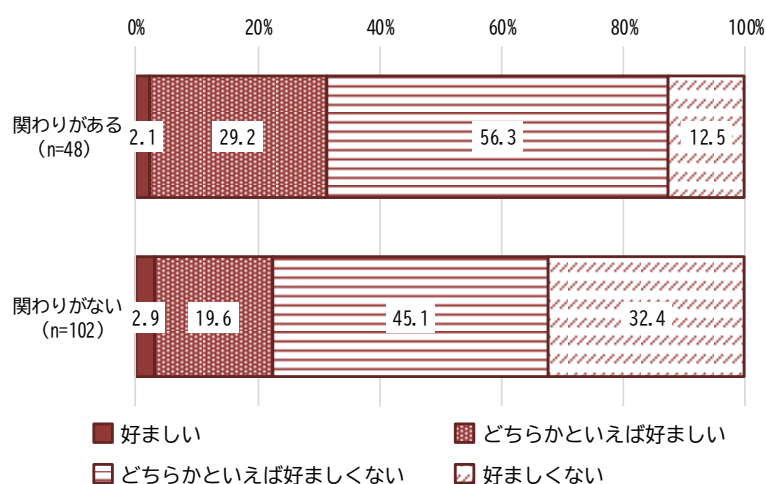
図表 87 外国人市民が増えることについて



【外国人との関わりの有無別にみた地域に外国人市民が増えることについて】

- ◆ 外国人との関わりの有無別に外国人市民が増えることについてみると、外国人の方と関わりがある人でも68.8%が『好ましくない』と回答しており、内訳としては「どちらかといえば好ましくない」が56.3%となっています。一方で、関わりがない人では、77.5%が『好ましくない』と回答しており、特に、「好ましくない」が32.4%と高くなっており、強い否定的意識の割合が高くなっています。
- ◆ 外国人との関わりは否定的な意識を一定程度緩和する可能性はあるものの、全体としては否定的な認識が多数を占めているといえます。関わりがない層では強い否定的意識が多く、意識の強度には違いがみられます。

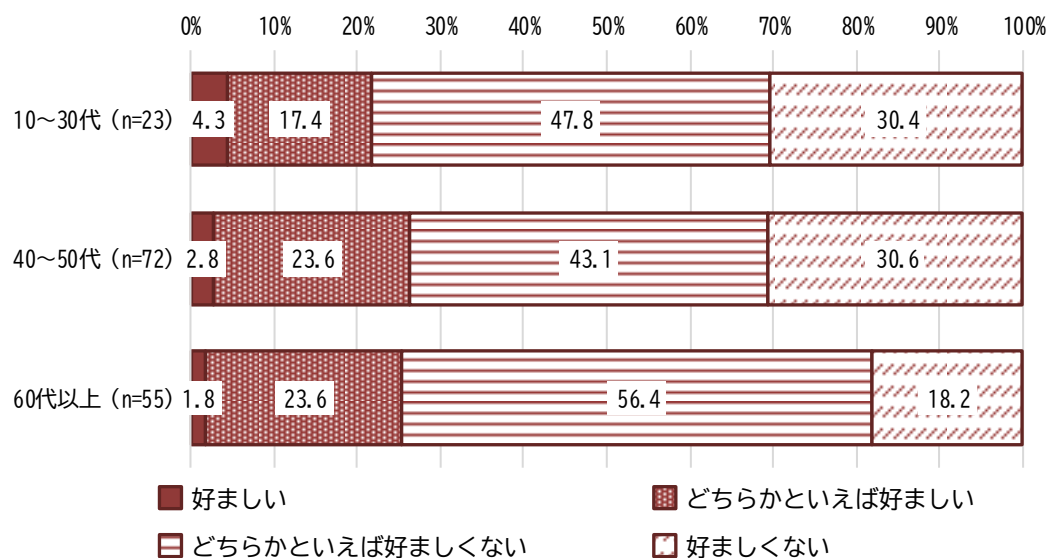
図表 88 外国人との関わりの有無別にみた外国人市民が増えることについて



【年代別にみた地域に外国人市民が増えることについて】

- ◆ 外国人市民が増えることについて年代別にみると、『好ましい』『好ましくない』の割合に大きな差はみられず、年代による傾向の違いはみられません。60代以上で「好ましくない」が18.2%と他の年代と比較して低くなっています。

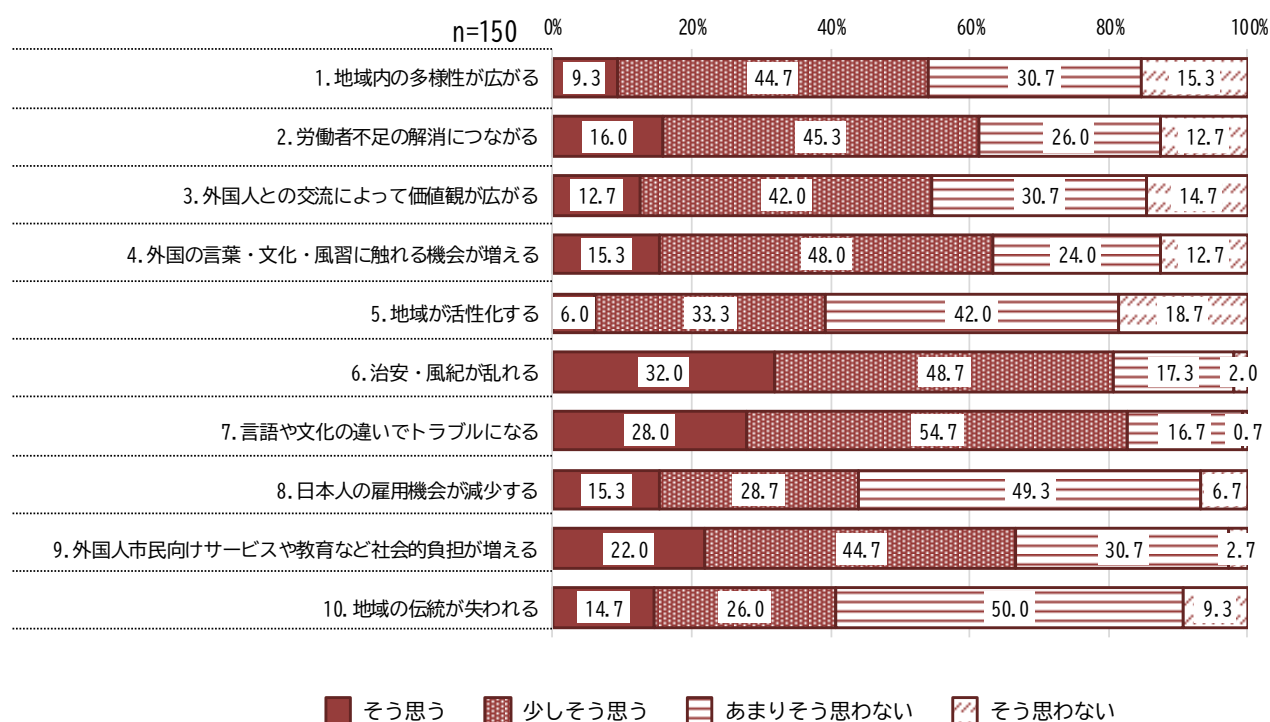
図表 89 年代別にみた外国人市民が増えることについて



問7 地域社会に外国人市民が増えることの影響について、それぞれあてはまるものを選んでください。【〇はそれぞれ1つ】

- ◆ 地域社会に外国人市民が増えることについて、「労働者不足の解消につながる」や「外国の言葉文化に触れる機会が増える」というポジティブな影響について『そう思う』（“そう思う”＋“少しそう思う”）が6割以上を占めています。
- ◆ 一方で、「治安や風紀が乱れる」「言語や文化の違いでトラブルになる」といったネガティブな影響について『そう思う』割合は8割以上とさらに高くなっています。このように、一定の肯定的評価はあるものの、同時に不安感も強く、特に生活環境や安全面への懸念が大きい状況にあると考えられます。

図表 90 地域社会に外国人市民が増えることの影響



【外国人との関わりの有無別にみた外国人市民が地域に増えることの影響】

- ◆ 外国人とのかかわりの有無別に『そう思う』の割合をみると、「1. 地域内の多様性が広がる」～「5. 地域が活性化する」のポジティブな影響については、外国人との関わりがある人の方が『そう思う』の割合が高くなっています。特に、「2. 労働者不足の解消につながる」「3. 外国人との交流によって価値観が広がる」「4. 外国の言葉・文化・風習に触れる機会が増える」では関わりがない人を10ポイント以上、上回っています。
- ◆ 一方で、「6. 治安・風紀が乱れる」～「10. 地域の伝統が失われる」のネガティブな影響については、「6. 治安・風紀が乱れる」「10. 地域の伝統が失われる」で外国人との関わりがない人の方が関わりがある人と比較して『そう思う』が10ポイント以上、上回っています。また、「7. 言語や文化の違いでトラブルになる」「8. 日本人の雇用機会が減少する」「9. 外国人市民向けサービスや教育など社会的負担が増える」については両者の間で大きな差はみられません。
- ◆ 外国人との関わりの有無は、外国人増加によるポジティブな影響への共感を高めるものの、ネガティブな影響に対する懸念を十分に低減するものではないと考えられます。

図表 91 外国人とのかかわりの有無別にみた外国人市民が地域に増えることの影響：『そう思う』の割合

単位：％

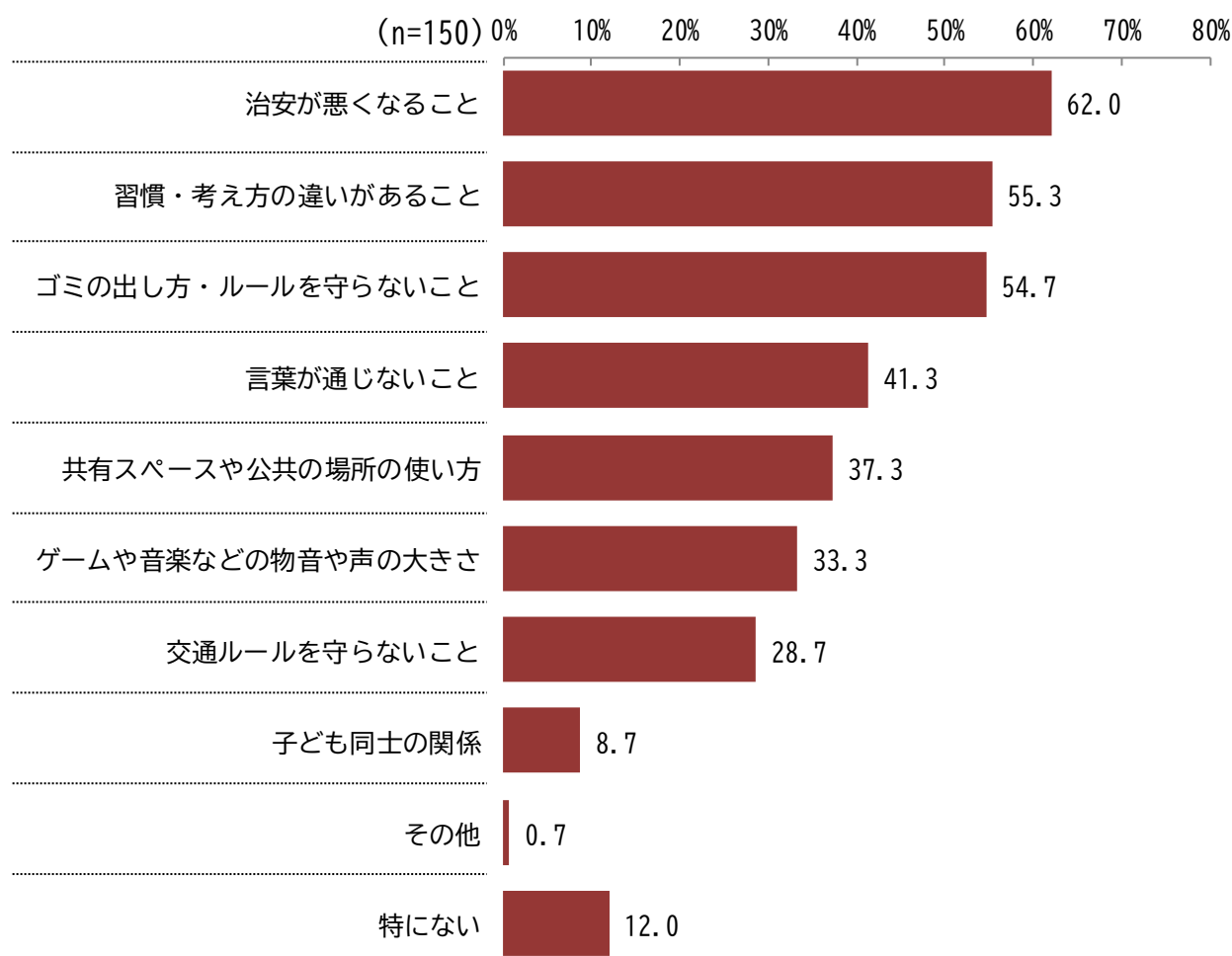
	1. 地域内の多 様性が広がる	2. 労働者不足 の解消につな がる	3. 外国人との 交流によって 価値観が広が る	4. 外国の言 葉・文化・風 習に触れる機 会が増える	5. 地域が活性 化する
関わりがある (n=48)	60.4	77.1	66.7	72.9	45.8
関わりがない (n=102)	51.0	53.9	49.0	58.8	36.3

	6. 治安・風紀 が乱れる	7. 言語や文化 の違いでトラ ブルになる	8. 日本人の雇 用機会が減少 する	9. 外国人市民 向けサービス や教育など社 会的負担が増 える	10. 地域の伝 統が失われる
関わりがある (n=48)	72.9	83.3	41.7	60.4	33.3
関わりがない (n=102)	84.3	82.4	45.1	69.6	44.1

問 8 あなたのお住まいの地域に外国人市民が暮らすことについて、不安に思うことはありますか。
【〇はいくつでも】

- ◆ 外国人市民が暮らすことについて、不安に思うことは「治安が悪くなること」が62.0%と最も高くなっています。次いで、「習慣・考え方の違いがあること」(55.3%)、「ゴミの出し方・ルールを守らないこと」(54.7%)となっています。

図表 92 外国人市民が暮らすことについて不安に思うこと

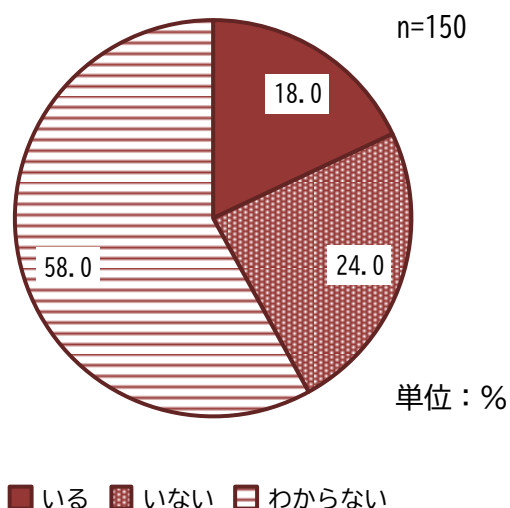


4 多文化共生の推進にあたって

問 9 あなたの周りに外国人市民への差別・偏見の意識を持った人はいますか。【〇は1つ】

- ◆ 外国人市民への差別・偏見の意識を持った人の有無については、「いない」が24.0%にとどまり、「いる」が18.0%となりました。

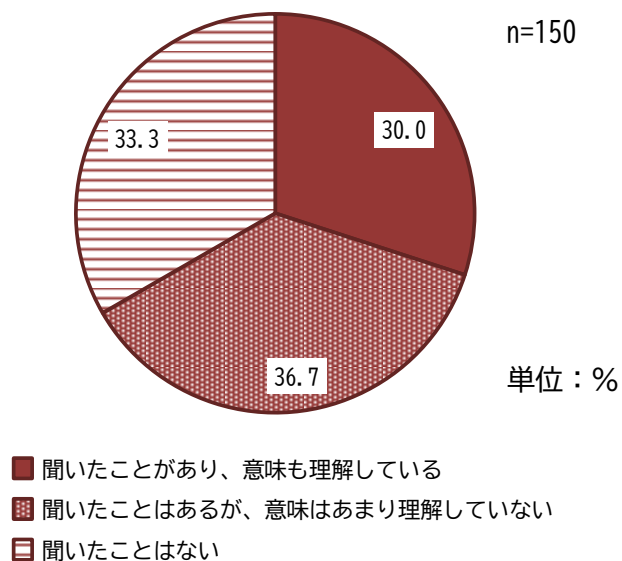
図表 93 外国人市民への差別・偏見をもった人の有無



問 10 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。【〇は1つ】

- ◆ 「多文化共生」という言葉の認知度については、「聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない」が36.7%で最も高くなっています。「聞いたことがあり、意味も理解している」は30.0%となっています。

図表 94 多文化共生という言葉の認知度

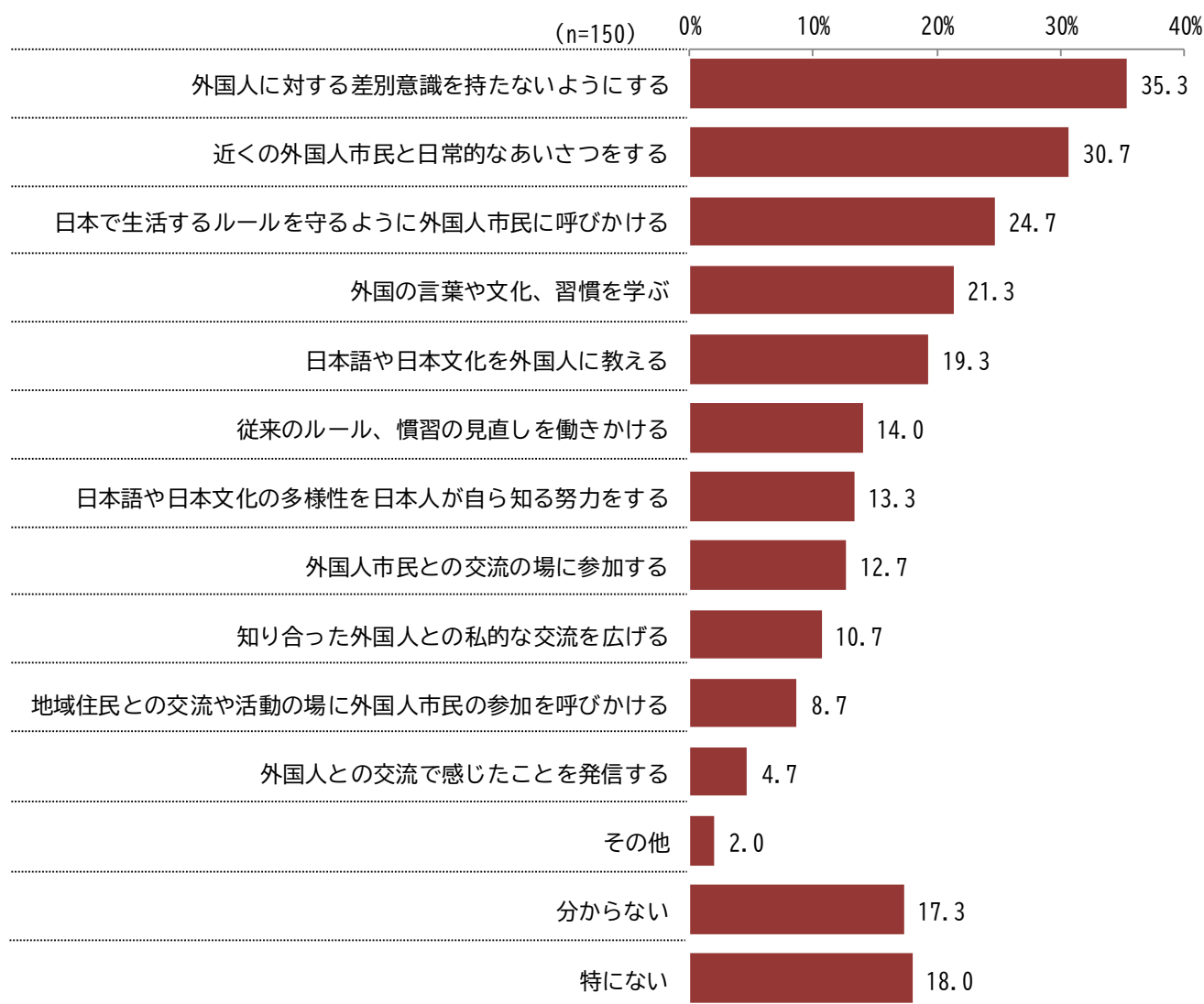


問Ⅱ 多文化共生社会実現のため、あなた自身ができることは何だと思いますか。

【〇はいくつでも】

- ◆ 多文化共生社会の実現のため、日本人市民ができることとして、「外国人に対する差別意識を持たないようにする」が35.3%と最も高く、次いで「近くの外国人市民と日常的なあいさつをする」(30.7%)、「日本で生活するルールを守るように外国人市民に呼びかける」(24.7%)となっています。
- ◆ 一方で、「外国人市民との交流の場に参加する」「知り合った外国人との私的な交流を広げる」といった積極的な交流については約1割にとどまっており、比較的ハードルの低い関わりが中心となっている傾向がみられます。
- ◆ また、「特にない」(18.0%)、「わからない」(17.3%)も一定数いることから、多文化共生社会実現のための、日本人市民自身の役割に対する意識啓発が必要だと考えられます。

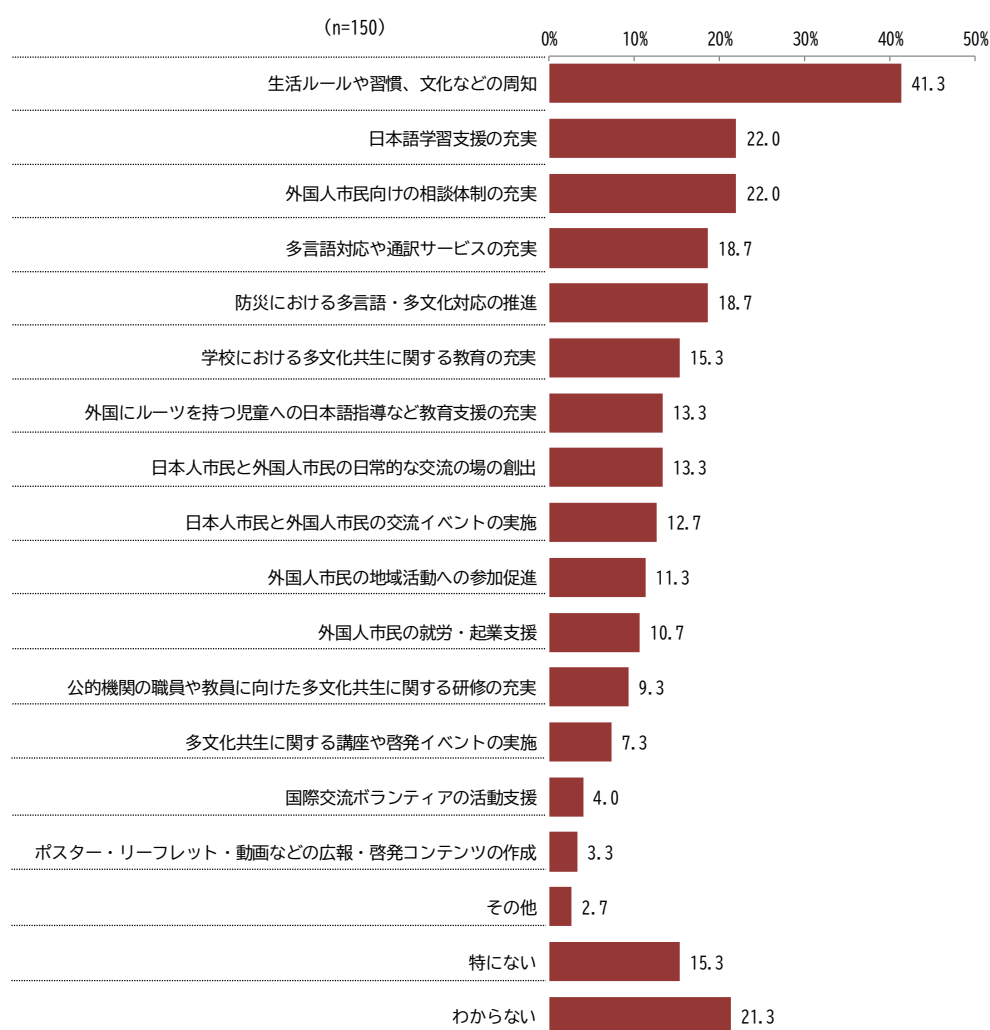
図表 95 多文化共生社会実現のため日本人市民ができること



問 12 多文化共生社会実現のため、今後蒲郡市が取り組むべきことは何だと思いますか。
【〇はいくつでも】

- ◆ 多文化共生社会実現のため、今後蒲郡市が取り組むべきことについては「生活ルールや習慣、文化などの周知」が 41.3%と突出して高くなっています。次いで、「日本語学習支援の充実」と「外国人市民向けの相談体制の充実」(22.0%)、「多言語対応や通訳サービスの充実」と「防災における多言語・多文化対応の推進」(18.7%)となっています。
- ◆ 日本人市民目線での外国人市民への支援ニーズであるということから、日本人市民が感じている不安や課題認識が反映されている可能性があります。特に、「生活ルールや習慣、文化などの周知」が高い点から、日本の生活ルールを守ってほしいという意識が背景にあると考えられます。

図表 96 多文化共生社会実現のため蒲郡市が取り組むべきこと



V. 事業所調査結果

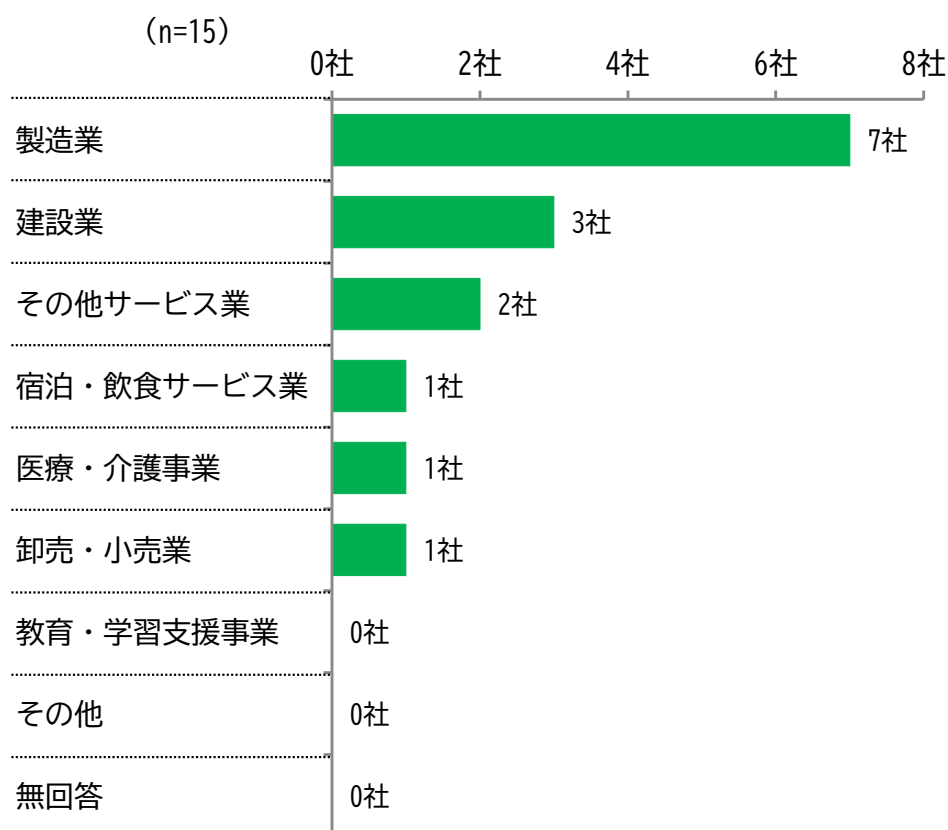
1 回答企業の属性

※問1は連絡先情報のため本報告書では割愛

問2 貴社（貴事業所）の業種を教えてください。【〇は1つ】

◆ 業種は、「製造業」が7社で最も多く、次いで「建設業」が3社となっています。

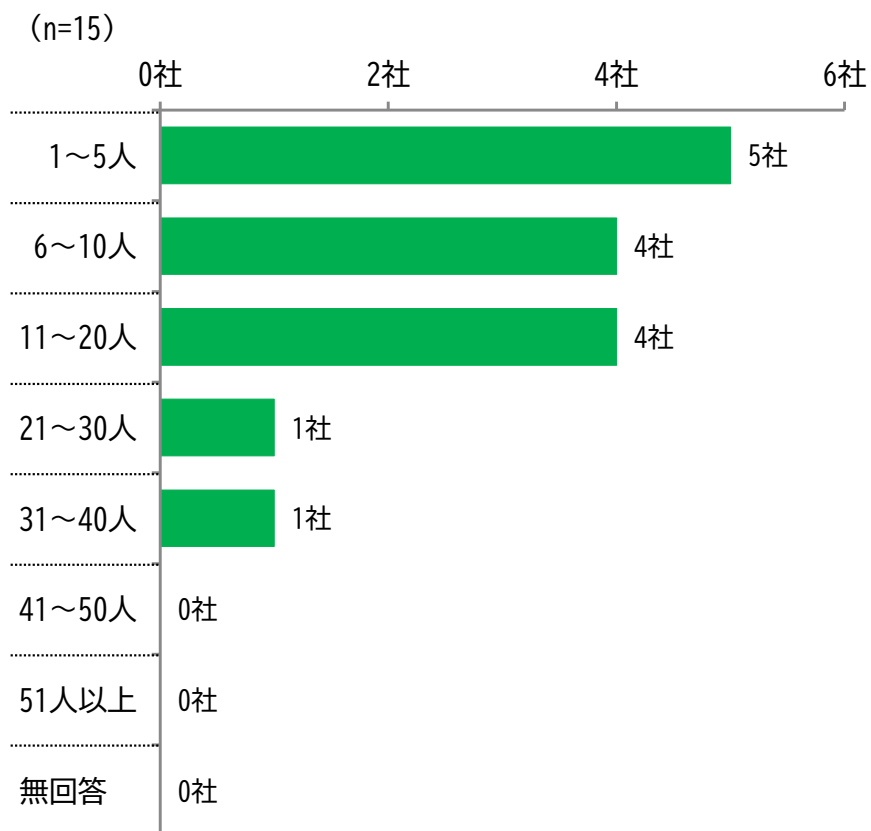
図表 97 業種



問3 貴社（貴事業所）で雇用している外国人従業員の人数について教えてください。
【〇は1つ】

◆ 雇用している外国人従業員の人数について、10人以下が15社中9社を占めています。

図表 98 雇用している外国人従業員の数

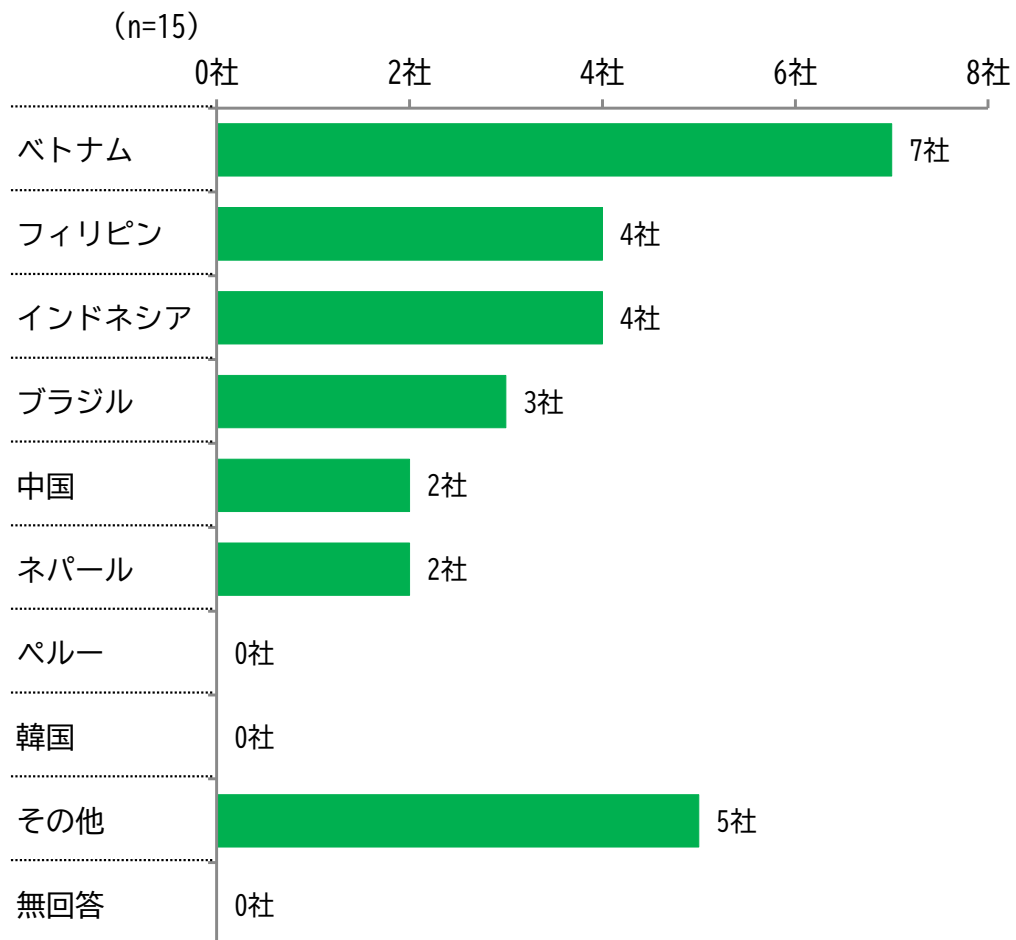


問4 貴社（貴事業所）で雇用している外国人従業員の国籍について教えてください。

【〇はいくつでも】

- ◆ 雇用している外国人従業員の国籍を尋ねたところ、「ベトナム」国籍の従業員を雇用している企業は7社と他の国籍と比較して多くなっています。

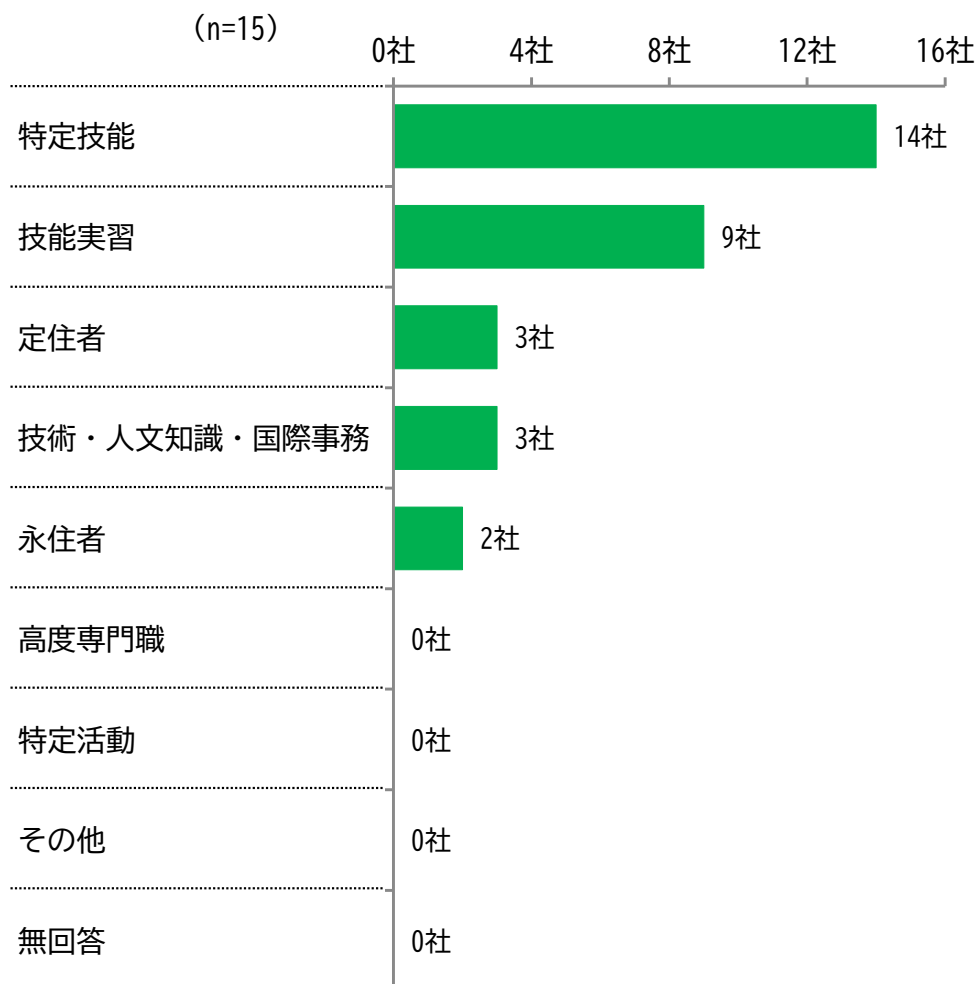
図表 99 雇用している外国人従業員の国籍



問5 貴社（貴事業所）で雇用している外国人従業員の在留資格と人数について教えてください。
【〇はいくつでも】

- ◆ 本調査は特定技能所属機関向けアンケートであることから、雇用している外国人従業員の在留資格としては、「特定技能」の従業員を雇用している企業が14社と多くなっています。

図表 100 雇用している外国人従業員の在留資格

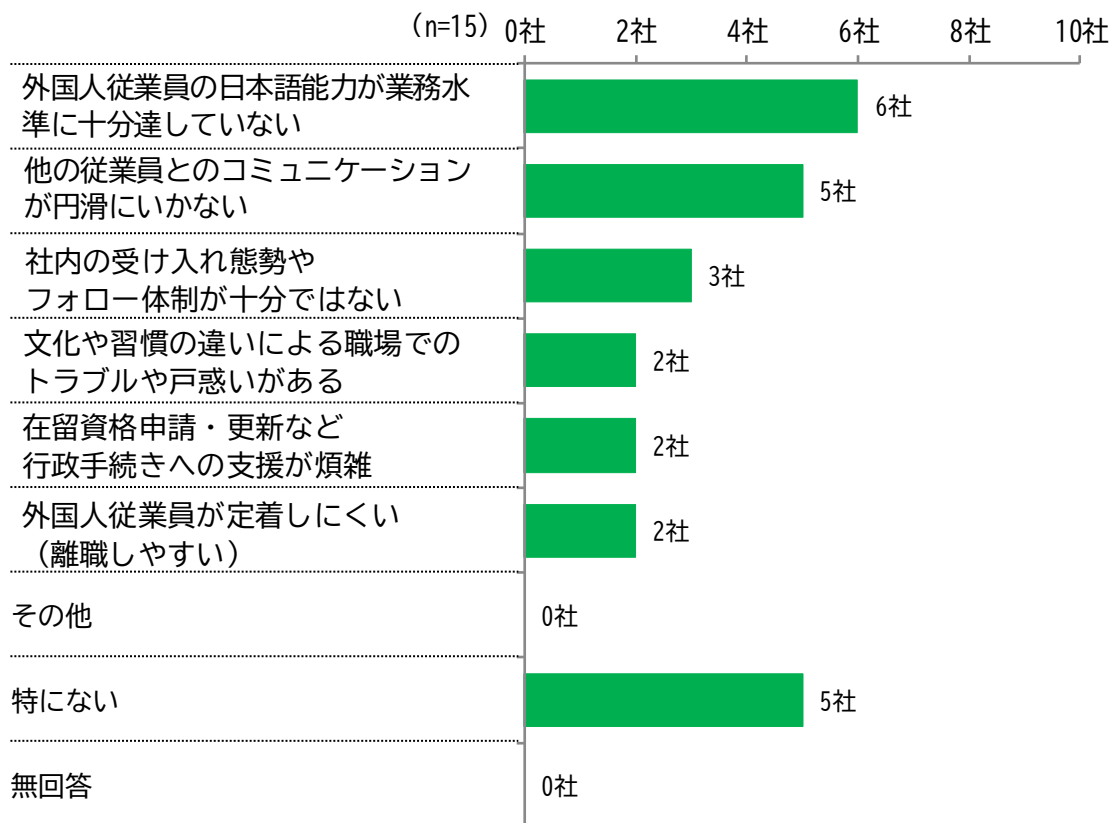


2 外国人従業員受け入れの実態

問 6 外国人従業員の雇用・受け入れにあたり、貴社（貴事業所）が課題だと感じている点は何だと思いますか。【〇はいくつでも】

- ◆ 外国人従業員の雇用・受け入れにあたり課題だと感じている点として、「外国人従業員の日本語能力が業務水準に十分達していない」「他の従業員とのコミュニケーションが円滑にいかない」といった、日本語能力に関する課題を挙げる企業が多い結果となっています。
- ◆ 「特にない」と回答した企業は5社となっています。

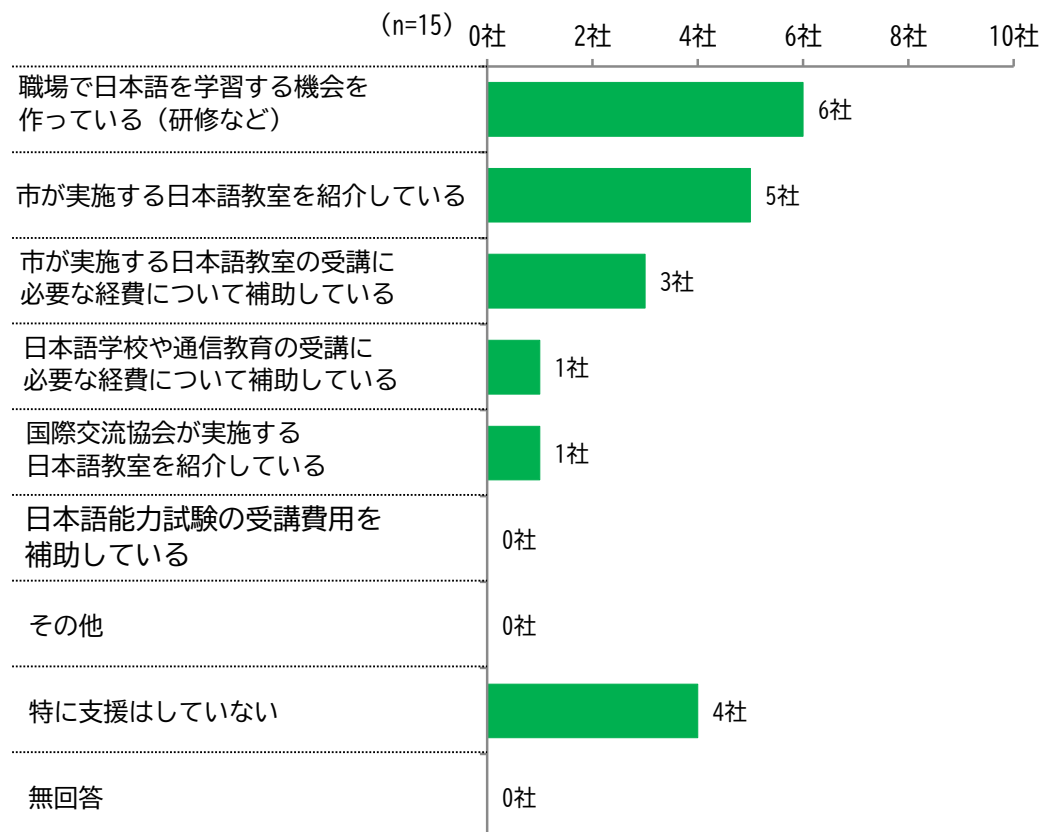
図 101 外国人従業員の雇用・受け入れにあたり、課題だと感じていること



問7 外国人従業員への日本語学習支援内容について教えてください。【〇はいくつでも】

- ◆ 事業者が行っている外国人従業員への日本語学習支援内容について、「職場で日本語を学習する機会を作っている（研修など）」が6社と最も多くなっています。次いで、「市が実施する日本語教室を紹介している」が5社となっています。
- ◆ 「特に支援はしていない」と回答した企業は4社となっています。

図 102 外国人従業員への日本語学習支援内容について

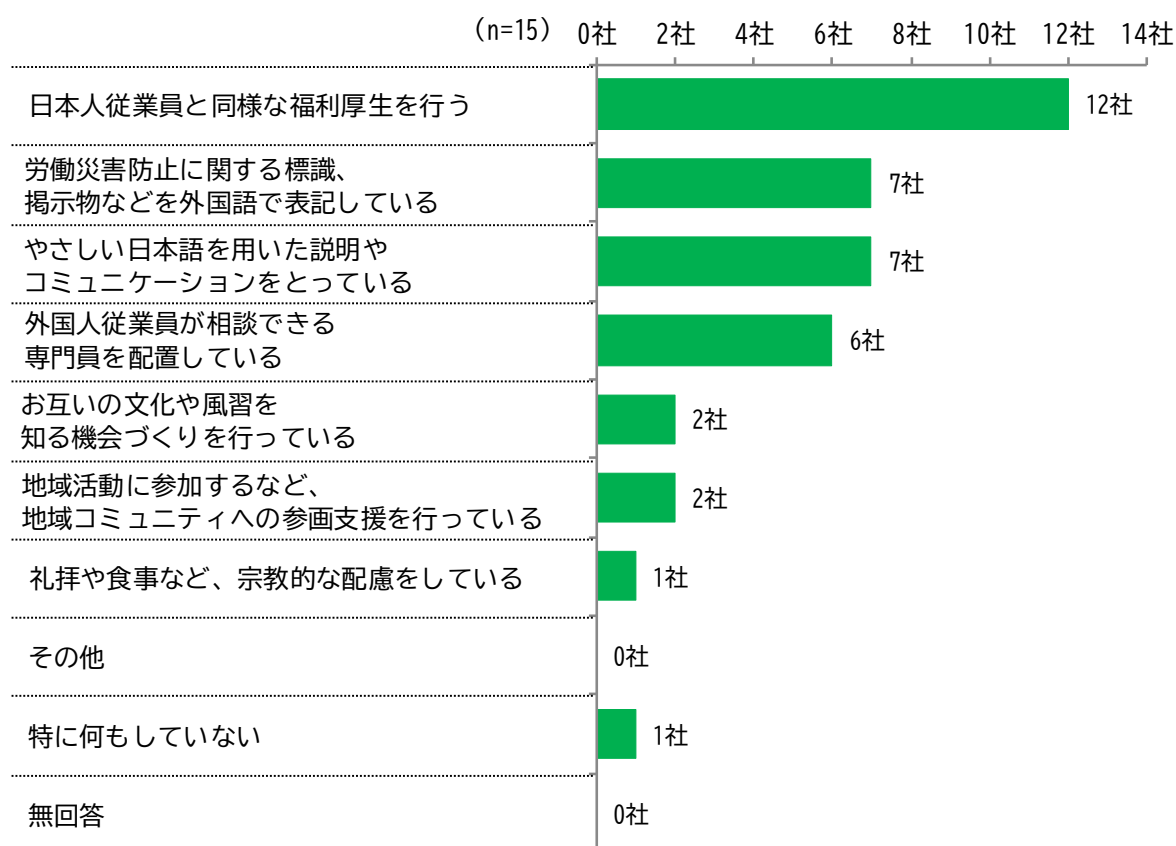


問 8 外国人従業員へ環境整備として行っている取組みについて教えてください。

【○はいくつでも】

- ◆ 外国人従業員へ環境整備として行っている取組みについて、「日本人従業員と同様な福利厚生を行う」と回答した企業が 12 社となっています。次いで、「労働災害防止に関する標識、掲示物などを外国語で表記している」「やさしい日本語を用いた説明やコミュニケーションをとっている」が 7 社と、言語への配慮を実施している企業が多くなっています。
- ◆ 「特に何もしていない」と回答した企業は 1 社となっています。

図 103 外国人従業員へ環境整備として行っている取組み

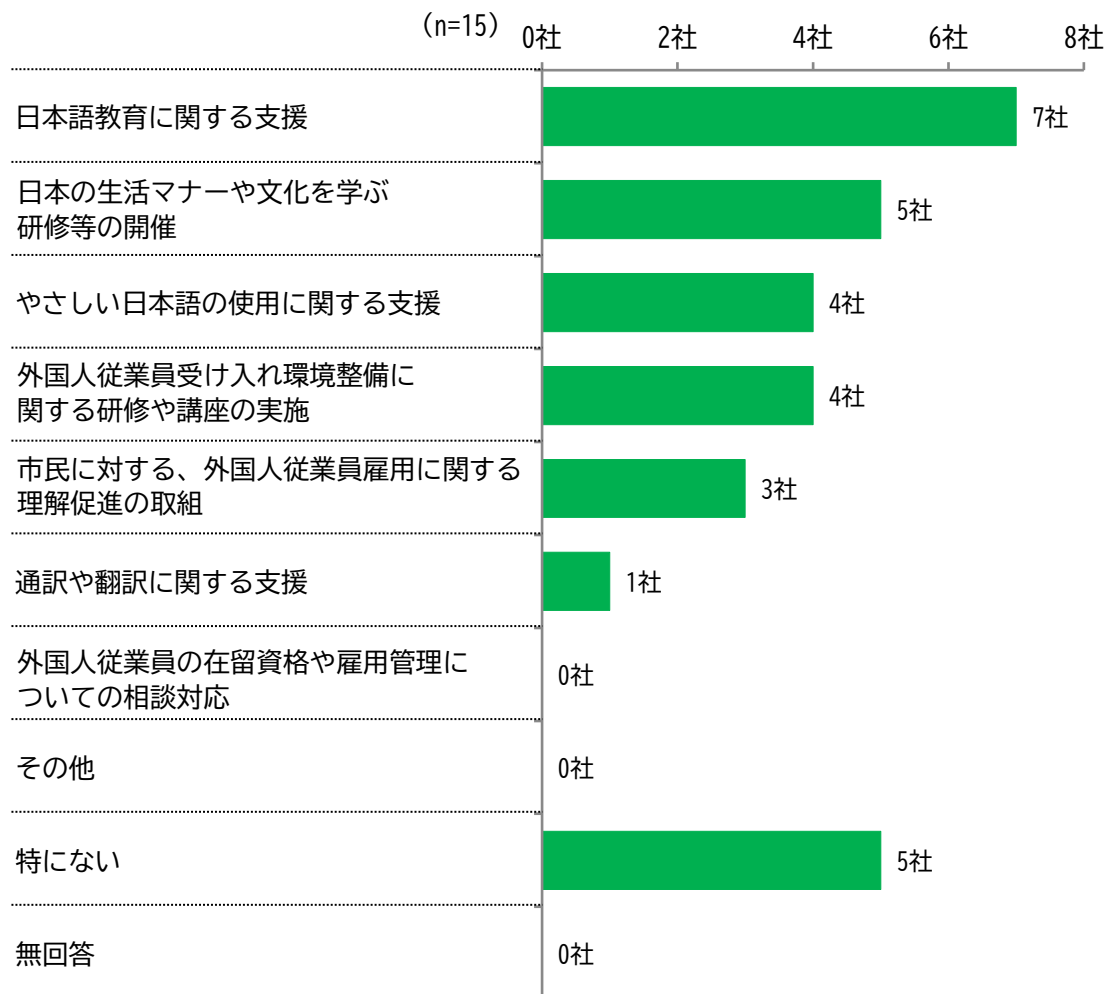


3 多文化共生施策について

問9 外国人従業員の雇用に関して、市にどのような支援を期待しますか。
【〇はいくつでも】

- ◆ 外国人従業員の雇用に関して、市にどのような支援を期待するかについて、「日本語教育に関する支援」が7社と最も多く、次いで「日本の生活マナーや文化を学ぶ研修等の開催」が5社となっています。

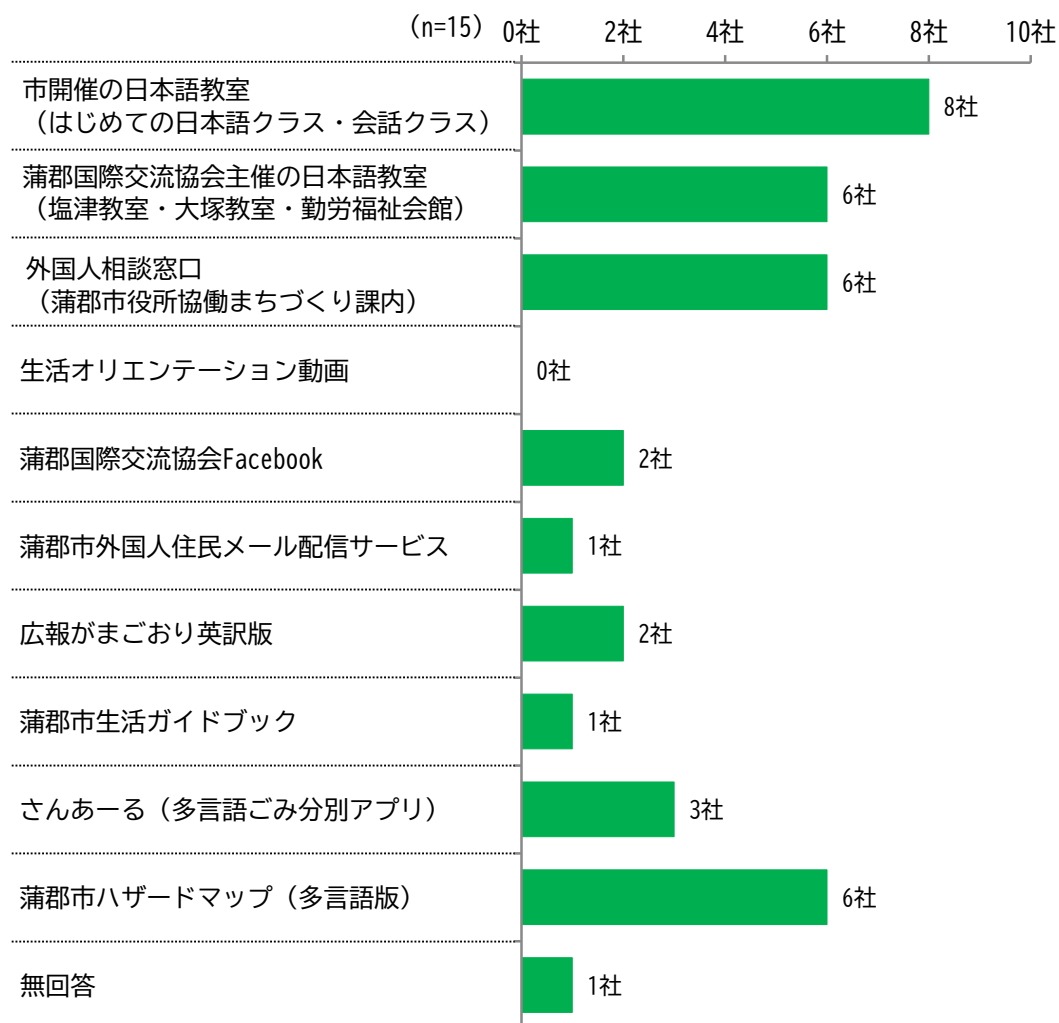
図 104 外国人従業員の雇用に関して市に期待する支援



問 10 市の多文化共生施策について知っているものを教えてください。【〇はいくつでも】

- ◆ 市の多文化共生施策について知っているものとして、「市開催の日本語教室（はじめての日本語クラス・会話クラス）」が 8 社と最も多くなっています。次いで、「蒲郡国際交流協会主催の日本語教室（塩津教室・大塚教室・勤労福祉会館）」「外国人相談窓口（蒲郡市役所協働まちづくり課内）」「蒲郡市ハザードマップ（多言語版）」が 6 社となっています。

図 105 市の多文化共生施策について知っているもの



VI. 自治会ヒアリング調査結果

1 地域の課題について

- ◆ 言葉が伝わらないため、ゴミ出しのルールを守ってもらえずにトラブルになったり、町内会費の集金がうまくいかなかったりする課題がある。特に、ゴミ出しのルールについては生活ガイドブックの多言語対応のページを利用して説明しようとしたが、うまく伝わらなかった。
- ◆ 防災訓練などの情報は基本的に回覧板で市民に共有されていくので、町内会に入ってもらえないと情報共有ができない。また、町内会に入っていたとしても、回覧板が多言語対応していないので情報が伝わっていない可能性がある。

2 地域住民の交流について

- ◆ 町内会に入るとは交流のきっかけになると考えるが、町内会に入ってもらうのが難しい。
- ◆ 中学生の子どもを持つ外国人の親については、子どもを通じて地域活動への参加が促進されている。(例：防災訓練を自治会で実施し、中学生とその親に参加してもらうことで、外国人市民とのコミュニケーションの場が作られた)

3 市に求める支援について

- ◆ 言葉がうまく伝わらないことが根本の原因にあるので、言語の壁を解消できるような支援を行ってほしい。言語の問題が発生したときに、市役所に助けを求められるような仕組み・取組が欲しい。
- ◆ 蒲郡市役所から外国人市民に対して、日本語学習の支援やゴミ出しのルールの講習会や町内会の説明をしてもらいたい。いろいろな冊子を作るだけでなく、きちんと説明する機会を作ってほしい。
- ◆ 町内会のイベントがあっても外国人市民の人に伝える術がないので、市から支援が欲しい。
- ◆ 生徒がいる家庭については町内会で交流のきっかけは作れるので、それ以外の関わりがない外国人市民に声をかける方法や交流のきっかけを市役所に考えてもらいたい。
- ◆ 外国人市民のキーパーソンとなる人を発掘し、自治会とつなげて行ってほしい。

VII. 資料編

1 使用調査票

1. 外国人市民アンケート

<<

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

LANGUAGE

言語を選択してください。(Please select your language.)

1

☐ Japanese

2

☐ English

3

☐ Spanish

4

☐ Portuguese

5

☐ Chinese

6

☐ Tagalog

7

☐ Vietnamese

8

☐ やさしい日本語

次へ

0

50

100 (%)

改ページ

Page 2

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q1

あなたの性別は次のうちどれですか。

1

☐ 女性

2

☐ 男性

3

☐ その他・答えたくない

次へ

0

50

100 (%)

改ページ

Page 3

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q2

あなたが現在お住まいの地区はどれですか。

▼

次へ

0

50

100 (%)

改ページ

Page 4

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q3

あなたの年齢は次のうちどれですか。

1

☐ ～19歳

2

☐ 20歳～29歳

3

☐ 30歳～39歳

4

☐ 40歳～49歳

5

☐ 50歳～59歳

6

☐ 60歳～69歳

7

☐ 70歳～79歳

8

☐ 80歳以上

次へ

0

50

100 (%)

改ページ

Page 5

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q4

あなたの国籍は次のうちどれですか。

- 1 ☐ フィリピン
- 2 ☐ ベトナム
- 3 ☐ ブラジル
- 4 ☐ ベルー
- 5 ☐ 中国
- 6 ☐ インドネシア
- 7 ☐ ネパール
- 8 ☐ 韓国
- 9 ☐ その他

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

Page 6

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q5

あなたの在留資格は次のうちどれですか。

- 1 ☐ 永住者
- 2 ☐ 定住者
- 3 ☐ 技能実習
- 4 ☐ 特定技能
- 5 ☐ 日本人の配偶者等
- 6 ☐ 永住者の配偶者等
- 7 ☐ 技術・人文知識・国際業務
- 8 ☐ 家族滞在
- 9 ☐ 特定活動
- 10 ☐ 留学
- 11 ☐ 特別永住者
- 12 ☐ その他

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

Page 7

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q6

あなたは現在誰と一緒に暮らしていますか。(いくつでも)

- 1 ☐ 配偶者・パートナー
- 2 ☐ 子ども
- 3 ☐ 父・母
- 4 ☐ 兄弟姉妹
- 5 ☐ 祖父母
- 6 ☐ 友人・恋人
- 7 ☐ 孫
- 8 ☐ 親戚(いとこ、おじ、おばなど)
- 9 ☐ 仕事仲間
- 10 ☐ ひとり暮らし

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

Page 8

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q7

蒲郡市に何年住んでいますか。

- 1 ☐ 1年未満
- 2 ☐ 1年～5年未満
- 3 ☐ 5年～10年未満
- 4 ☐ 10年～20年未満
- 5 ☐ 20年以上

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q8
蒲郡市に住む理由は何ですか。(いくつでも)

- 1
- ☐ 生まれ育ったところだから
- 2
- ☐ 仕事先や学校が蒲郡市内にあるから
- 3
- ☐ 仕事先や学校が近隣市町村にあるから
- 4
- ☐ 家族が住んでいるから
- 5
- ☐ 友人がいるから
- 6
- ☐ 外国人支援が充実しているから
- 7
- ☐ 交通のアクセスが良いから
- 8
- ☐ 生活費が安いから
- 9
- ☐ 自然環境が良いから
- 10
- ☐ 安全で治安が良いから
- 11
- ☐ その他

次へ

改ページ

050100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q10
あなたの職業は次のうちどれですか。

- 1
- ☐ 会社員(正社員)
- 2
- ☐ 会社役員
- 3
- ☐ 会社員(派遣社員)
- 4
- ☐ 会社員(契約社員)
- 5
- ☐ 公務員・教職員(常勤)
- 6
- ☐ 自営業・専門職
- 7
- ☐ アルバイト・パートタイマー
- 8
- ☐ 技能実習生
- 9
- ☐ 学生
- 10
- ☐ 無職

次へ

改ページ

050100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q9
現在どのような家に住んでいますか。

- 1
- ☐ 賃貸住宅(一戸建て、マンション、アパートなど)
- 2
- ☐ 県営・市営住宅
- 3
- ☐ 会社の寮、会社が借りているアパート、学生寮
- 4
- ☐ 持ち家(一戸建て)
- 5
- ☐ 持ち家(マンション)

次へ

改ページ

050100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q11
どんな業種の会社で働いていますか。

- 1
- ☐ 製造業
- 2
- ☐ 建設業
- 3
- ☐ 宿泊・飲食サービス業
- 4
- ☐ その他サービス業
- 5
- ☐ 医療・介護事業
- 6
- ☐ 卸売・小売業
- 7
- ☐ 教育・学習支援事業
- 8
- ☐ その他

次へ

改ページ

050100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q12

あなたの家族全体の月収はだいたいいくらですか。
(一緒に住んでいる家族の月収を合計した金額)

- 1
☐ 0～99,999円
- 2
☐ 100,000～149,999円
- 3
☐ 150,000～199,999円
- 4
☐ 200,000～249,999円
- 5
☐ 250,000～299,999円
- 6
☐ 300,000～349,999円
- 7
☐ 350,000～399,999円
- 8
☐ 400,000～499,999円
- 9
☐ 500,000円～

[次へ](#)



改ページ



改ページ

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q13

生活に必要な情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

- 1
☐ テレビ、ラジオ
- 2
☐ 新聞、雑誌
- 3
☐ 公的機関からの発信
- 4
☐ インターネット
- 5
☐ SNS(Facebook)
- 6
☐ SNS(LINE)
- 7
☐ SNS(X・Twitter)
- 8
☐ SNS(Instagram)
- 9
☐ SNS(TikTok)
- 10
☐ YouTube
- 11
☐ 会社や学校
- 12
☐ 家族や親せき
- 13
☐ 同じ国の友人・知人
- 14
☐ 日本人の友人・知人
- 15
☐ 日本語教室
- 16
☐ その他

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q14

次のうち、あなたがこれまでに利用したことがある蒲郡市や関連団体の情報発信・相談窓口を教えてください。(いくつでも)

- 1
☐ 蒲郡市公式ホームページ
- 2
☐ 広報がまごおり(広報がまごおり英訳版)
- 3
☐ 蒲郡市外国人相談窓口
- 4
☐ 安心ひろめる(蒲郡市メール配信サービス)
- 5
☐ 蒲郡市生活オリエンテーション動画
- 6
☐ 蒲郡市公式LINE
- 7
☐ 蒲郡市生活ガイドブック
- 8
☐ 蒲郡市公式Instagram
- 9
☐ 蒲郡国際交流協会Facebook
- 10
☐ どれも利用したことがない

[次へ](#)



改ページ

Page 16

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q15

家族の中に日常生活に困らない程度、日本語がわかる人はいますか。

- 1
☐ いる
- 2
☐ いない

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

Page 17

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q16

日本語を聞いて理解することができますか。

- 1
☐ 生活に問題なく理解できる
- 2
☐ ゆっくりなら理解できる
- 3
☐ 単語であれば理解できる
- 4
☐ 日本語の会話を全く理解できない

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

Page 18

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q17

日本語をどのくらい話せますか。

- 1
☐ 生活に問題なく話すことができる
- 2
☐ ゆっくりなら話すことができる
- 3
☐ 単語であれば話すことができる
- 4
☐ 日本語を全く話すことができない

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

Page 19

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q18

日本語を読むことや書くことができますか。

- 1
☐ 難しい漢字が読め、書ける
- 2
☐ 簡単な漢字が読め、書ける
- 3
☐ ひらがな・カタカナが読め、書ける
- 4
☐ 全く分からない

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q19

どのような方法で日本語を学びたいですか。

- 1
☐ 決まった日時に教室に行き学ぶ
- 2
☐ オンラインの教材で学ぶ
- 3
☐ その他
- 4
☐ 日本語を学ぶ必要はない

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q20

日本語を学ぶのに都合の良い時間帯はどれですか。（いくつでも）

- 1
☐ 月曜～金曜の10時～12時
- 2
☐ 月曜～金曜の13時～16時
- 3
☐ 月曜～金曜の18時～20時
- 4
☐ 土曜の10時～12時
- 5
☐ 土曜の13時～16時
- 6
☐ 土曜の18時～20時
- 7
☐ 日曜の10時～12時
- 8
☐ 日曜の13時～16時
- 9
☐ 日曜の18時～20時

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q21

あなたが、現在不安に感じていること、困っていることはありますか。（いくつでも）

- 1
☐ 日本語のコミュニケーションに関すること
- 2
☐ 生活に必要な情報が手に入らないこと
- 3
☐ 町内会など近所の活動や近所づきあいに関すること
- 4
☐ 出産に関すること
- 5
☐ 死亡手続きに関すること
- 6
☐ 子どもの世話や、子育てに関すること
- 7
☐ 子どもの教育に関すること
- 8
☐ 障害や病気など、こころや身体の健康に関すること
- 9
☐ 公共交通機関の利用に関すること
- 10
☐ 家族の介護に関すること
- 11
☐ 老後の生活に関すること
- 12
☐ 恋人ができない、友達が少ないなど、孤独に関すること
- 13
☐ 離婚やDV(ドメスティック・バイオレンス)など、恋人や結婚相手との関係に関すること
- 14
☐ 地震や台風など災害に関すること
- 15
☐ 火事の避難情報やけがをした時の助けの求め方など、緊急時の対応に関すること
- 16
☐ 現在の仕事に関すること

17

- ☐ 就職・転職に関すること
- 18
☐ 生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること
- 19
☐ 在留資格に関すること
- 20
☐ 日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること
- 21
☐ 将来の見通しが立たないこと
- 22
☐ その他(具体的に:)
- 23
☐ 特にない

次へ

0 50 100 (%)

改ページ

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q22

仕事に関係した困りごとはなんですか。（いくつでも）

1

☐ 日本人とのコミュニケーションがとれない

2

☐ 同じ立場の日本人と待遇が違う

3

☐ 解雇されないか不安に思う

4

☐ 応募できる求人がない

5

☐ (外国人であることを理由に)雇ってもらえない

6

☐ 日本語の指示が分からない

7

☐ その他(具体的に:)

8

☐ 特にない

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q23

子育てに関する困りごとは何ですか。（いくつでも）

1

☐ 妊娠・出産に関する情報が手に入らない

2

☐ 子育ての相談相手がない

3

☐ 子育てに関する行政の支援や情報がわからない

4

☐ 保育所が見つからない

5

☐ 入園・入学の手続きがわからない

6

☐ 子どもが学校の勉強についていけない

7

☐ 進学に関する情報が手に入らない

8

☐ 保育所、学校等からの書類や連絡内容が分からない

9

☐ ほかの保護者とコミュニケーションがとれない

10

☐ その他(具体的に:)

11

☐ 特にない

12

☐ 現在、子育てをしていない

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q24

蒲都市役所にある外国人相談窓口を知っていますか。

1

☐ 知っている

2

☐ 知らない

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。（それまでの回答が無効になりますのでご注意ください）

Q25

困ったときに、一番最初に相談するのはどこですか。

1

☐ 市役所などの行政機関

2

☐ 警察

3

☐ 国際交流協会などの団体

4

☐ 家族・親族

5

☐ 友人・知人

6

☐ 相談しない

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q26

あなたは、日本人と交流したいと思いますか。

1

☐ 交流したい

2

☐ どちらかといえば交流したい

3

☐ どちらかといえば交流したくない

4

☐ 交流したくない

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q27

あなたは近所の清掃作業やお祭り、団地の自治会など、地域の活動に参加していますか。

1

☐ 普段から積極的に参加している

2

☐ ときどき参加している

3

☐ 参加しないといけないものだけ参加しているが、それ以外は積極的には参加しない

4

☐ 地域の活動には参加していない

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q28

地域の活動に積極的に参加しないのはなぜですか。(いくつでも)

1

☐ 活動の存在を知らなかったから

2

☐ 参加の仕方がわからないから

3

☐ 活動がいつどこであるのか知らないから

4

☐ 活動に行っても日本語がわからないから

5

☐ 時間がないから

6

☐ 興味がないから

7

☐ その他

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q29

あなたは、日本の風習や地域のルールを理解したいと思いますか。

1

☐ 全て理解したいと思う

2

☐ 一部理解したいと思う

3

☐ あまり理解したいとは思わない

4

☐ 全く理解したいと思わない

5

☐ よくわからない/考えたことがない

[次へ](#)

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q30

あなたが災害に備えて普段から準備していることはありますか。(いくつでも)

- 1
☐ 家具が倒れないよう、固定している
- 2
☐ 食料・飲料などを備蓄している
- 3
☐ ラジオや懐中電灯など非常用品を持ち出せるようにしている
- 4
☐ 家族と災害時の連絡方法について話し合っている
- 5
☐ 避難場所・経路を確認している
- 6
☐ ハザードマップを確認している
- 7
☐ 母国語で災害情報を入手できるアプリを準備している
- 8
☐ 防災訓練に参加している
- 9
☐ 特に準備していることはない

次へ

改ページ

0 50 100 (%)

自 知 解
分 人 決
で に で
解 相 き
決 談 て
で す い
き る な
る い

次へ

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q31

次の状況になったとき、どのように解決していますか。(それぞれひとつずつ)

- | | 自 | 知 | 解 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | 分 | 人 | 決 |
| | で | に | で |
| | 解 | 相 | き |
| | 決 | 談 | て |
| | で | す | い |
| | き | る | な |
| | る | い | |
| 1 市役所で手続きをするとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 2 市役所から送られる案内や手紙を読むとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 3 飲食店に行くとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 4 体の調子が悪いとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 5 初めての場所に外出するとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 6 公共交通機関を使うとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 7 銀行の口座開設や不動産契約をするとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 8 災害が起こったとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 9 困りごとについて質問したいとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 10 子どもを保育園や学校に通わせるとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 11 職場でのトラブル | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 12 住民とのトラブル | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |
| 13 差別を受けたとき | 1 | 2 | 3 |
| | ☐ | ☐ | ☐ |

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q32

あなたは蒲郡市の生活にどのくらい満足していますか。

- 1
☐ 満足している
- 2
☐ やや満足している
- 3
☐ どちらともいえない
- 4
☐ あまり満足していない
- 5
☐ 満足していない

次へ

改ページ

0 50 100 (%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

Q33
蒲都市に住み続けたいですか。

1
☐ 住み続けたい

2
☐ できれば住み続けたい

3
☐ あまり住み続けたくない

4
☐ 住み続けたくない

0 50 100 (%)

2. 日本人市民アンケート

SC1
必須

あなたのお住まいの市区町村をお答えください。
【愛知県】

☐ 1. 名古屋市千種区

☐ 25. 碧南市

☐ 49. 北名古屋市

☐ 2. 名古屋市東区

☐ 26. 刈谷市

☐ 50. 弥富市

☐ 3. 名古屋市北区

☐ 27. 豊田市

☐ 51. みよし市

☐ 4. 名古屋市西区

☐ 28. 安城市

☐ 52. あま市

☐ 5. 名古屋市中村区

☐ 29. 西尾市

☐ 53. 長久手市

☐ 6. 名古屋市中区

☐ 30. 蒲郡市

☐ 54. 愛知郡東郷町

☐ 7. 名古屋市昭和区

☐ 31. 犬山市

☐ 55. 西春日井郡豊山町

☐ 8. 名古屋市瑞穂区

☐ 32. 常滑市

☐ 56. 丹羽郡大口町

☐ 9. 名古屋市熱田区

☐ 33. 江南市

☐ 57. 丹羽郡扶桑町

☐ 10. 名古屋市中川区

☐ 34. 小牧市

☐ 58. 海部郡大治町

☐ 11. 名古屋市港区

☐ 35. 稲沢市

☐ 59. 海部郡蟹江町

☐ 12. 名古屋市南区

☐ 36. 新城市

☐ 60. 海部郡飛島村

☐ 13. 名古屋市守山区

☐ 37. 東海市

☐ 61. 知多郡阿久比町

☐ 14. 名古屋市緑区

☐ 38. 大府市

☐ 62. 知多郡東浦町

☐ 15. 名古屋市名東区

☐ 39. 知多市

☐ 63. 知多郡南知多町

☐ 16. 名古屋市中白区

☐ 40. 知立市

☐ 64. 知多郡美浜町

☐ 17. 豊橋市

☐ 41. 尾張旭市

☐ 65. 知多郡武豊町

☐ 18. 岡崎市

☐ 42. 高浜市

☐ 66. 額田郡幸田町

☐ 19. 一宮市

☐ 43. 岩倉市

☐ 67. 北設楽郡設楽町

☐ 20. 瀬戸市

☐ 44. 豊明市

☐ 68. 北設楽郡東栄町

☐ 21. 半田市

☐ 45. 日進市

☐ 69. 北設楽郡豊根村

☐ 22. 春日井市

☐ 46. 田原市

☐ 70. その他

☐ 23. 豊川市

☐ 47. 愛西市

☐ 24. 津島市

☐ 48. 清須市

次へ

SC2
必須

あなたの国籍を教えてください。

☐ 1. 日本国籍

☐ 2. 日本以外の国籍

次へ

Q1
必須

あなたが現在お住まいの地区はどれですか。

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 1. 相楽町 | ☐ 12. 神ノ郷町 | ☐ 23. 元町 | ☐ 34. 柏原町 |
| ☐ 2. 大塚町 | ☐ 13. 府相町 | ☐ 24. 宝町 | ☐ 35. 竹谷町 |
| ☐ 3. 海陽町 | ☐ 14. 新井形町 | ☐ 25. 御幸町 | ☐ 36. 西迫町 |
| ☐ 4. 三谷町 | ☐ 15. 蒲郡町 | ☐ 26. 宮成町 | ☐ 37. 拾石町 |
| ☐ 5. 三谷北通 | ☐ 16. 堀込町 | ☐ 27. 緑町 | ☐ 38. 鹿島町 |
| ☐ 6. 平田町 | ☐ 17. 新井町 | ☐ 28. 旭町 | ☐ 39. 浜町 |
| ☐ 7. 豊岡町 | ☐ 18. 八百富町 | ☐ 29. 丸山町 | ☐ 40. 一色町 |
| ☐ 8. 五井町 | ☐ 19. 神明町 | ☐ 30. 竹島町 | ☐ 41. 金平町 |
| ☐ 9. 水竹町 | ☐ 20. 本町 | ☐ 31. 松原町 | ☐ 42. 形原町 |
| ☐ 10. 清田町 | ☐ 21. 上本町 | ☐ 32. 港町 | ☐ 43. 西浦町 |
| ☐ 11. 坂本町 | ☐ 22. 中央本町 | ☐ 33. 栄町 | |

次へ

Q2
必須

あなたは普段の生活で、外国人の方と関わることがありますか。
(いくつでも)

- ☐ 1. 一緒に仕事をしている
- ☐ 2. 通う学校に外国人がおり、知り合いである
- ☐ 3. 友人に外国人がいる
- ☐ 4. 自分または家族・親族の配偶者・パートナーが外国人である
- ☐ 5. 子どもの友達やその親に外国人がおり、付き合いがある
- ☐ 6. NPO等の外国人支援団体や国際交流団体と一緒に活動している
- ☐ 7. その他、自治会やPTA等、地域のグループと一緒に活動している
- ☐ 8. 外国人とあいさつ程度の付き合いはある
- ☐ 9. 医療や介護現場でサービスを受けている
- ☐ 10. その他 :
- ☐ 11. 普段外国人の方と関わることはない

次へ

Q3
必須 普段の生活で、外国人の方と交流する頻度はどのくらいありますか。

- ☐ 1. よくある
- ☐ 2. たまにある
- ☐ 3. あまりない
- ☐ 4. 全くない

次へ

Q4
必須 あなたは、外国人市民と交流したいと思いますか。

- ☐ 1. 交流したい
- ☐ 2. どちらかといえば交流したい
- ☐ 3. どちらかといえば交流したくない
- ☐ 4. 交流したくない

次へ

Q5
必須 あなたには、親しい外国人の方がいますか。

- ☐ 1. とても親しい人がいる
- ☐ 2. 親しい人がいる
- ☐ 3. 顔見知りの人がいる
- ☐ 4. 全くいない

次へ

Q6
必須 あなたのお住まいの地域に外国人市民が増えることについてどう思いますか。

- ☐ 1. 好ましい
- ☐ 2. どちらかといえば好ましい
- ☐ 3. どちらかといえば好ましくない
- ☐ 4. 好ましくない

次へ

Q7
必須

地域社会に外国人市民が増えることの影響について、それぞれあてはまるものを選んでください。

1. 地域内の多様性が広がる ▲

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. 少しそう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない

2. 労働者不足の解消につながる ▲

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. 少しそう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない

3. 外国人との交流によって価値観が広がる ▲

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. 少しそう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない

4. 外国の言葉・文化・風習に触れる機会が増える ▲

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. 少しそう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない

5. 地域が活性化する ▲

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. 少しそう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない

6. 治安・風紀が乱れる ▲

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. 少しそう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない



7. 言語や文化の違いでトラブルになる



1. そう思う



2. 少しそう思う



3. あまりそう思わない



4. そう思わない

8. 日本人の雇用機会が減少する



1. そう思う



2. 少しそう思う



3. あまりそう思わない



4. そう思わない

9. 外国人市民向けサービスや教育など社会的負担が増える



1. そう思う



2. 少しそう思う



3. あまりそう思わない



4. そう思わない

10. 地域の伝統が失われる



1. そう思う



2. 少しそう思う



3. あまりそう思わない



4. そう思わない

次へ

Q8 あなたのお住まいの地域に外国人市民が暮らすことについて、不安に思うことはありますか。
必須 (いくつでも)

- ☐ 1. 習慣・考え方の違いがあること
- ☐ 2. 治安が悪くなること
- ☐ 3. 言葉が通じないこと
- ☐ 4. ゴミの出し方・ルールを守らないこと
- ☐ 5. ゲームや音楽などの物音や声の大きさ
- ☐ 6. 交通ルールを守らないこと
- ☐ 7. 共有スペースや公共の場所の使い方
- ☐ 8. 子ども同士の関係
- ☐ 9. 特にない
- ☐ 10. その他 :

次へ

1 2 ▶

Q9
必須

あなたの周りに外国人市民への差別・偏見の意識を持った人はいますか。

- ☐ 1. いる
- ☐ 2. いない
- ☐ 3. わからない

次へ

Q10
必須

「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。

多文化共生とは：

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

- ☐ 1. 聞いたことがあり、意味も理解している
- ☐ 2. 聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない
- ☐ 3. 聞いたことはない

次へ

Q11
必須

多文化共生社会実現のため、あなた自身ができることは何だと思いますか。
(いくつでも)

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 外国人に対する差別意識を持たないようにする | ☐ 8. 近くの外国人市民と日常的なあいさつをする |
| ☐ 2. 外国の言葉や文化、習慣を学ぶ | ☐ 9. 知り合った外国人との私的な交流を広げる |
| ☐ 3. 日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする | ☐ 10. 従来のルール、慣習の見直しを働きかける |
| ☐ 4. 日本語や日本文化を外国人に教える | ☐ 11. 外国人との交流で感じたことを発信する |
| ☐ 5. 日本で生活するルールを守るように外国人市民に呼びかける | ☐ 12. その他： <input type="text"/> |
| ☐ 6. 外国人市民との交流の場に参加する | ☐ 13. 特にない |
| ☐ 7. 地域住民との交流や活動の場に外国人市民の参加を呼びかける | ☐ 14. 分からない |

次へ

Q12 多文化共生社会実現のため、今後蒲郡市が取り組むべきことは何だと思われますか。
必須 (いくつでも)

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 生活ルールや習慣、文化などの周知 | ☐ 10. 日本人市民と外国人市民の日常的な交流の場の創出 |
| ☐ 2. 日本語学習支援の充実 | ☐ 11. 日本人市民と外国人市民の交流イベントの実施 |
| ☐ 3. 多言語対応や通訳サービスの充実 | ☐ 12. 防災における多言語・多文化対応の推進 |
| ☐ 4. 外国人市民向けの相談体制の充実 | ☐ 13. 外国人市民の就労・起業支援 |
| ☐ 5. 外国にルーツを持つ児童への日本語指導など教育支援の充実 | ☐ 14. 外国人市民の地域活動への参加促進 |
| ☐ 6. 学校における多文化共生に関する教育の充実 | ☐ 15. 国際交流ボランティアの活動支援 |
| ☐ 7. 公的機関の職員や教員に向けた多文化共生に関する研修の充実 | ☐ 16. その他： <input type="text"/> |
| ☐ 8. 多文化共生に関する講座や啓発イベントの実施 | ☐ 17. 特にない |
| ☐ 9. ポスター・リーフレット・動画などの広報・啓発コンテンツの作成 | ☐ 18. わからない |

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【あなたご自身に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

JRA あなたの未来がある。
～一緒に歩み日本マケティンギリサーチ協会
正会員 2016年

◀ 1 2

3. 事業所アンケート

多文化共生に関する特定技能所属機関アンケート

第2次蒲郡市多文化共生推進プランの策定を進めており、特定技能所属機関における雇用状況や多文化共生に係る現状等についてお伺いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

※回答期限：令和8年2月6日（金）まで

※所要時間：5～10分

下記のフォームにご入力をお願いします。

Q1. メールアドレスを入力してください 必須

メールアドレス 必須

0 / 128

メールアドレス (確認) 必須

0 / 128

Q2. 貴社（貴事業所）の業種を教えてください 必須

- ☐ 製造業
- ☐ 建設業
- ☐ 宿泊・飲食サービス業
- ☐ その他サービス業
- ☐ 医療・介護事業
- ☐ 卸売・小売業
- ☐ 教育・学習支援事業
- ☐ その他

Q3. 貴社（貴事業所）で雇用している外国人従業員の人数について教えてください 必須

- ☐ 1～5人
- ☐ 6～10人
- ☐ 11～20人
- ☐ 21人～30人
- ☐ 31人～40人
- ☐ 41人～50人
- ☐ 51人以上

Q4. 貴社（貴事業所）で雇用している外国人従業員の国籍と人数について教えてください（複数選択） 必須

- ☐ フィリピン
- ☐ ベトナム
- ☐ ブラジル
- ☐ ペルー
- ☐ 中国
- ☐ インドネシア
- ☐ ネパール
- ☐ 韓国
- ☐ その他

Q5. 貴社（貴事業所）で雇用している外国人従業員の在留資格と人数について教えてください（複数選択） 必須

- ☐ 永住者
- ☐ 定住者
- ☐ 技能実習
- ☐ 特定技能
- ☐ 技術・人文知識・国際事務
- ☐ 高度専門職
- ☐ 特定活動

Q6. 外国人従業員の雇用・受け入れにあたり、貴社（貴事業所）が課題だと感じている点は何だと思いますか（複数選択） 必須

- ☐ 外国人従業員の日本語能力が業務水準に十分達していない
- ☐ 他の従業員とのコミュニケーションが円滑にいかない
- ☐ 文化や習慣の違いによる職場でのトラブルや戸惑いがある
- ☐ 社内の受け入れ態勢やフォロー体制が十分ではない
- ☐ 在留資格申請・更新など行政手続きへの支援が煩雑
- ☐ 外国人従業員が定着しにくい（離職しやすい）
- ☐ 特にない
- ☐ その他

Q7. 外国人従業員への日本語学習支援内容について教えてください（複数選択） 必須

- ☐ 職場で日本語を学習する機会を作っている（研修など）
- ☐ 日本語学校や通信教育の受講に必要な経費について補助している
- ☐ 日本語能力試験の受講費用を補助している
- ☐ 市が実施する日本語教室を紹介している
- ☐ 市が実施する日本語教室の受講に必要な経費について補助している
- ☐ 国際交流協会が実施する日本語教室を紹介している
- ☐ 特に支援はしていない
- ☐ その他

**Q8. 外国人従業員へ環境整備として行っている取組みについて教えてください
(複数選択) 必須**

- ☐ 日本人従業員と同様な福利厚生を行う
- ☐ 労働災害防止に関する標識、掲示物などを外国語で表記している
- ☐ やさしい日本語を用いた説明やコミュニケーションをとっている
- ☐ 外国人従業員が相談できる専門員を配置している
- ☐ 礼拝や食事など、宗教的な配慮をしている
- ☐ お互いの文化や風習を知る機会づくりを行っている
- ☐ 地域活動に参加するなど、地域コミュニティへの参画支援を行っている
- ☐ 特に何もしていない
- ☐ その他

Q9. 外国人従業員の雇用に関して、市にどのような支援を期待しますか（複数選択） 必須

- ☐ 日本語教育に関する支援
- ☐ 通訳や翻訳に関する支援
- ☐ やさしい日本語の使用に関する支援
- ☐ 日本の生活マナーや文化を学ぶ研修等の開催
- ☐ 外国人従業員受け入れ環境整備に関する研修や講座の実施
- ☐ 外国人従業員の在留資格や雇用管理についての相談対応
- ☐ 市民に対する、外国人従業員雇用に関する理解促進の取組
- ☐ 特にない

Q10. 市の多文化共生施策について知っているものを教えてください（複数選択）

- ☐ 市主催の日本語教室（はじめての日本語クラス・会話クラス）
- ☐ 蒲郡国際交流協会主催の日本語教室（塩津教室・大塚教室・勤労福祉会館教室）
- ☐ 外国人相談窓口（蒲郡市役所協働まちづくり課内）
- ☐ 生活オリエンテーション動画（<https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kyodo/orientation.html>）
- ☐ 蒲郡国際交流協会Facebook
- ☐ 蒲郡市外国人住民メール配信サービス
- ☐ 広報がまごおり英訳版
- ☐ 蒲郡市生活ガイドブック
- ☐ さんあーる（多言語ごみ分別アプリ）
- ☐ 蒲郡市ハザードマップ（多言語版）

Q11. 多文化共生に関するご意見等

0 / 60000

第 2 次蒲郡市多文化共生推進プラン策定基礎調査 調査結果報告書

令和 8 年 3 月

蒲郡市 協働まちづくり課

〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町 17 番 1 号

TEL:0533-66-1179